

# NVMS 2.0

## 操作マニュアル



## 目次

<b>第1章</b>	<b>概要</b> .....	<b>1</b>
1.1	概要.....	1
1.2	ソフトウェアアーキテクチャ.....	1
1.3	システムアーキテクチャのご紹介.....	1
1.3.1	システムアーキテクチャ.....	1
1.3.2	フロントエンドアクセス.....	2
1.3.3	バックオフィス監視.....	2
1.3.4	中央管理パネル.....	2
1.4	バージョンのご紹介.....	2
<b>第2章</b>	<b>設定要件</b> .....	<b>3</b>
2.1	ハードウェアの設定要件.....	3
2.2	ファイアウォールの要件.....	3
2.3	インストール環境の確認.....	4
<b>第3章</b>	<b>ソフトウェアのインストールとアンインストール</b> .....	<b>5</b>
3.1	ソフトウェアのインストール.....	5
3.1.1	サーバーのインストール.....	5
3.2	ソフトウェアのアンインストール.....	6
<b>第4章</b>	<b>クライアントのログイン</b> .....	<b>7</b>
4.1	サーバーの実行.....	7
4.2	クライアントのログイン.....	8
4.3	メインインターフェイスの紹介.....	8
<b>第5章</b>	<b>リソース管理</b> .....	<b>11</b>
5.1	エンコーディングデバイスの追加.....	11
5.1.1	クイック追加.....	11
5.1.2	手動追加.....	12
5.1.3	アクティブレポート.....	12
5.1.4	アクティブレポートデバイスのクイック追加.....	13
5.2	デバイスの表示、変更、削除.....	13
5.3	転送サーバーの設定.....	14
5.4	ストレージサーバーの設定.....	15
5.5	エンコーディングデバイスの一括インポート/エクスポート.....	16
5.6	デバイスのアップグレード.....	16
5.7	デバイスの設定.....	16
5.8	エリアの設定.....	17
5.9	チャンネルグループの設定.....	17
<b>第6章</b>	<b>組織管理</b> .....	<b>18</b>
6.1	スタッフ管理.....	18
6.1.1	組織の追加.....	18
6.1.2	スタッフの追加.....	19
6.1.3	権限管理.....	20
6.1.4	タスク管理.....	22
<b>第7章</b>	<b>フェイス管理</b> .....	<b>24</b>
7.1	フェイス管理の設定.....	24
7.2	キャプチャと比較結果をリアルタイム検索.....	25
7.3	クエリ検索.....	26
7.4	画像検索.....	27
7.5	システム設定.....	29
<b>第8章</b>	<b>画像プレビュー</b> .....	<b>30</b>
8.1	リアルタイムプレビュー.....	30
8.1.1	モニタリングポイントのプレビュー.....	31

8.1.2	プレビューのローテーション	32
8.1.3	プレビューの表示	34
8.2	マルチスクリーンプレビュー	35
8.3	PTZ コントロール	35
8.4	リアルタイムリプレイ	36
<b>第9章</b>	<b>録画設定とリプレイ</b>	<b>37</b>
9.1	録画設定	37
9.1.1	スケジュール録画	37
9.1.2	アラーム連動録画	38
9.2	録画リプレイ	38
9.2.1	モニターポイントリプレイ	38
9.2.2	顔認知スマートリプレイ	41
9.2.3	ナンバープレートスマートリプレイ	42
9.3	タイムスライス	43
9.4	録画イベント	44
9.5	録画タグ	45
9.6	録画バックアップ	45
9.7	画像検索	46
<b>第10章</b>	<b>アラーム管理</b>	<b>47</b>
10.1	アラームサービスの設定	47
10.2	アラーム設定	47
10.3	SOP 設定	48
10.4	アラームタスク	49
10.5	メールの設定	50
10.6	アラームのプレビュー	51
10.7	アラームログの検索	52
10.8	手動アラーム出力	53
<b>第11章</b>	<b>電子マップ</b>	<b>54</b>
11.1	電子マップの設定	54
11.1.1	マップの作成	54
11.1.2	ホットスポットの追加	54
11.2	電子マップのモニタリング	55
<b>第12章</b>	<b>ビデオウォール管理</b>	<b>57</b>
12.1	ビデオウォールサーバーの設定	57
12.2	デコーダーの追加	57
12.3	デコーダーの作成と接続	57
12.4	ビデオウォール管理	58
12.4.1	ビデオウォールの設定	58
12.4.2	ビデオウォール	60
12.4.3	デコーダー入力のデコード	66
12.4.4	デコードのリプレイ	67
12.4.5	ビデオウォールタスク設定	68
12.4.6	ビデオウォールシステムの設定	69
<b>第13章</b>	<b>ターゲット統計</b>	<b>71</b>
13.1	タスク管理	71
13.2	リアルタイム統計	72
13.3	熱分析	73
13.4	履歴統計	74
13.5	人員/車両の制御	74
13.6	履歴画像の検索	76
<b>第14章</b>	<b>訪問者管理</b>	<b>78</b>
14.1	訪問者管理デバイスの追加	78
14.2	訪問者の予約プロセス開始	78

14.3	訪問者記録の検索とエクスポート.....	81
14.4	アクセスエラー処理.....	82
14.4.1	アクセス禁止の延長・変更.....	82
14.4.2	訪問者のタイムアウト管理.....	83
<b>第15章</b>	<b>ユーザーおよび権限.....</b>	<b>85</b>
15.1	ユーザーの作成.....	85
15.2	権限の設定.....	86
<b>第16章</b>	<b>運用・保守管理.....</b>	<b>87</b>
16.1	ログの検索とエクスポート.....	87
16.2	設定のバックアップと復元.....	87
16.3	リアルタイムステータスの検索.....	87
16.4	ステータスログの検索.....	88
<b>第17章</b>	<b>ローカル設定.....</b>	<b>89</b>
17.1	録画・画像キャプチャの設定.....	89
17.2	ローカル設定.....	89
17.3	オーバーロードの設定.....	90
17.4	アラームプレビュー設定.....	90
17.5	OSD 位置の設定.....	91
17.6	システム構成.....	91
17.7	音声放送ファイルのアップロード.....	92
<b>第18章</b>	<b>よくあるご質問.....</b>	<b>93</b>

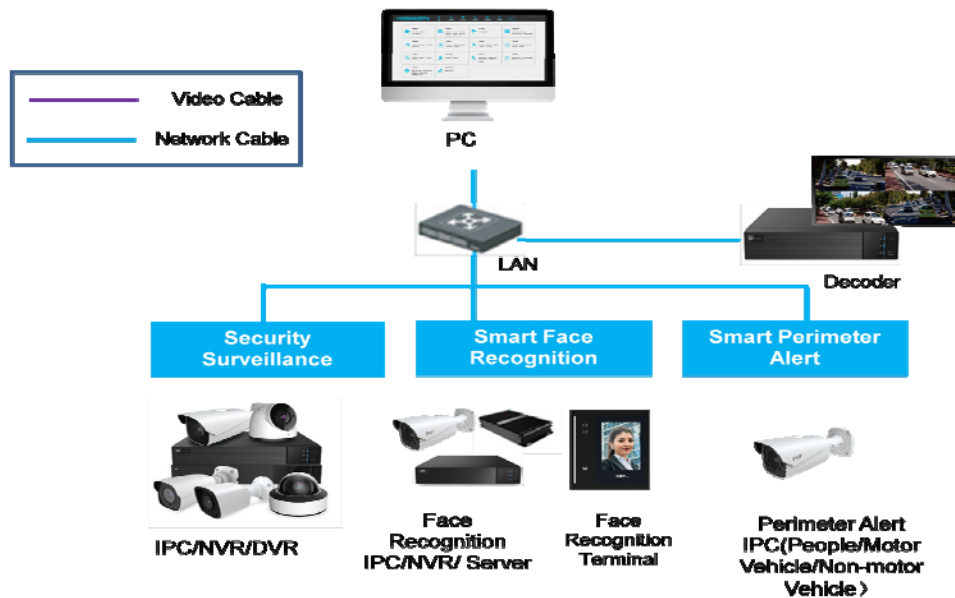


# 第1章 概要

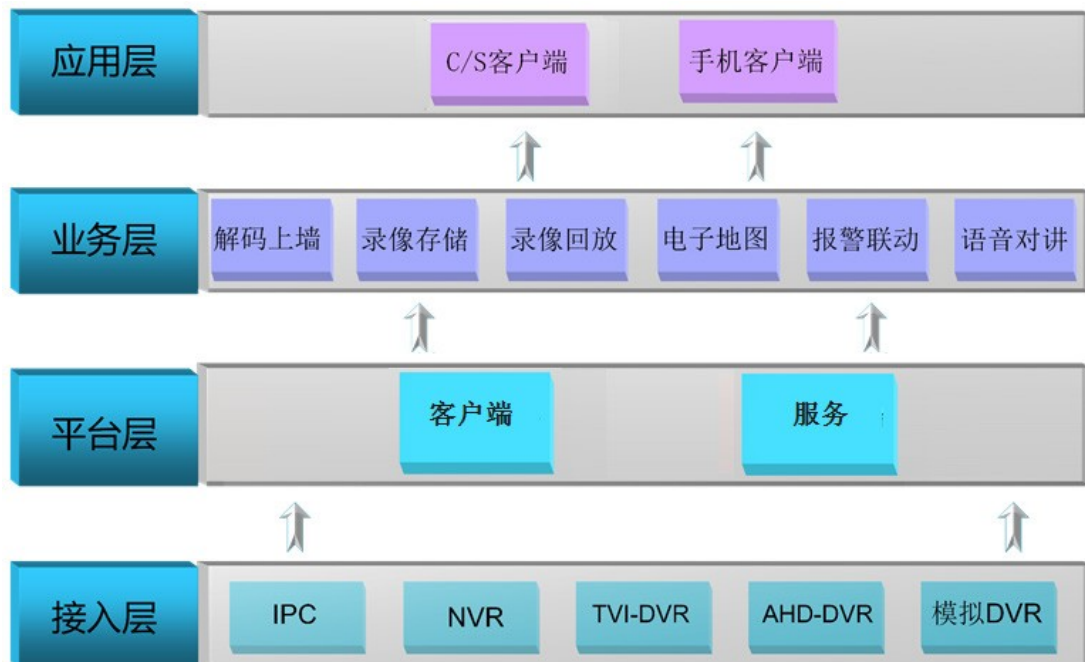
## 1.1 概要

NVMS 中央ビデオ監視統合ソフトウェア(以下、NVMS)は、中小規模の IP ビデオ監視システムのためのビデオ監視統合管理プラットフォームです。Windows OS をベースにしており、フロントエンドのビデオデバイス管理、マルチディスク管理、大容量ビデオストレージ、電子マップ、ビデオモニタリング、リプレイなど、さまざまなシステム機能を搭載しています。

高性能ネットワーク転送・伝送技術を採用し、大容量画像データの統合業務処理を実現。高画像、安全なストレージ、高速かつ効率的な転送を提供いたします。

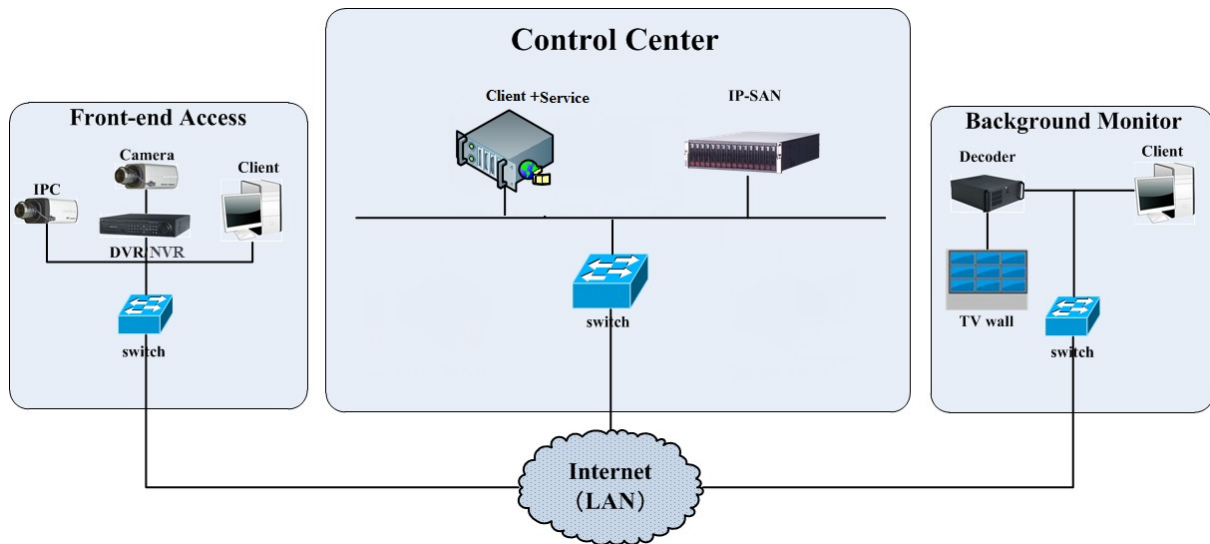


## 1.2 ソフトウェアアーキテクチャ



## 1.3 システムアーキテクチャのご紹介

### 1.3.1 システムアーキテクチャ



### 1.3.2 フロントエンドアクセス

- IPC、DVR、NVR などの監視デバイスを設置し、カテゴリ 5、スーパーカテゴリ 5 ケーブル(最大 100 メートル)または光ファイバー伝送でネットワークスイッチに接続します。
- デバイスが公衆回線に接続されている場合は、スイッチをルーターに、ルーターを公衆回線に接続してください。
- ローカル PC に監視クライアントを設置し、ローカルでの画像監視や監視デバイスの設定などを実現します。

### 1.3.3 バックオフィス監視

- モニター、ビデオウォール、デジタルディスプレイなどの表示装置を追加して、映像監視を実現します。
- ビデオデコーダーを設定し、ビデオウォールの映像をデコードします。
- ローカル PC に監視クライアントを設置し、フロントエンド監視デバイスのリアルタイム映像表示、録画リプレイ、リモート設定管理などを実現します。

### 1.3.4 中央管理パネル

- ビデオ転送、ビデオ録画、ウォールのデコードなどの機能を実現する、スタンドアロンバージョンで設定されています。
- IP-SAN ストレージアレイを追加して、集中型ストレージ容量を拡大します。
- スタンドアロンバージョン IP-SAN ストレージアレイは、スイッチを介してネットワークに接続されます。
- スタンドアロンバージョンを公衆回線に接続する場合は、スイッチをルーターに、ルーターを公衆回線に接続してください。
- 本手動では、イントラネット(またはプライベートネットワーク)のシステムを例に挙げています。スタンドアロンバージョンのすべてのサーバーは、同じ物理 IP アドレスを有しています。

## 1.4 バージョンのご紹介

バージョン	最大アクセス数
NVMS スタンドアロンバージョン	256 ビデオ信号

## 第2章 設定要件

### 2.1 ハードウェアの設定要件

シリアル ナンバー	コンポーネント	推奨ハードウェア設定	推奨システム構成	数量
1	サーバー/クライアント	Inter(R) Core(TM) i5 7500 3.0GHz 以上 /4GB DDR3/NV GT430 または AMD HD6570 以上グラフィックスチップ、512MB GDDR5 以上メモリ(マルチ画面推奨 1G GDDR5 メモリ)/500GB SATA/ギガビットイーサ ネット	Windows7 Professional SP1 (32bit\64bit)または Flagship バージョン SP1(32bit\64bit) Windows8 Professional (32bit\64bit) Windows10 Professional (32bit\64bit)	ユーザーの要 求により決定

プログラムには、デコード性能を向上させるための 64 ビットクライアントが含まれています。推奨ハードウェア設定は以下の通りです。

シリアル ナンバー	コンポーネント	推奨ハードウェア設定	推奨システム構成	数量
1	監視クライアント-64bit	Inter(R) Core(TM) i5 7500 3.0GHz 以上 /16GB DDR3/Intel HD Graphics 530 2GB メ モリ以上/NVIDIA GeForce GTX 1060 6GB 以上、(マルチ画面推奨 2GB GDDR5 メモリ) /500GB SATA/ギガビットイーサネット	Windows7 Professional SP1-64bitまたは Flagship パー ジョン SP1-64bit Windows10 Professional 64bit	ユーザーの要 求により決定

### 2.2 ファイアウォールの要件

デフォルトでは、各サーバーのポートは下表のようになっています。各サーバーの内部ポートが変更されている場合は、変更後のポートを参考にしてください。すべてのサーバーのポートが互いに異なっていることを確認してください。

サーバー	ポートの種類	ポート
管理サーバー	インターナルポート	6003
設定サーバー	インターナルポート	7002
転送サーバー	インターナルポート	6006
	アクティブレポートポート	2009
ストレージサーバー (windows バージョン /IP-SAN)	インターナルポート	6009
アラームサーバー	インターナルポート	6033
ビデオウォールサーバー	インターナルポート	6036

スタンドアロンバージョン環境がパブリックインターネットにアクセスしないイントラネット(またはプライベートネットワーク)環境で動作する場合は、ファイアウォールは不要です。

スタンドアロンバージョン環境でパブリックインターネット環境にアクセスする場合は、ネットワークセキュリティのためにファイアウォールを設定する必要があり、ハードファイアウォールが推奨されます。同時に、上表のポート出口ルーター、ファイアウォールは、ポートマッピングを設定する必要があります。

## 2.3 インストール環境の確認

検査項目	検査基準
ハードウェアの検査	ハードウェアが正常であることを検査してください(CPU、メモリ、ハードドライブなどを含む)。
ソフトウェアの検査	ソフトウェアが要件(OSの種類・バージョン、NVMSバージョンを含む)を満たしていることを検査してください。
前処理デバイスの検査	デバイスがネットワークに正しく接続されているかどうかを検査してください。
ファイアウォール設定の検査	ファイアウォールのオープンポートが要件を満たしているか検査してください。
ネットワーク接続の検査	フロントエンドデバイスとセントラルデバイスに接続されているネットワークが接続されているか検査してください。
TCP/IP の設定検査	デバイスのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSが正しく設定されているか検査してください。

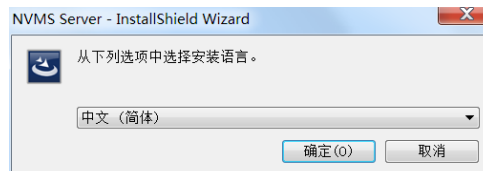
## 第3章 ソフトウェアのインストールとアンインストール

### 3.1 ソフトウェアのインストール

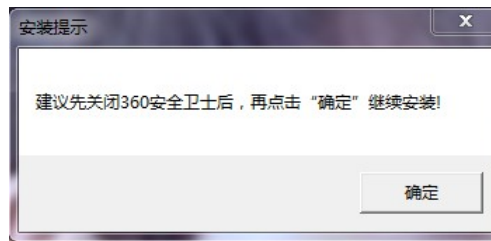
ソフトウェアのインストールパッケージは 1 つだけで、データベースを追加でインストールする必要はありません。

#### 3.1.1 サーバーのインストール

- 1) インストールパッケージをダブルクリックすると、インストール言語選択ボックスが表示されます。中国語（簡体字）を選択してください。



- 2) 確定をクリックすると、以下のようなダイアログボックスが表示されます（インストールパッケージが 360、QQ PC マネージャーまたはキングソフトアンチウイルスを検出した場合、ウイルス対策ソフトウェアを終了するプロンプトが表示されますが、他のウイルス対策ソフトウェアは実行中に検出プロンプトが表示されません）。



- 3) 「使用許諾契約の条項に同意」を選択して【確定】をクリックすると、下図のようなダイアログボックスが表示されます。デフォルトのパスを選択してインストールするか、【ブラウザ】ボタンをクリックしてインストールパスを選択し、【次へ】ボタンをクリックしてインストールします。



- 4) 今すぐソフトウェアを起動する場合はデフォルトをクリック選択し、【完了】ボタンをクリックします。



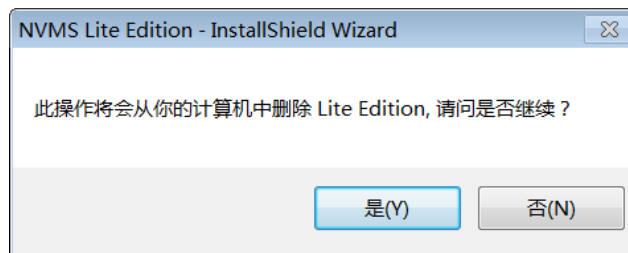
サービストレイタスクバーの最小化表示



### 3.2 ソフトウェアのアンインストール

新しいバージョンをインストールするユーザー、またはソフトウェアを使用しなくなったユーザーは、新しいバージョンをインストールする前にシステム構成情報をバックアップしてください。

デスクトップ左下の「開始」ボタンをクリック→すべてのプログラム→NVMS Lite Edition→ソフトウェアをアンインストールすると、アンインストール確認画面が表示されます。【はい】を選択するとアンインストールが開始されます。



アンインストール完了画面が表示されます。必要に応じて、データベースの削除またはスマートデータの削除をチェック選択し、【次へ】をクリックし、最後に【完了】をクリックすると、ソフトウェアのアンインストールが完了します。

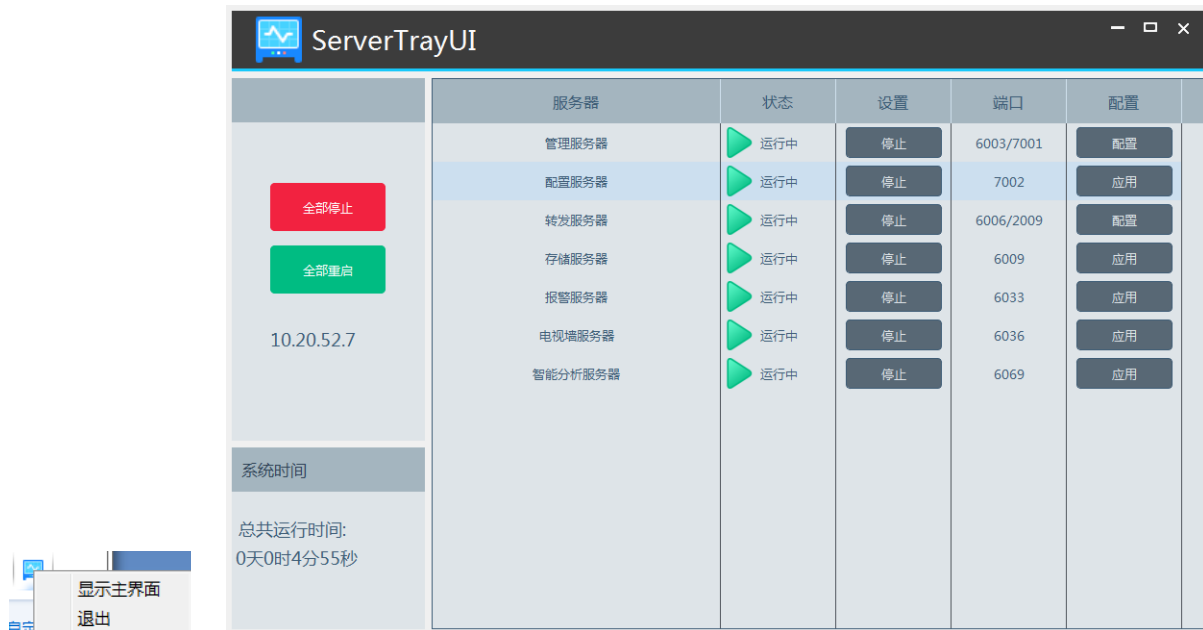


## 第4章 クライアントのログイン

### 4.1 サーバーの実行

クライアントにログインする前に、各サーバーが正常に動作していることを確認してください。

最初のインストールが成功すると、サービストレイのタスクバーが最小化されます。タスクバーのトレイをダブルクリックするか、タスクバーのトレイを右クリックすると、以下のようにトレイのインターフェイスが表示され、メインインターフェイスが表示されます。



ユーザーは、このトレイから各サーバーの状態を確認したり、各サーバーを停止・起動することができ、常に各サーバーが正常に稼働していることを確認できます。また、各サーバーポートがシステムのデフォルトで占有されている場合、ここで各サーバーポートを設定し、ポートの位置をクリックして変更し、マウスオーバーすると、下図の通り自動的に保存されます。



管理サーバーポートと転送サーバーポートについては、ポートの後ろの【設定】ボタンをクリックして変更します。

サーバーを起動する前に、電源、ネットワークケーブル、モニターが正しく接続されていることを確認してください。システムを起動すると、画面に以下のようなログインボックスが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力します。デフォルトのユーザー名は admin、デフォルトのパスワードは 123456 です。



## 4.2 ライアントのログイン

クライアントを実行するには、ユーザー名、パスワード、管理サーバーのアドレス(デフォルトのユーザー名は admin、デフォルトのパスワードは 123456)を入力し、【ログイン】をクリックすると、下図の通りクライアントにログインします。



「パスワード記憶」をチェック選択すると、次回からパスワードを入力せずにログインできます。「自動ログイン」をチェック選択すると、次回クライアントの起動時に自動でクライアントにログインします。初回ログイン後、パスワードの検索を容易にするため、スーパー管理者のパスワードを設定します。具体的な設定方法は、ユーザー管理の章を参照してください。



パスワードを忘れてしまった場合は、ログイン時に【パスワードのリセット】をクリックし、以前に設定したパスワード保護用の質問に答えることで、パスワードを取り戻すことができます。ログインすると、ビデオパーティションの設定がポップアップされます。下図の通り、パーティションを確認して、【確定】をクリックして保存します。



<input type="checkbox"/>	分区符号	分区大小	剩余空间
<input type="checkbox"/>	C(系统盘)	100GB	61GB
<input checked="" type="checkbox"/>	D	183GB	84GB
<input type="checkbox"/>	E	182GB	127GB

## 4.3 メインインターフェイスの紹介



メインインターフェイスは 5 つの主要パートに分かれており、各パートについて下表で説明します。

エリア	説明	エリア	説明
1	メニューバー	4	ステータスバー
2	タグコラム (有効な機能ページの表示)	5	アラーム情報コラム
3	機能エリア		

メニューバー

メニュー	説明
ビュー	ライブ映像、ライブビューの整理、ホームビューへの切り替え
システム	ユーザー切り替え、メインページ、ビデオプレビュー、録画リプレイ、リソース管理、フェイス管理、ターゲット統計、運用・保守管理、ローカル設定など
ヘルプ	登録、MonitorClient について、ユーザー手動など






機能エリア

🔍: クリックすると、他のメニューも表示されます。







メニュー	説明
ビデオプレビュー	リアルタイムプレビュー、ローカル録画、インターコム、PTZ コントロールなど。
リプレイの保存	リプレイデバイスの録画(リモートおよびローカル)、録画クリップのバックアップ
電子マップ	マップやホットスポットなどの追加
ビデオウォール管理	ビデオウォールを設置し、デコードを実行
リソース管理	エリア、デバイス、チャンネルでの操作の作成、変更、削除、設定
組織管理	担当者の管理、入退室の許可発行
ユーザーおよび権限	ユーザーの追加・変更・削除、オペレーターのユーザー権限設定
アラームセンター	連携アラームの設定、スケジュール設定、アラームログの検索

フェイス管理	顔検出、比較検索、アラームなど。
ターゲット統計	人の流れのリアルタイム統計分析など
運用・保守管理	ログの照会・出力とログの保守
ローカル設定	録画・スナップショットパスの設定、システムの起動・保守、オーバーロードとアラームのプレビュー設定
常用機能の編集	ソフトウェアの常用機能を設定して、より便利に使用できるようにする

## その他のボタンの説明

ボタン	説明
	クライアントの最小化
	ウィンドウの拡大
	クライアントを閉じる
	リアルタイムプレビューページの追加
	タブ欄数が表示可能な数より多い場合に表示される折畳式ウィンドウアイコンで、クリックすると隠れたタブ付き欄が表示されます

## 常用ボタンの説明

ボタン	説明
	修正または編集
	現在の項目を削除
	チャンネルの追加
	クリックして削除
	すべてのオプションチャンネルの追加
	クリックすると、すべてを削除

## 第5章 リソース管理

### 5.1 エンコーデインデバイスの追加

メインインターフェイスで「デバイス管理」メニューをクリックすると、下図の通りデバイス管理のインターフェイスが表示されます。



下図の通り、【追加】ボタンをクリックします。



ユーザーは、クイック追加、手動追加、アクティブレポートなどにより、監視デバイス(通常 IPC/NVR/DVR、フェイス IPC/フェイス NVR/フェイスボックス、フェイスタブレット、アラート IPC、ナンバープレート検出 IPC など)を追加することができます。

#### 5.1.1 クイック追加

上図の通り、クイック追加のインターフェイスが表示されます。【更新】ボタンをクリックすると、同一 LAN 内のデバイスが素早く検索され、見つけたデバイスをクリック選択し、転送(転送サーバーの設定については、転送サーバーの設定の章を参照)、ストレージ(ストレージサーバーの設定については、ストレージサーバーの設定の章を参照)、エリアを選択して【確定】をクリックします。【エリアの追加】をクリックすると、素早くエリアが作成されます(詳細は、エリア設定の章を参照)。

【デフォルトパスワード】をクリックすると、標準デバイス、Hikvision、Dahua、ONVIF、PMS などのメーカーのデフォルトパスワードが設定されます。当社標準デバイスのデフォルトのユーザー名は admin、パスワードは 123456 です。

### 5.1.2 手動追加

IP地址/IP区间/域名/URL	协议	端口	用户名	密码	测试连接	删除
IP地址 192 . 0 . 0	标准设备	6036	admin	.....	测试连接	

所属转发: 转发服务器 | 所属存储: 存储服务器  
 所属区域: default area | 添加区域:  自动关联设备区域

默认密码 | 确定 | 取消

- ① IP アドレス/IP ゾーン/機能変数名、プロトコルタイプ、デフォルトのユーザー名とパスワードを入力し、【接続テスト】をクリックすると、デバイスが正常に接続できるかどうかテストされます。
- ② 転送、ストレージ、エリアを選択し、【確定】をクリックしてデバイスを追加します。  
RTSP でデバイスを追加するための「URL」を選択します。デバイスの RTSP URL、ユーザー名、パスワードを入力して「接続テスト」をクリックし、成功したらデバイスの追加を確認します。

IP地址/IP区间/域名/URL	协议	端口	用户名	密码	测试连接	删除
URL RTSP://192.168.226.201:554/profile1	RTSP	--			测试连接	
IP地址:0.0.0.0	标准设备	6036	admin	.....		

所属转发: 转发服务器 | 所属存储: 存储服务器  
 所属区域: default area | 添加区域:  自动关联设备区域

默认密码 | 确定 | 取消

#### URL の取得方法:

当社の IPC を例にとると、IPC のウェブページにログインし、ネットワーク-RTSP の設定へ進みます。

可視ポートは 554、アドレスフォーマットは `rtsp://IP or domain name:port/profile1` です。

アドレスの例: `rtsp://192.168.1.1:554/profile1`。ここで、profile1 は 1 ストリーム、profile2 は 2 ストリーム、profile3 は 3 ストリームを表します。他社のデバイスの URL は、デバイスのウェブページや ODM などのサードパーティツールから取得してください。

### 5.1.3 アクティブレポート

「アクティブレポート」メモを選択すると、以下のようなインターフェイスに切り替わります。



- ① アクティブレポートのデバイス番号(デバイスレポート ID またはデバイス ID と一致)を入力し、デバイスプロトコルを選択します。
  - ハードディスクレコーダーデバイスは、ネットワーク設定→プラットフォームへ進み有効にチェックを入れ、ソフトウェアが置かれている転送サーバーIP アドレスとアクティブレポートポート番号 2009 を入力し、デバイス番号を入力します。
  - ウェブカメラのデバイスにネットワーク設定→中央サーバーが含まれ、「IP カメラをサーバーに自動的に接続させるか否か」を確認し、ソフトウェアが置かれている転送サーバーIP アドレスとアクティブレポートポート番号 2009 を入力し、デバイス ID を入力します。
- ② 転送、ストレージ、エリアを選択し、【確定】をクリックしてデバイスを追加します。

### 5.1.4 アクティブレポートデバイスのクイック追加

プラットフォームソフトウェアと同じローカルエリアネットワーク上にあり、アクティブレポートで追加したいデバイスについては、プラットフォームのアクセス機能を有効にし、デバイス側で転送サーバーのアドレスとレポートIDを設定した後、未「追加のアクティブレポートデバイス」のインターフェイスでアクティブレポートの情報を確認することができます。デバイスをクリック選択し、転送、ストレージ、エリアのいずれかを選択し、【確定】をクリックするとデバイスが追加されます。



## 5.2 デバイスの表示、変更、削除

デバイスが追加されると、下図のような画面が表示されます。





本インターフェイスでは、デバイスのチャンネル数、アラーム、オンライン/オフライン/その他のステータスなどを確認することができます。

デバイスをクリック選択し、【転送サーバーの選択】または【ストレージサーバーの選択】をクリックして、追加されたデバイスが属する転送サーバーまたはストレージサーバーを一括設定します。

### 5.3 転送サーバーの設定

転送サーバーは、フロントエンドデバイスからの映像信号を受信し、その信号をクライアントのプレビューや録画用ストレージサーバーに転送する役割を担っています。クライアントやストレージサーバーがフロントエンドデバイスの映像（または録画）を見るために送信したコマンドは、転送サーバーによってフロントエンドデバイスに送信されます。インストール後、マシンの実際のアドレスが記載されたサービスが自動的に生成されます。下図の通り、メインインターフェイス→デバイス管理→転送サーバーインターフェイスに進みます。



服务器	设备数量	通道数量	IP地址	端口	是否是热备服务	关联的热备服务	与客户端连接状态
Transfer Server	8	10	10.20.52.7	6006	否		在线

【追加】をクリックすると、以下のインターフェイスが表示されます。【更新】をクリックすると、同じLAN内の転送サーバーがすぐに検索され、見つけた転送サーバーを確認して【確定】をクリックします。「手動追加」ボタンをクリックして、転送先のサーバー名、IPアドレス、ポートを手動で追加することもできます。



IP地址	端口
172.16.48.11	6006
172.16.50.188	6006
172.16.47.125	6006
192.168.1.22	6006

ホットスタンバイサーバーの選択は、編集できます。一方、デバイスが接続されている転送サービスのホットスタンバイサービスは変更できません。

ホットスタンバイ転送サーバーデバイスの追加後：

オフラインの転送サービスに属しているデバイスが、障害オフライン判定時間に達し、ホットスタンバイ転送ラインに入ると、デバイスはその転送をホットスタンバイ転送サービスに切り替えます。デバイスの元の転送サービスは、関連するホットスタンバイサービスを示します。

デバイスが属する元の転送サービスがオンラインになり、障害オフライン判定時間に達すると、デバイスは元の転送サービスに切り替わります。

サービス障害オフラインの判定時間は、ローカル設定→システム構成インターフェイスで設定され、実際のシナリオに応じて1分から5分まで設定できます。



## 5.4 ストレージサーバーの設定

ストレージサーバーは、デバイスのスケジュール録画、センサーアラーム、動体検知アラーム、スマート検知アラームなどのビデオ録画情報を保存する役割を持ち、ストレージパスのカスタマイズに対応し、外部プロフェッショナルストレージデバイス IP-SAN にも対応しています。また、ストレージサーバーは、クライアントに蓄積された映像データの検索やリプレイにも対応します。下図の通り、メインページ→デバイス管理→ストレージサーバーインターフェイスに進みます。

设备类型	服务器	设备数量	通道数量	IP地址	端口	是否是热备服务	关联的热备服务	与客户端连接状态
编码设备 (在线/总数:8/8)								
解码设备 (在线/总数:1/1)								
智能分析服务器 (在线/总数:1/1)								
存储服务器 (在线/总数:1/2)	Storage Server	8	10	10.20.52.7	6009	否		在线
转发服务器 (在线/总数:1/1)								
报警服务器 (在线/总数:1/1)								
电视墙服务器 (在线/总数:1/1)	存储服务器1	0	0	192.168.3.0	6009	是		离线


【追加】をクリックすると、以下のインターフェイスが表示されます。【更新】をクリックすると、同じ LAN 内のストレージサーバーがすぐに検索され、見つけたストレージサーバーを確認して、【確定】をクリックします。「手動追加」ボタンをクリックして、ストレージサーバー名、IP アドレス、ポートを手動で追加することもできます。

添加存储服务器
×

快速添加 手动添加
服务总数:2 刷新

<input type="checkbox"/>	IP地址	端口
<input type="checkbox"/>	172.16.47.22	6009
<input type="checkbox"/>	172.16.47.53	6009

确定
取消

ストレージサービスを追加し、ホットスタンバイサーバーか否かを編集できます。一方、デバイスが接続されているストレージサービスは、ホットスタンバイサービスか否かを変更できません。追加後、 をクリックして録画パーティションをします。録画パーティション設定画面で、分割をクリック選択し、【確定】をクリックします。

IP地址	端口	是否是热备服务	关联的热备服务	与客户端连接状态	与管理服务器连接状态	录像分区	编辑
10.20.52.7	6009	否		在线	在线		
192.168.3.0						录像分区设置	
<input type="checkbox"/>	分区符号	分区大小	剩余空间				
<input type="checkbox"/>	C(系统盘)	100GB	61GB				
<input checked="" type="checkbox"/>	D	183GB	84GB				
<input type="checkbox"/>	E	182GB	127GB				

ホットスタンバイのストレージサーバーの追加後:

デバイスのストレージサービスがオフラインになり、障害オフライン判定時間に達したとき、ホットスタンバイストレージがオンラインになると、デバイスはストレージをホットスタンバイストレージサービスに切り替えます。デバイスの元のストレージサービスは、関連するホットスタンバイサービスを示しています。

デバイスが属する元のストレージサービスがオンラインになり、障害オフライン判定時間に達すると、デバイスは元のストレージサービスにカットバックするように設定されています。

サービス障害のオフライン判定時間は、ローカル設定→システム構成インターフェイスで設定し、実際のシナリオに応じて1分から5分まで設定できます。

## 5.5 エンコーディングデバイスの一括インポート/エクスポート

一括インポート: 追加するエンコードデバイスのパスワードが異なる場合や、サーバーと同じ LAN セグメントにない場合、ユーザーは一括インポートでデバイスを追加することができます。インポートの手順は以下の通りです。

ステップ1: Excel ファイルを新規作成し、以下の例に従って、インポートするデバイスの情報を編集します。

	A	B	C	D	E
1	ip	port	protocol	userName	password
2	192.168.226.201	9008	ipc	admin	123456
3					

1 行目は英語からのコピーで、あとは実際のニーズに合わせて、デバイスの IP アドレス、ポート番号、プロトコル、ユーザー名、パスワードを追加してください(上記の例はあくまでも参考です)。

ステップ2: 編集したドキュメントを cvs または xlsx フォーマットのファイルとして保存します。

ステップ3: デバイス管理インターフェイスで【一括インポート】をクリックし、フ当該ファイルを選択すると、一括インポートすることができます。



エンコードデバイスのエクスポート: エクスポートするデバイスをクリック選択し、【エクスポート】ボタンをクリックすると、デバイスの詳細リストがエクスポートされます。

## 5.6 デバイスのアップグレード

デバイス管理インターフェイスで、アップグレードするデバイスをクリック選択し、【アップグレード】をクリックし、一括でアップグレードするデバイスの種類を選択します。



## 5.7 デバイスの設定

メインページ→デバイス設定メニューに進み、追加したデバイスのデバイス設定やチャンネル設定を行うことができます。



デバイス毎に設定機能メニューは異なります。具体的な設定方法や手順については、対応するデバイスのユーザーズ手動をご参照ください。

## 5.8 エリアの設定

下図の通り、メインページ→エリア設定メニューに進みます。



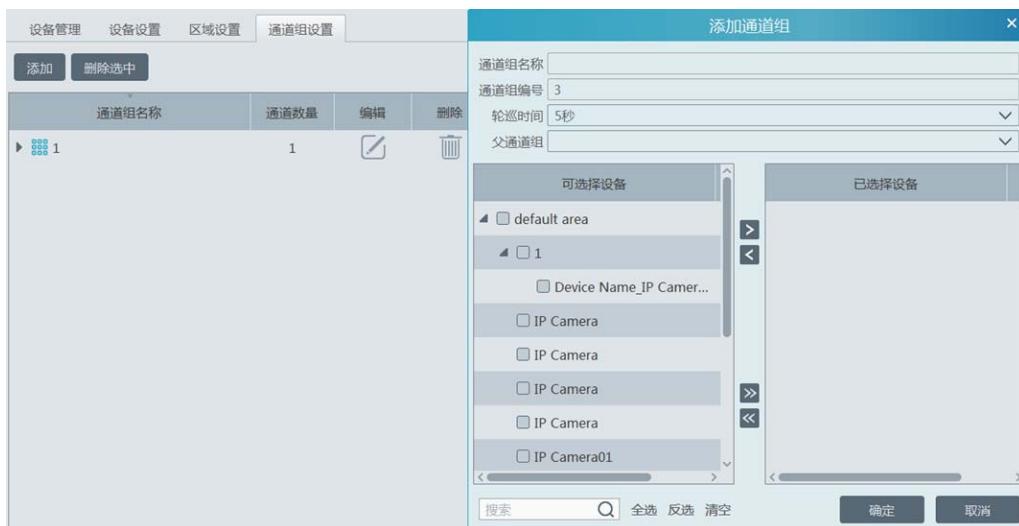
【追加】ボタンをクリックして、エリア情報の追加インターフェイスに進み、新しいエリア名を入力し、第1級エリアを作成し(この時点では上級エリアは空です)、【確定】ボタンをクリックして設定を保存します。第2級エリアを作成するには、【追加】ボタンをクリックし、上級エリアとして第1級エリアを選択し、新しいエリア名を入力して【確定】をクリックします。



第3級エリアを作成するには、第2級エリアを上級エリアとし...と続きます。

## 5.9 チャンネルグループの設定

メインページ→チャンネルグループの設定メニューは以下の通りです。



- ① 【追加】ボタンをクリックすると、チャンネルグループ追加ウィンドウがポップアップされます。
- ② チャンネルグループ名、チャンネルグループ番号(ある場合)、ポーリング時間を入力し、親チャンネルグループを選択します。
- ③ チャンネルグループにチャンネルを追加します。チャンネルをクリック選択し、>をクリックしてチャンネルを追加し、<をクリックしてチャンネルを削除し、>>をクリックして選択できる全チャンネルを追加し、<<をクリックして選択済みの全チャンネルを追加します。
- ④ 【確定】をクリックしてストレージを設定します。

## 第6章 組織管理

### 6.1 スタッフ管理

#### 6.1.1 組織の追加

人事管理、VIP 管理、ゲスト管理、ブラックリストの 4 つの人事データベースに、それぞれ対応するグループ(または組織)を追加することができます。以下は、人事管理の一例です。

- 1 級グループの追加(顔データベース):




メインページ→組織管理に進み、人事管理コラムの空白を右クリックして「追加」ボタンをポップアップさせ、当該ボタンをクリックして組織名を追加します。



- サブグループの追加(顔データベース):

親組織の名前にマウスを合わせると、次のようなタブが表示されます。子組織名を追加する場合は、「+」をクリックします。



 をクリックすると組織名を変更し、 をクリックすると組織名が削除され、 をクリックすると権限がバインドされます。当該組織(顔データベース)の写真をバインドされたカメラに送信します。



組織管理インターフェイスで、「権限管理」をクリックし、「人員」または「デバイス」タブをクリックして、該当する人員またはデバイスを選択すると、対応する配信ステータスが表示されます。

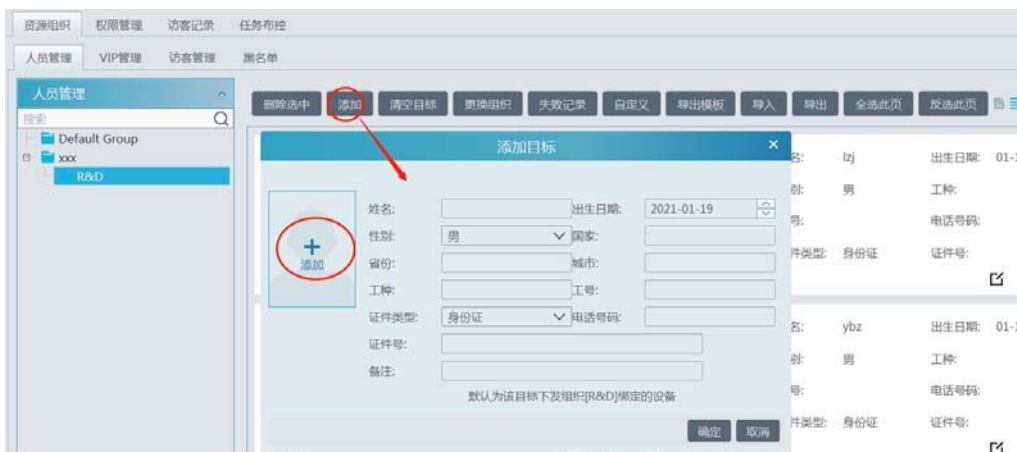


### 6.1.2 スタッフの追加

ユーザーは、人事管理、VIP 管理、ゲスト管理、ブラックリストの 4 つの人事データベースにそれぞれ対応する人員を追加することができます。

#### 一人を追加

組織 (顔データベース) 名を選択して【追加】ボタンをクリックすると、下図のようなターゲット追加ボックスが表示されます。



**+** **添加** をクリックして、ローカルストレージエリアの顔写真を選択し、【開く】をクリックして、人物に対応する情報を入力し、【確定】をクリックして保存します。

- 注意: 3840 × 3840 以下の解像度の顔画像を追加する。  
VIP 管理は人員を追加するために、登録日と VIP レベルを入力する必要があります。

#### 一括インポート

上記のインターフェイスで、【テンプレートのエクスポート】をクリックして Excel のテンプレートをエクスポートし、下図の通りテンプレートのプロンプトに従って対応する情報を入力します。その後、Image フォルダを作成し、Image ファイルの下に、下図の通り画像名 (画像アドレスに対応) を配置します。



最後に、人員情報の Excel ファイルと Image ファイルを同じフォルダに配置します。その後、【インポート】をクリックし、「Excel にインポート」を選択すると、対応する人員情報や画像が自動的に取り込まれます。




【インポート】をクリックし、一括インポートを選択すると、人員の写真を一括してインポートできます。人員関連情報は、人事管理インターフェイスにて手動で修正する必要があります。



【インポート】をクリックし、フォルダへインポートし、サブカテゴリの検索を選択します。サブカテゴリの検索-ターゲットが別のディレクトリに配置されている場合、すべてのサブカテゴリが検索ターゲットとして使用されます。サブディレクトリを検索しないターゲットが別のディレクトリに配置されている場合、メインディレクトリのみが検索されます。

➤ Excel に変換後、画像をインポート

1. 必要に応じて変換する顔写真に名前を付け、\_ でコラムを分けます。(例: David\_男\_1989-01-03\_エンジニア\_顔データベース 1)
2.  ボタンをクリックし、ポップアップウィンドウで、画像(複数選択可)、命名規則、テーブルヘッダーの内容を選択します。







注意：各画像の命名順序は同じでなければならず、画像の命名規則は写真の命名順序に従って選択されます。テーブルヘッダーには、画像の命名規則に従った項目を順不同で入れる必要があります。


テーブルヘッダーのコンテンツには名前と組織が含まれていなければならず、ユーザーは画像名に書き込んだり、エクスポートした Excel シートで編集することができます。

➤ ターゲットの削除・修正



ターゲットの追加が完了したら、ターゲットの情報を変更するために  をクリックします。 をクリックすると、ターゲットが削除されます。 をクリックすると、権限がバインドされます。 をクリックすると、下図の通りターゲット一覧が表示されます。


删除选中	添加	清空目标	更换组织	失败记录	自定义	导出模板	导入	导出	应用	重置	搜索	
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	姓名	出生日期	性别	证件类型	证件号	国家	省份	城市	组织	工种	工号
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	David	2021-01-13	男	身份证					R&D		
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	lzj	2021-01-13	男	身份证					R&D		

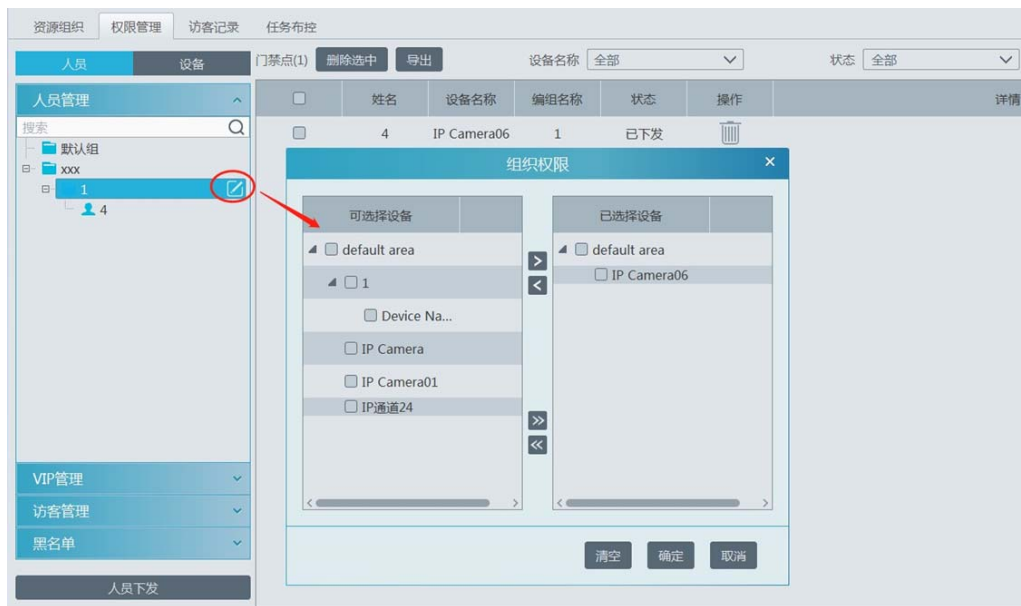
 をクリックしてターゲット情報を修正するか、タイトルの下にある対応するターゲット情報をダブルクリックして変更することもできます。変更後、「適用」をクリックして保存します。変更を途中でキャンセルする場合は「リセット」ボタンをクリックします。

また、上の画像のボタンを使って、組織の変更、欄のカスタマイズ、ターゲットのエクスポートやクリアなどを行うことができます。「サブ組織のメンバー表示」をクリック選択すると、サブ組織のターゲットがメイン組織に表示されます。

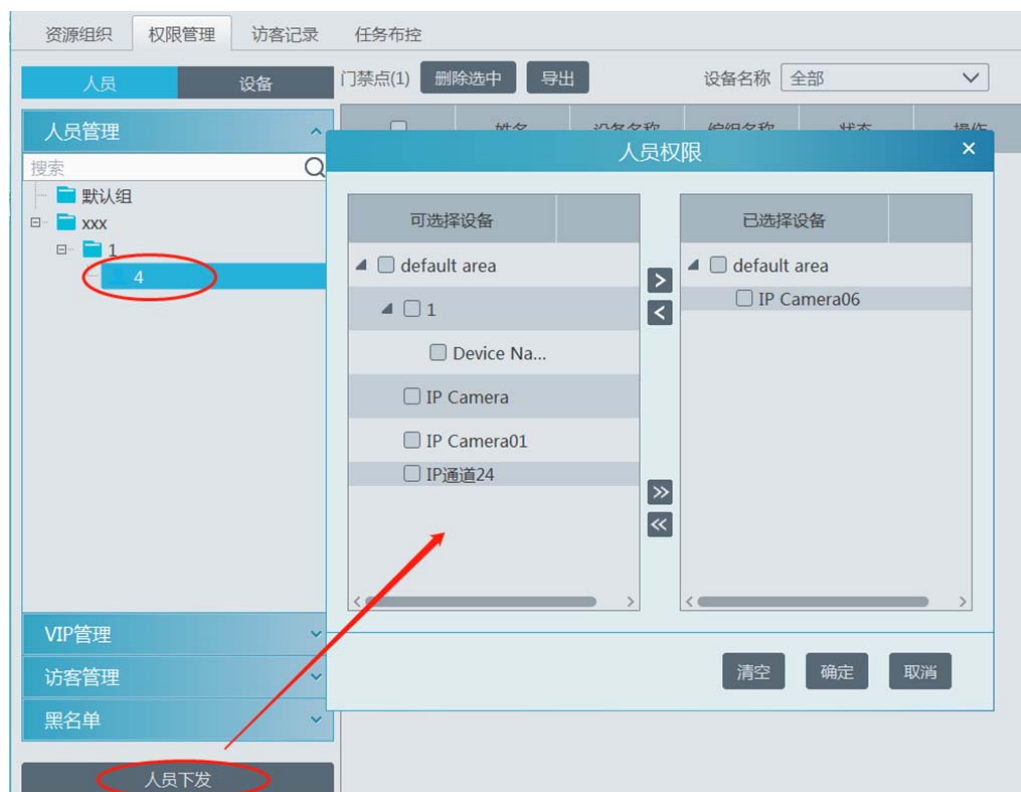
### 6.1.3 権限管理

メインページ→組織管理→権限管理→人員をクリックすると、次のようなインターフェイスになります。当該インターフェイスでは、組織や人員の権限バインディングを設定することができます。

- 組織権限のバインディング:  
組織名にカーソルを合わせると、ボタンが表示され、クリックすると組織の権限をバインドすることができます。

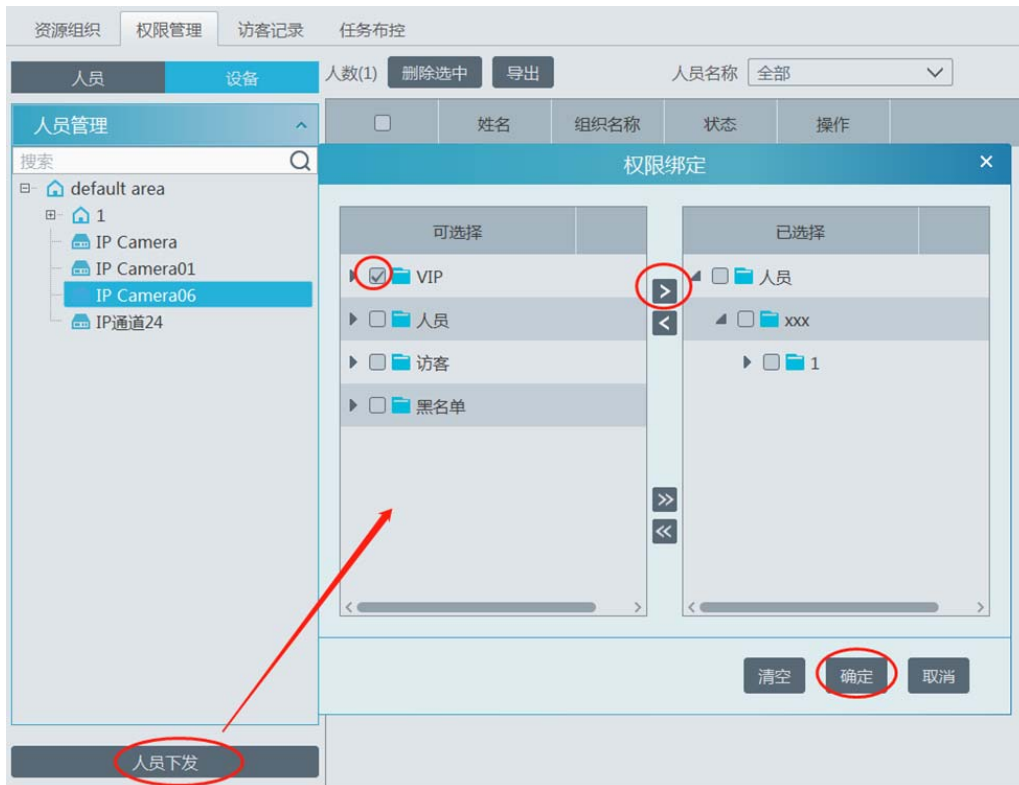



- 人員権限のバインディング:  
権限をバインドまたは変更する人員を選択し、左下の「人員発行」ボタンをクリックすると、ポップアップされた人員権限ボックスで設定することができます。



- デバイスの組織とターゲットのバインディング  
「デバイス」タブをクリックし、デバイスを選択した後、「人員発行」をクリックし、ポップアップした権限バインドボックスで追加する組織または人員をクリック選択します。





権限バインディングの完了後、 をクリックして発行記録を削除することができます。



注：ターゲットにバインドされたデバイスがオンラインでない場合、ターゲットの削除は失敗します。当該インターフェイスで発行記録を強制的に削除すると、削除されます。

### 6.1.4 タスク管理

下図の通り、追加したスマートカメラのスケジューリングや該当するシーンの設定など。

应用	排程模板	更改设置请清除数据，否则会导致智慧工地面板数据出错	清除	设置
监控点	人脸抓拍源	人脸抓拍源排程	适用场景	出入口设置
IP Camera01	IPC比对	7*24	人脸布控,人脸迎宾,人脸考勤	进入
IP Camera07	空		人脸布控,人脸迎宾,人脸考勤	进入
IP Camera	空		人脸布控,人脸迎宾,人脸考勤	无配置
IP Camera02	空		人脸布控,人脸迎宾,人脸考勤	无配置

フェイスキャプチャのソース選択:

IPC フェイスキャプチャ: デフォルトで、IPC が顔検出をサポートしている場合、この方法を設定することができます。

IPC マッチング: IPC がフェイスマッチングをサポートしている場合、この方法が設定できます。

注: 顔照合 NVR、測温顔 IPC、測温顔タブレット、顔検出に対応していない IPC はここでは設定できません。

適用シナリオ: ニーズに応じて、フェイス管理、フェイス VIP、フェイス出社、ゲートアクセスを行うことができます。

【設定】ボタンをクリックすると、下図の通り、さらに詳しい設定ができます。

The screenshot shows a '设置' (Settings) window with the following fields and controls:

- 人脸比对阈值设置 (Face Comparison Threshold Settings):** A slider for '相似度(%)' (Similarity (%)) is set to 75. Below it are '刷新' (Refresh) and '确定' (OK) buttons.
- 智能分析服务器配置 (Intelligent Analysis Server Configuration):** A dropdown menu is set to 'Intelligent Server'. A checked checkbox '启用人脸比对IPC人脸检测' (Enable face comparison IPC face detection) is present. Below are '刷新' (Refresh) and '确定' (OK) buttons.
- FTP上传抓图设置 (FTP Upload Screenshot Settings):** An unchecked checkbox '启用FTP' (Enable FTP) is at the top. Below are input fields for 'FTP服务器地址' (FTP server address), 'FTP服务器端口' (FTP server port) with the value '21', and '保存文件路径' (Save file path) with the value '/'. An unchecked checkbox '匿名登录' (Anonymous login) is below. At the bottom are input fields for '用户名' (Username) and '密码' (Password), followed by '刷新' (Refresh) and '确定' (OK) buttons.

顔照合の閾値設定：デフォルトの比較類似度（デフォルト 75%）を設定できます。

スマート分析サーバーの設定：

顔照合 IPC 顔検知:有効にすると、チャンネルが IPC 照合+スケジューリングで設定されている場合、スマートサービスも当該チャンネルのすべてのフェイススナップショットを取得します。つまり、これらの画像をクエリ検索-スナップショット検索で検索することができます。有効にしないと、チャンネルが IPC 照合+スケジューリングで設定されている場合、スマートサービスは、チャンネルがマッチしないときにはスナップショットを取得せず、マッチに成功したときにのみスナップショットを取得します。クエリ検索-スナップショット検索で、成功したキャプチャの画像を検索することができます。

FTP 設定:設定後、フェイススナップショットは自動的に FTP サーバーに保存されます。

## 第7章 フェイス管理

スマートアプリケーション前に、スマート分析サーバーが作成され、オンラインになっていることを確認する必要があります。

図のように、メインページ→リソース管理→スマート分析サーバーへ進み、スマート分析サーバーを作成します。スマート分析サーバーの IP アドレスなどの情報を設定して、サーバーがオンラインであることを確認する必要があります。

设备类型	服务器	IP地址	端口	与客户端连接状态	与管理服务器连接状态	编辑
编码设备 (在线/总数:8/8)	Intelligent Server	10.20.52.7	6069	在线	在线	
解码设备 (在线/总数:1/1)						
智能分析服务器 (在线/总数:1/1)						
存储服务器 (在线/总数:1/2)						
转发服务器 (在线/总数:1/1)						
报警服务器 (在线/总数:1/1)						
电视墙服务器 (在线/总数:1/1)						

### 7.1 フェイス管理の設定

フェイス管理を初めて設定する場合は、以下の手順で行うことをお勧めします。

組織の追加 > 人員の追加 > タスク管理 > キャプチャと比較結果表示のリアルタイム管理 > 結果の検索

1. 組織の作成、人員の追加、タスク管理は、組織管理の章で関連する設定を参照してください。
2. 追加されたフェイス照会 NVR の設定についても、リソース管理→デバイス設定→フェイス照会のインターフェイスに入り、マッチングする組織(グループ)を選択し、設定を適用する必要があります。



必要に応じて「成功サーチ」または「部外者」を有効にし、成功サーチまたは部外者のスケジュールを設定し、グループにチェックを入れて、「適用」をクリックします。上記でスケジュールの設定ができない場合は、以下のようにフェイスNVRのデバイスやウェブに直接ログインしてスケジュールの設定を行うことができます。



同時に、顔検出で IPC がオンになっていることも確認します。

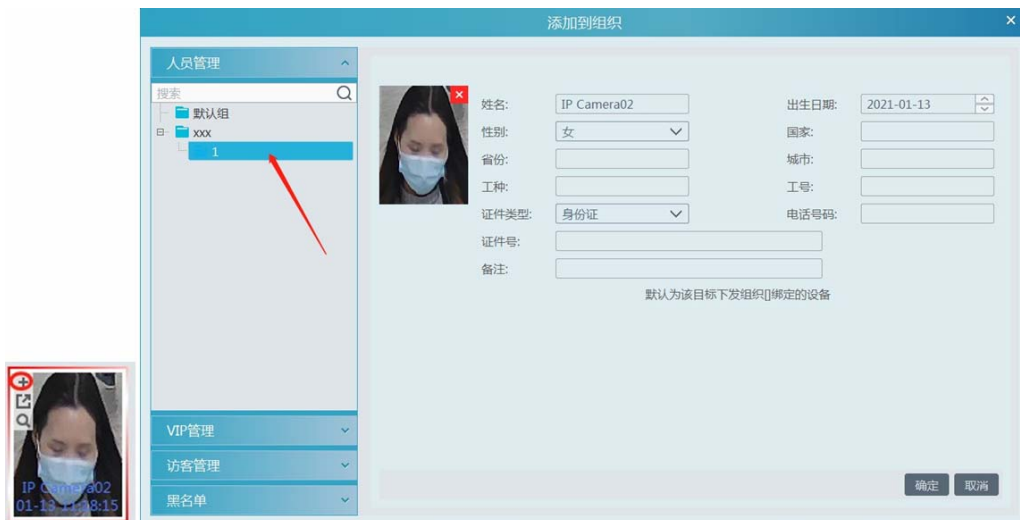



## 7.2 キャプチャと比較結果をリアルタイム検索

顔検出に対応した IPC をプレビューして、フェイスキャプチャの結果を確認することができます。リアルタイムプレビューは 1/4/9/16/1/4/9 画面の分割プレビューが可能です。



スナップショットを目的のライブラリに素早く取り込む



+ボタンを押すと、ターゲットの追加がポップアップされます。人員管理欄で、スナップショットを追加するグループを選択し、対応する情報を入力して【確定】をクリックします。画像をキャプチャして、素早く画像検索ができます。検索ボタンを押すと、自動的に画像検索タブにリンクし、当該画像を読み込むことができます。





スナップショットは、ローカルエリアへの保存にも対応します。📄ボタンを押すと、ローカルハードディスクにダウンロードされます。比較結果の表示: 右側に比較結果が表示されます。ダブルクリックすると詳細が表示されます。



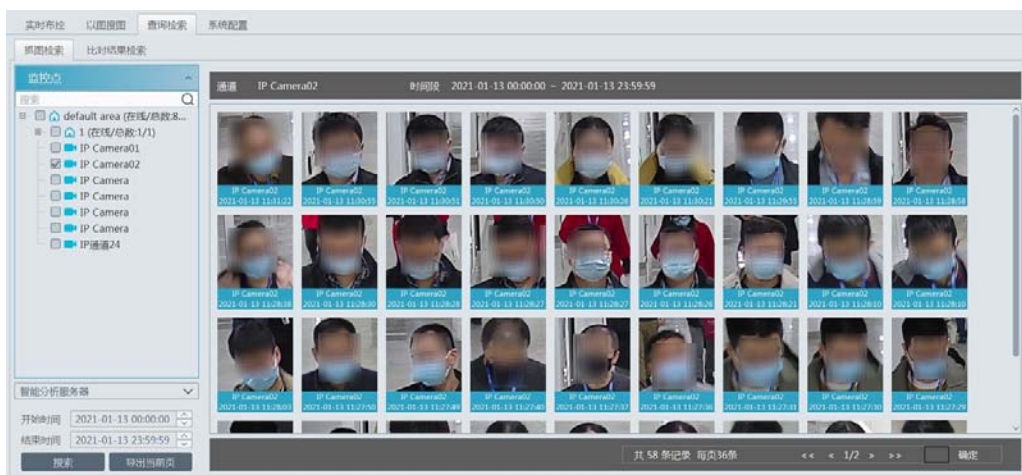
: クリックすると、顔比較の結果がクリアされます。

: 一致しない結果を表示しない場合はクリックしてください。

### 7.3 クエリ検索



- 画像キャプチャ検索

ユーザーは、スマート分析サーバーや顔照会 NVR で画像キャプチャの結果を検索することができます。チャンネルを選択し、開始時間と終了時間を設定した後、スマート分析サーバーや顔照会 NVR から画像の取得を選択し、画像【検索】をクリックします。



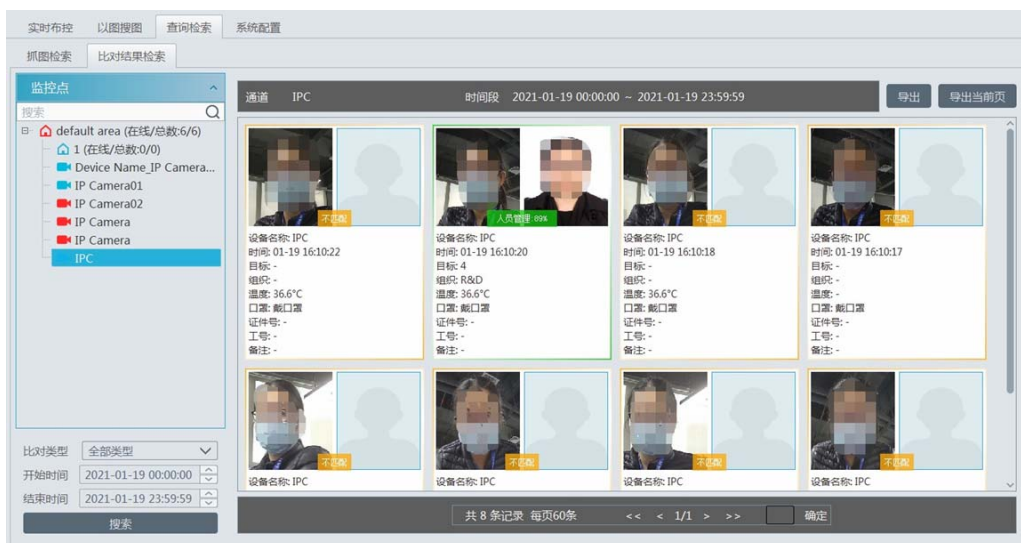
検索した画像の上にマウスを置くと、以下のショートカットボタンが表示されます。



+ボタンをクリックすると、ターゲットライブラリにブルズアイチャートが素早く追加されます。検索ボタンをクリックすると自動的に画像で検索タブにリンクして画像が読み込まれます。ボタンをクリックすると、ローカルハードディスクにダウンロードされます。

● 比較結果検索

スマート分析サーバーの比較結果のみを検索します。チャンネルを選択し、開始時間と終了時間を設定して、【検索】をクリックすると、比較画像が検索されます。



## 7.4 画像検索

顔照合 NVR デバイスに適用されます。具体的な設定手順は以下の通りです。

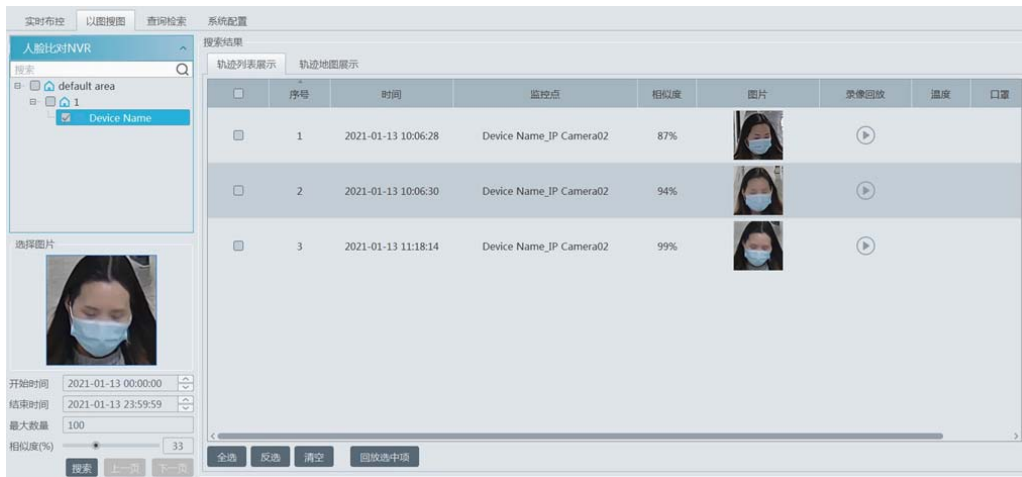
1) スケジューラー録画の設定

まず、スケジューリングが設定されていること、テストするチャンネルが正しく録画されていることを確認します。

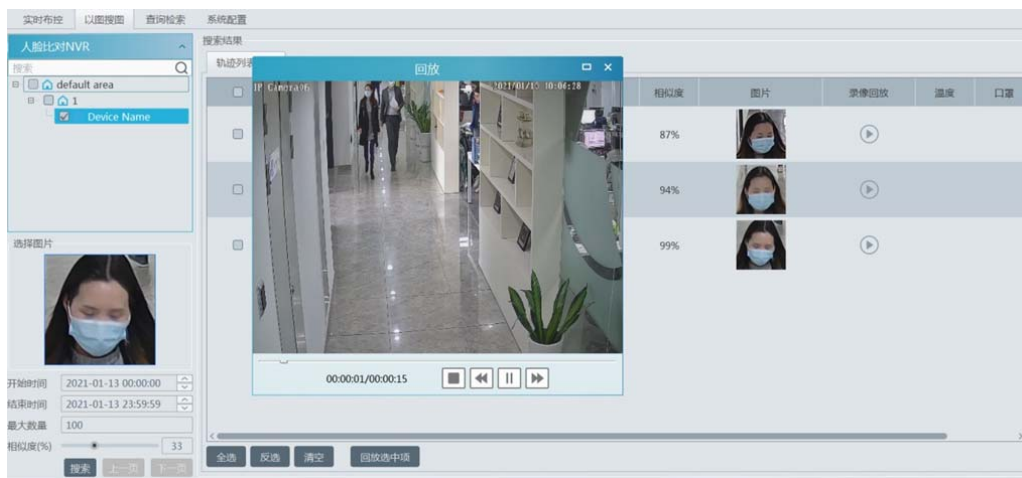


2) 画像の選択

手動で写真を追加したり、スナップショットや組織写真を追加することができます(追加方法は、スマートプレイの章の写真追加方法と同じです)。



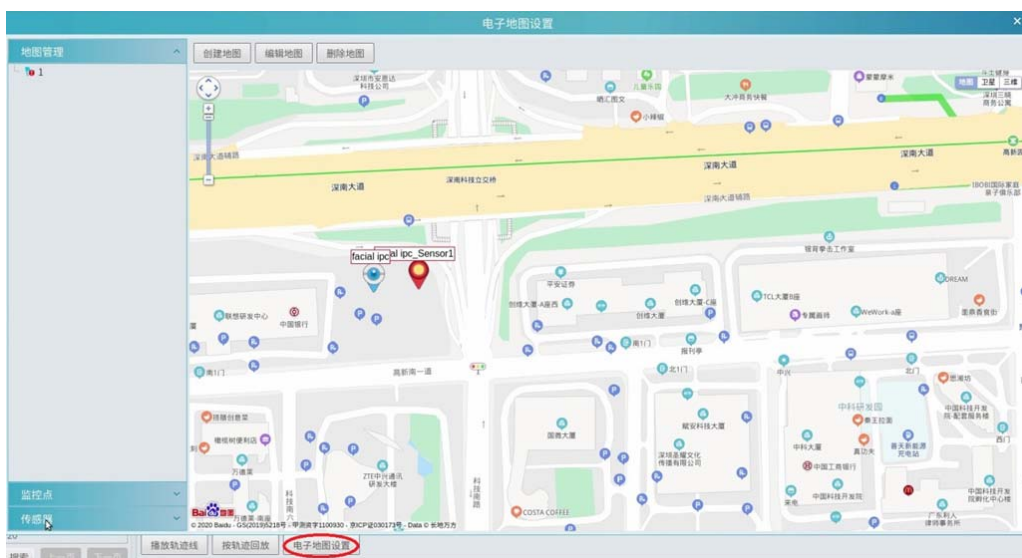
- 3) チャンネルを選択し(複数選択可)、開始時間と終了時間、最大数と類似性を設定して、【検索】をクリックすると、該当する画像の検索が開始されます。▶ ボタンをクリックすると、小ウィンドウでプレイが開始されます。



4) トラックマップの表示

◆ マップの作成

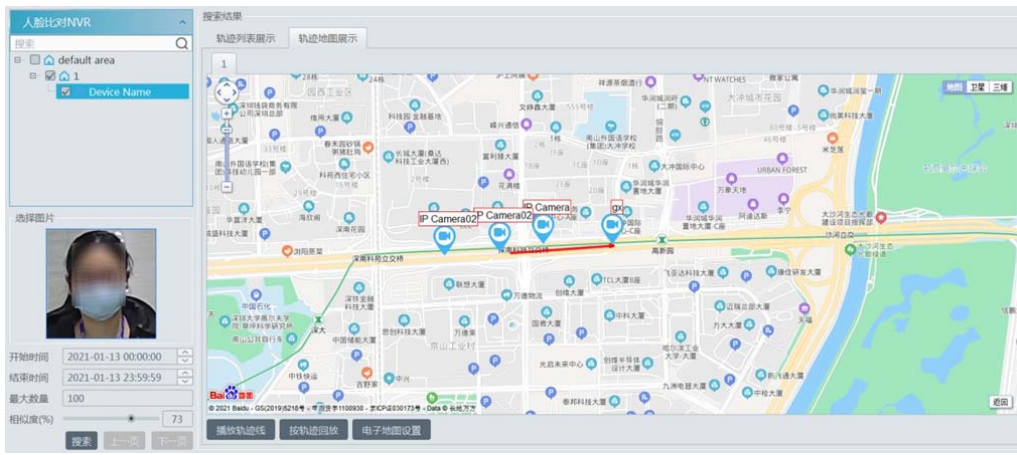
電子マップの追加、削除、変更に対応しており、テストするチャンネルのホットスポットをマップに追加して、人員の行動軌跡を簡単に確認することができます。



追跡に基づきプレイ: このボタンをクリックすると、トラックごとにプレイされます。

追跡ラインのプレイ: 【追跡ラインの再生】をクリックすると、マップ上を移動する人の追跡ラインが再生されます。





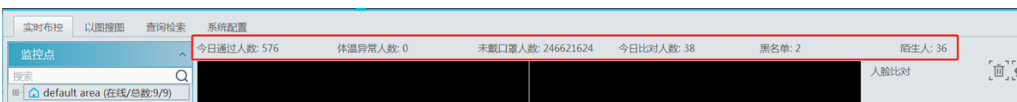
## 7.5 システム設定



バレットボックスの設定:

本インターフェイスでは、ブラックリスト、ホワイトリスト、部外者とのマッチング後のポップアップボックスの有無、ポップアップボックスの保留時間などを設定することができます。

今日の通行人人数、体温異常人数、マスク着用者人数、今日の照合人数、ブラックリスト、部外者にチェックを入れると、選択した内容がリアルタイム管理インターフェイスに表示されます。



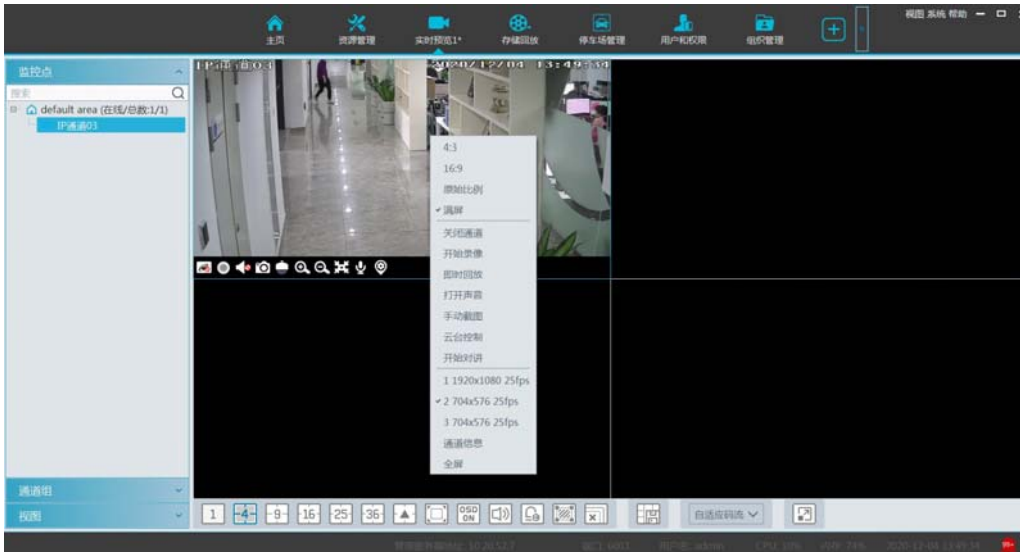
顔照合アラームタイプの設定: ブラックリストアラーム、部外者アラームを有効にし、アラームが発生した場合はリアルタイムアラームリストとアラームログで確認することができます。



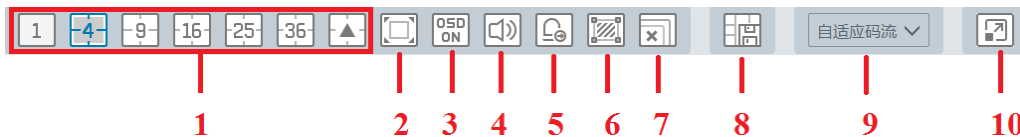
## 第8章 画像プレビュー

### 8.1 リアルタイムプレビュー

下図の通り、メインページ→画像プレビューに進みます。



リアルタイムプレビューボタンの説明は以下の通りです。



シリアル ナンバー	説明	シリアル ナンバー	説明
1	画面分割モード	6	スマート機能検出エリアの表示
2	全画面表示: 全画面表示状態で、右クリックして「全画面終了」を選択すると、全画面表示状態が終了します。	7	全チャンネルのプレビューを閉じる
3	OSD のオン/オフ	8	現在のプレビューモードの保存
4	放送のオン/オフ	9	チャンネルストリームの選択
5	手動アラーム出力	10	リアルタイム画像キャプチャスマート機能の表示

チャンネルストリーム: メインストリーム、サブストリーム、サードストリーム、自己調整ストリームがあります。サードストリームを選択し、チャンネルがサードストリームをサポートしていない場合は、デフォルトでサブストリームとなります。ウィンドウツールバーの説明は以下の通りです。

キー	説明	キー	説明
	画像を閉じる		3D ズームイン
	ローカル録画の開始または停止		ズームインした後、チャンネル画面をドラッグして画像を確認
	サウンドオン/オフ		ズームアウト/イン後の画像
	スクリーンショット		ウィンドウサイズ別表示

	PTZ コントロール		インターカムのオン/オフ
	モニタリングポイント設定		

ウィンドウの右クリックメニューの説明は以下の通りです。

名前	説明	名前	説明
チャンネルのクローズ	チャンネル画像のクローズ	PTZ コントロール	PTZ コントロール、クリックして PTZ コンソールをポップアップ
録画の開始	ローカル録画の開始または停止	インターコム の開始	インターコムのオン/オフ
リアルタイム リプレイ	リアルタイムリプレイ時間を選択し、リアルタイムリプレイを開始	チャンネル情報	現在のチャンネル名、IP アドレス、ストリーム情報の表示
サウンドの オン	サウンドのオン/オフ	ストリーム	プレビューストリームを選択します。ストリームのオプションはデバイスによって異なります
手動スクリーン ショット	手動スクリーンショット	全画面	全画面プレビュー

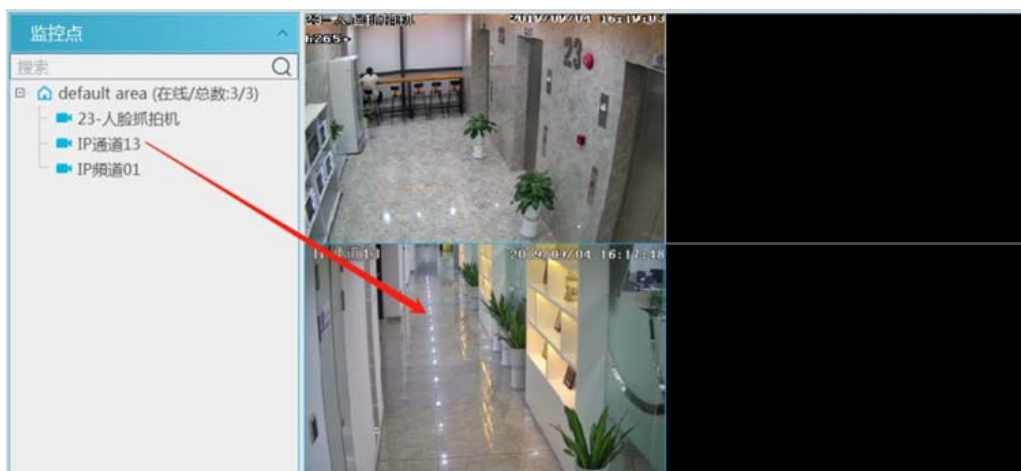
4:3/16:9/オリジナル比率/全画面：画面の表示比率は、ニーズに合わせて選択ください。

注意：ソフトウェアは、一度に1つのウィンドウの音声しか開くことができません。1つのウィンドウの音声を開くと、前のウィンドウの音声は自動的に閉じられます。



### 8.1.1 モニタリングポイントのプレビュー

- プレビューの開始：


右のモニターポイントを展開して、目的のプレビューウィンドウにドラッグするか、プレビューウィンドウを選択してモニターポイントをダブルクリックすると、ウィンドウに当該モニターポイントのリアルタイム画像が表示されます。ウィンドウから他のウィンドウに画面をドラッグ & ドロップして、プレビューすることができます。



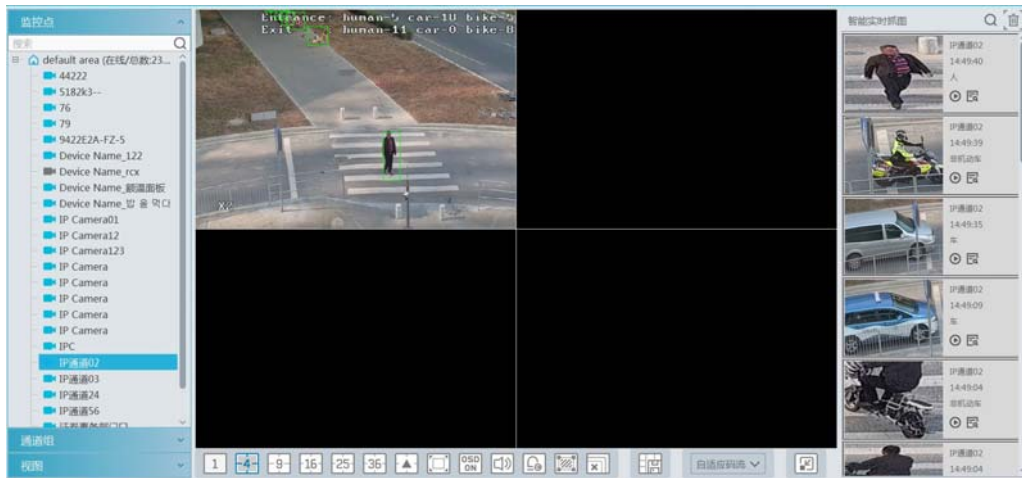
- プレビューの終了：


- ① プレビューウィンドウにマウスを合わせると、ウィンドウ下部にツールバーが表示されます。ツールバーの  ボタンをクリックすると、当該チャンネルのプレビューが停止します。
- ② リアルタイムプレビューウィンドウを右クリックし、「チャンネルを閉じる」を選択すると、当該チャンネルプレビューが閉じます。
- ③ リアルタイムプレビューボタンの  ボタンをクリックすると、すべてのウィンドウのライブプレビューが停止します。

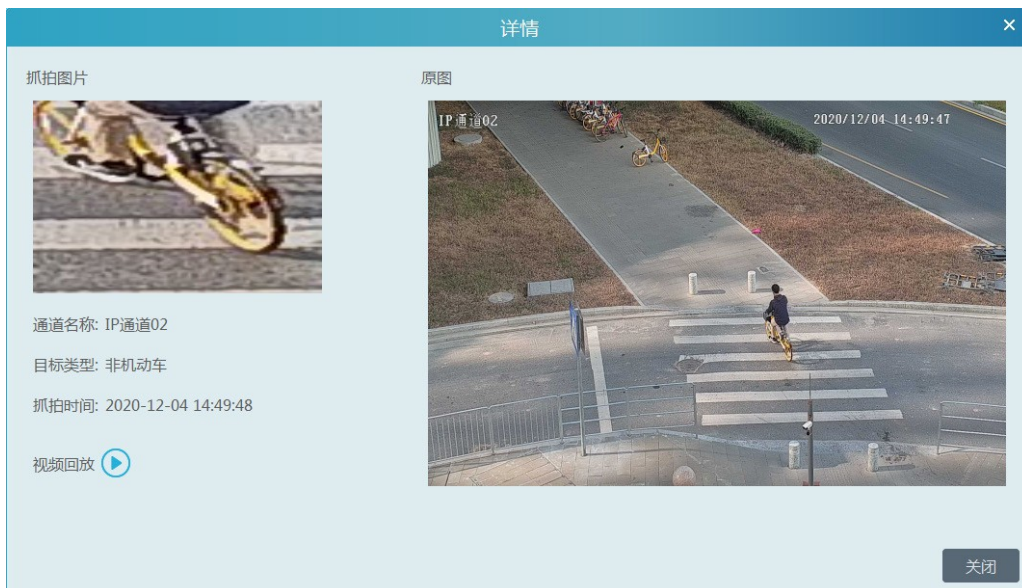
- ライブスマートキャプチャのプレビュー

プレビューインターフェイスでは、スマート IPC のチャンネル名をプレビューウィンドウにドラッグし、 をクリックすると、人、車両、非車両のスナップショットがリアルタイム表示されます。

注意：非分離型モデル対応スマート IPC で、対応するスマート機能（例：ボーダークロス、エリア侵入/入退出、ターゲット統計）が有効になっており、ターゲット検出がチェックされている場合のみ、スマートリアルタイムキャプチャ画像を表示することができます。



右のスナップショットの  をクリックすると、下のようにスナップショットの詳細が表示されます。



上図の映像リプレイボタンをクリックするか、スナップショット横にある再生ボタンをクリックすると、映像が再生されます。

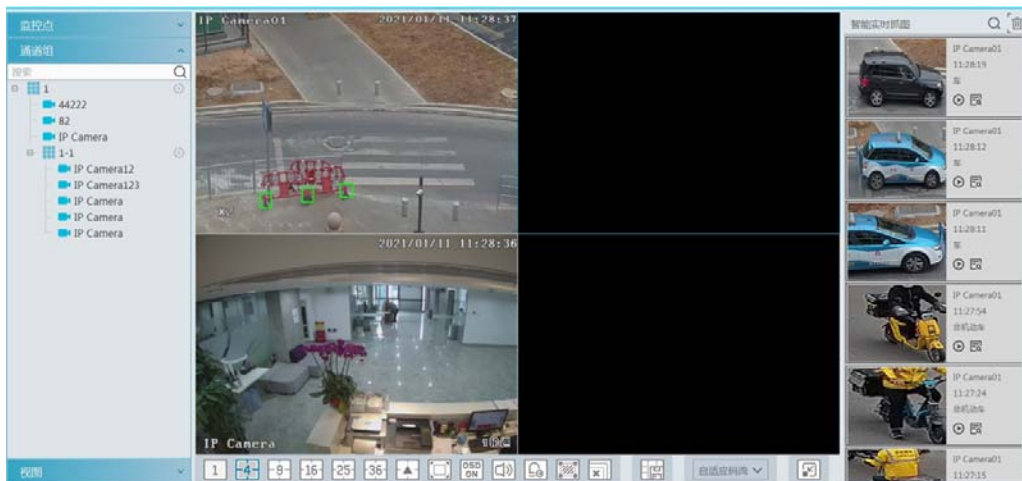
注意：映像を再生するには、録画設定インターフェイスで録画スケジュールを有効にする必要があります。（メインページ→録画設定をクリックし録画設定インターフェイスに進み、対応するスマートカメラを選択し、対応するスケジュールを選択します（例：7×24）。）







### 8.1.2 プレビューのローテーション

- チャンネルグループのプレビュー開始  
チャンネルグループの設定（詳しい設定手順は「チャンネルグループの設定」の章を参照）を行った後、リアルタイムプレビューのインターフェイスに進み、下図の通りチャンネルグループを選択します。










以下の方法でチャンネルグループを再生することができます。

1. チャンネルグループ内のチャンネル数に応じて適切な画面分割モードを選択し、チャンネルグループ名をダブルクリックするか、チャンネルグループ名を現在のウィンドウにドラッグすると、チャンネルグループ内のチャンネルが再生されます。
2. 現在の画像分割モードでウィンドウを選択し、チャンネルグループ名の後にある  をクリックすると、当該ウィンドウ内のチャンネルグループのチャンネルが順次再生されます。  
親チャンネルグループ名の後にある  ボタンをクリックすると、設定されたローテーション時間に従って、親/子チャンネルがすべてローテーションされます。  
サブチャンネルグループ名の後にある  ボタンをクリックすると、設定したローテーション時間に応じてサブチャンネルアイテムを個別にローテーションさせることができます。
3. 複数のサブチャンネルがある場合、親グループの名前の後にある  ボタンをクリックすると、サブチャンネルグループをローテーション再生し、システムはサブチャンネルグループのチャンネル数に応じて画面分割数を調整します。



 をクリックすると、前のサブチャンネルが再生され、 をクリックすると次のサブチャンネルが再生され、 をクリックするとサブチャンネルグループのローテーションが停止します。

● チャンネルグループプレビューの停止:

- ① ローテーションプレビューウィンドウの上にマウスを置いて  ボタンをクリックすると、チャンネルグループのプレビューが停止します。
- ② プレビューのローテーションウィンドウを右クリックし、「チャンネルを閉じる」を選択すると、当該チャンネルプレビューが閉じます。
- ③ リアルタイムプレビューボタンの  ボタンをクリックすると、すべてのウィンドウのライブプレビューが停止します。



### 8.1.3 プレビューの表示

リアルタイムプレビュー画面の左メニューバーで、下図の通りビューを選択します。



- 新規ビューの作成:

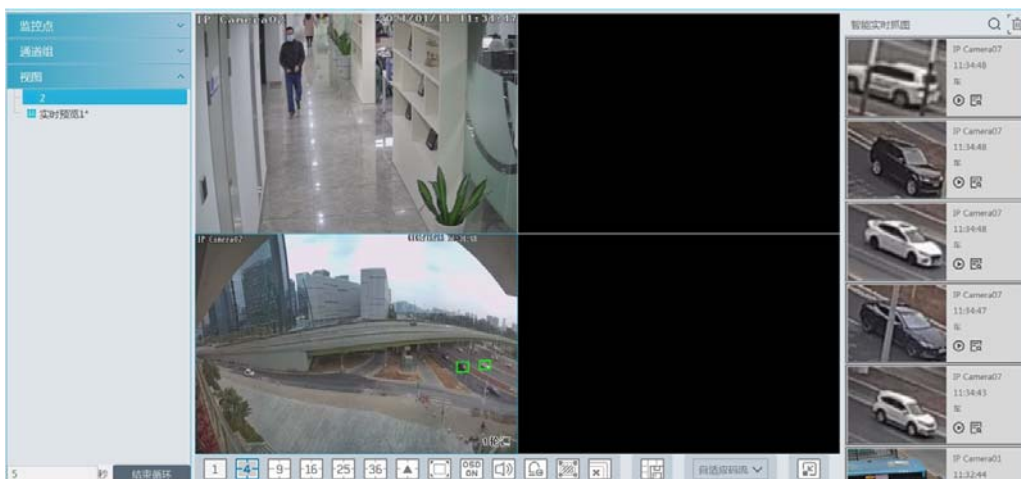
- ① 映像エリアを右クリックして「新規ビューの作成」を選択するか、**+**をクリックしてビューを追加します。「新規ビューの作成」をクリックすると新規ビューボックスがポップアップされ、ビュー名を入力して【確定】をクリックして当該ビューへ進みます。**+**をクリックすると、システムはビュー名をデフォルトで設定します。
- ② 画面分割モードを選択し、各ウィンドウにモニターポイントやチャンネルグループをドラッグインします。
- ③ 左のメニューバーの「ビュー」をクリックし、作成したビューの名前を右クリックして、「ビューの保存」を選択します。または、リアルタイムプレビューボタンの ボタンをクリックします。ビューのプレビュー名をダブルクリックすると、呼び出すことができます。

- ビューの修正・削除:

追加されたビューを選択して右クリックし、「ビューの修正」または「ビューの削除」を選択すると、ビューを適宜修正または削除することができます。

- ビューループの開始と終了:

複数のビューが保存されている場合、ユーザーは以下のように現在のページのビューをループさせることができます。

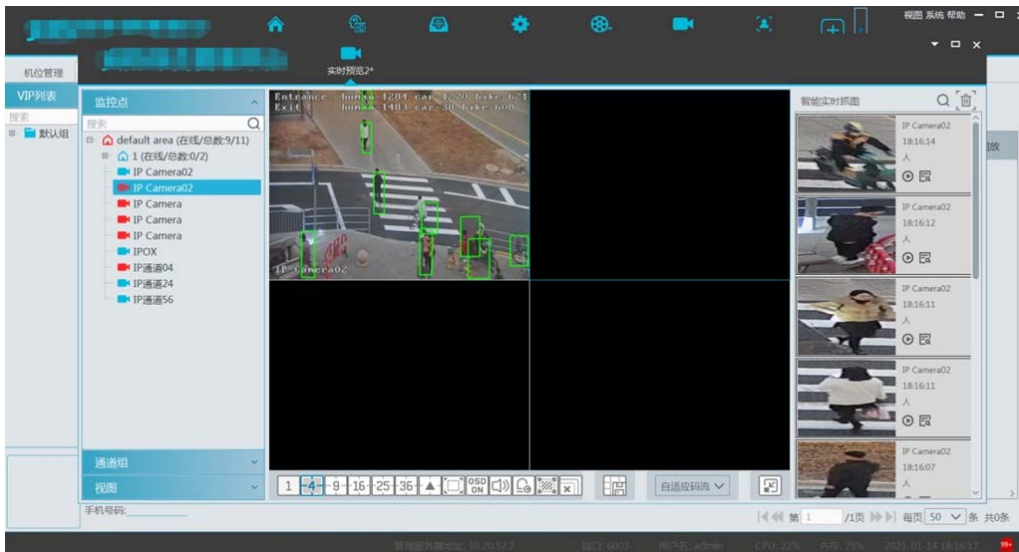



ページの左下でループ時間(5~3600s)を設定し、【ビューループの開始】をクリックすると、システムは設定した時間に応じてループを再生します。【ループの終了】をクリックすると、現在のループが停止します。

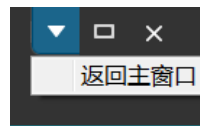


## 8.2 マルチスクリーンプレビュー

リアルタイムプレビューインターフェイスで、リアルタイムプレビュータブを左クリックして別の画面にドラッグすると、マルチスクリーン表示になります(マルチスクリーン出力に対応したホストマシンのグラフィックカードが必要です)。



ホバーウィンドウの右上にある  ボタンをクリックし、「メインウィンドウに戻る」を選択すると、当該ページに戻ることができます。



## 8.3 PTZ コントロール

PTZ コントロールをクリックすると、現在のデコーダーウィンドウの PTZ コントロールインターフェイスが表示され、8 方向コントロール、ズーム、フォーカス、アイリス、PTZ スピードコントロール、プリセットポイントの調整、クルーズラインの調整、軌道の調整などの PTZ コントロールを行うことができます。



## 8.4 リアルタイムリプレイ

リアルタイムプレビューウィンドウを右クリックして「リアルタイムリプレイ」を選択し、リアルタイムリプレイ時間を設定すると、設定した時点から5分以内の録画を検索し、下図の通り録画データが利用可能な時点からリプレイを開始します。



## 第9章 録画設定とリプレイ

### 9.1 録画設定

本ソフトウェアは、手動録画、スケジュール録画、アラーム連動録画など、さまざまなタイプの録画に対応しています。

#### 9.1.1 スケジュール録画

モニタリングポイントを設定し、設定したスケジュールに従って録画することができます。メインインターフェイスで「リプレイの保存」→「録画設定」をクリックして、録画スケジュールを設定します。

区域	设备名称	码流类型	录像排程	音频	警前录像(秒)	警后时间(秒)
default area	44222	主码流	关闭	打开	0	60
	82	主码流	关闭	打开	0	60
	9422E2A-FZ-5	主码流	关闭	打开	0	60
	IP Camera	主码流	关闭	打开	0	60
	IP Camera	主码流	关闭	打开	0	60


録画するチャンネルのストリームタイプと録画スケジュール、アラーム前後の録画時間を選択し、【適用】をクリックします。


スケジュール設定:

下図の通り、スケジュールテンプレート設定タブを選択します。

排程名称	编辑	删除
7*24		
5*24		

下図の通り、【追加】ボタンをクリックします。スケジュール名を入力して、スケジュールを設定します。

 をクリックすると、マウスがI字型になり、各日の時間帯の上でマウスの左ボタンをスライドさせてスケジュール時間を選択します。

 をクリックして、スケジュールされた時間帯を選択すると、選択した時間帯をクリアすることができます。

「手動入力」をクリックして、正確な開始時刻と終了時刻を入力します。

「すべて選択」または「リバーズ選択」をクリックすると、時間帯をすばやく選択できます。

「クリア」をクリックすると、該当する時間帯がクリアされます。



### 9.1.2 アラーム連動録画

設定方法は以下の通りです。

- ① メインインターフェイスの「デバイス設定」をクリックし、リンクさせるデバイスを選択し、対応するアラームを作動させ、スケジュールを設定します。
- ② 下図の通り、メインインターフェイス→アラームセンター→アラーム連動設定インターフェイスに進みます。アラームタイプの選択、録画のオン、連動する録画チャンネルの設定、スケジュールの設定を行い、「適用」をクリックします。

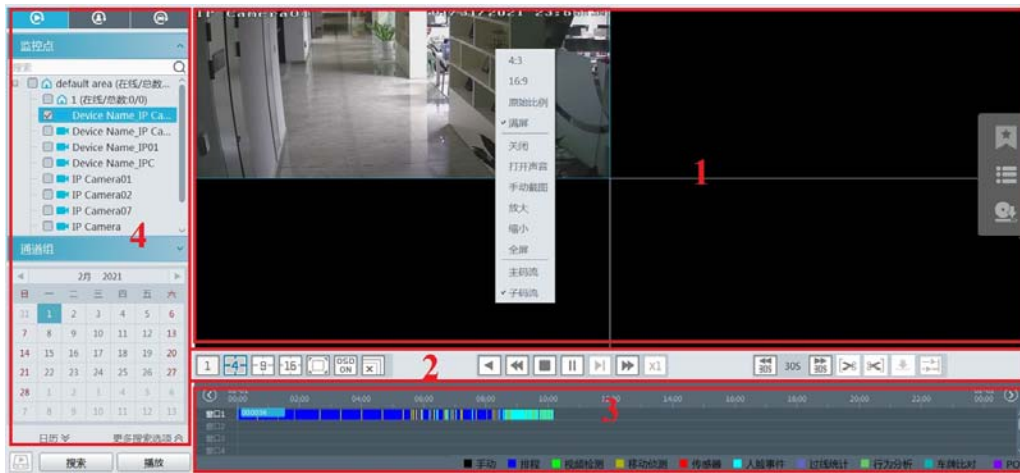


## 9.2 録画リプレイ

メインインターフェイスで「リプレイの保存」をクリックすると、リプレイ保存インターフェイスが表示され、デバイスやストレージサーバーに保存されている録画データをリプレイすることができます。

録画リプレイには、モニターポイントリプレイ、フェイススマートリプレイ、ナンバープレートスマートリプレイの3種類があります。

### 9.2.1 モニターポイントリプレイ



注: デフォルトでは、4 フレーム以上のリプレイ時にはサブストリームリプレイとなります。

録画リプレイインターフェイスエリア説明:

シリアル ナンバー	説明	シリアル ナンバー	説明
1	録画リプレイエリア	3	録画時間帯エリア
2	ツールバー	4	時間、イベント検索録画、リソースリスト

ウィンドウリプレイツールバーボタンの説明は以下の通りです。

キー	説明	キー	説明
	画像を閉じる		ズームインした後、チャンネル画面をドラッグして画像を確認
	サウンドオン/オフ		ズームアウト/イン後の画像
	手動スクリーンショット		ウィンドウサイズ別表示
















ウィンドウの右クリックメニューの説明は以下の通りです。

メニュー	説明	メニュー	説明
關閉	關閉圖像	縮小	縮小/拡大の画像
サウンドの オン	サウンドのオン/オフ	全画面	全画面プレビュー
手動截图	手動截图	メインスト リーム	サブストリーム再生への切り替え
放大	現在のプレビュー画像のズームイン		

4:3/16:9/オリジナル比率/全画面: 画面の表示比率は、ニーズに合わせて選択ください。




エリア 2 のツールは以下の通りです。


キー	説明
	画面分割ボタン、1、4、9、16 チャンネルの画面分割モードを選択可能
	全画面表示
	OSD のオン/オフ




	全ウィンドウのオフ
	インターネットデバイスで録画を取得
	ストレージサーバーから録画データを取得
	リワインドで再生
	リバース再生
	停止
	再生/一時停止
	1 フレーム再生は、リプレイ状態で一時停止ボタンをクリックしてからボタンをクリックすると、1 フレームずつリプレイされます
	倍速再生
	クリックすると通常のスピード再生に戻ります
	30 秒前進または 30 秒後退
	バックアップ開始時間点
	バックアップ終了時間点
	バックアップ開始
	録画リプレイの再生モードを、非同期または同期に設定


その他のボタンの説明は以下の通りです。





キー	説明	キー	説明
	タグの記録、タグの追加		イベントリストは、当該ボタンをクリックすると録画イベントリストが表示されます
	録画バックアップは、イベントベースとタイムベースのオプションがあります。		

一般録画リプレイインターフェイスでは、デバイス、日付、録画タイプ、録画ソースを選択します。それから、リプレイしたいチャンネルを理比例ウィンドウに直接ドラッグしてリプレイするか、ウィンドウを選択してリプレイしたいチャンネルをダブルクリックするか、【検索】をクリックして録画ファイルを探してから  をクリックしてリプレイするか、いずれかの方法で行います。

リプレイ録画のタイプには、手動、スケジュール、録画検出、動体検出、センサー、顔検出、ターゲット統計、行動分析、顔比較、POS 録画があります。対応するリプレイ録画バーは、上図の通り様々な色が用意されており、動体検知録画データはイエロー、スケジュール録画データはブルー、センサーアラーム録画データはレッドとなっています。インターフェイス右下の  をクリックするとタイムルーラーの縮尺が拡大し、クリック  するとタイムルーラーの縮尺が縮小し、 をクリックするとタイムルーラーの縮尺が 24 時間に戻ります。タイムルーラーが拡大した状態で、時間軸をドラッグすると各時点を見ることができます。

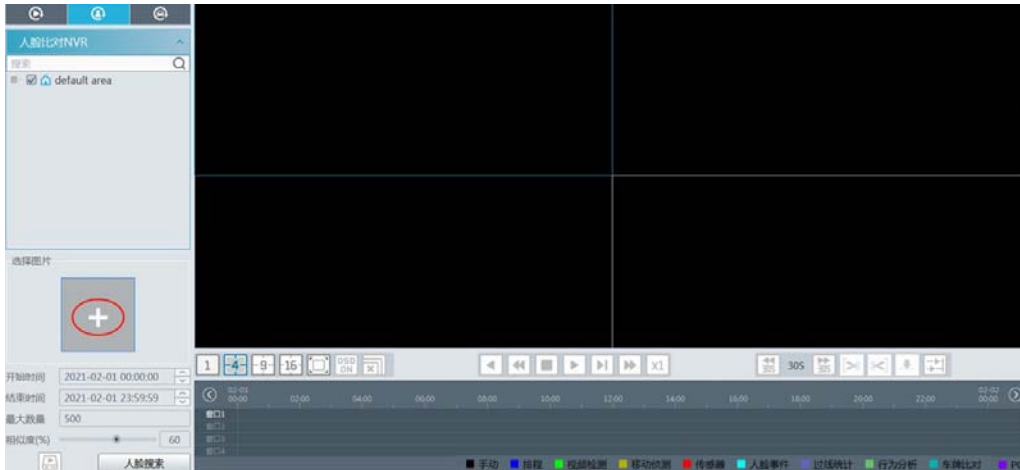
同期リプレイ: すべてのチャンネルが同じ時点でリプレイされます。あるチャンネルが現時点で録画されていない場合、そのチャンネルは待機状態になります。録画リプレイインターフェイスのツールバーの  ボタンをクリックすると、リプレイモードが同期状態に切り替わります。同期モードでは、同じモニタリングポイントの再生ウィンドウは 1 つしかないため、各モニタリングポイントの録画情報を同時に見ることができます。録画したファイルの同期リプレイ、非同期リプレイ中に「同期」、「非同期」ボタンをクリックすると、グレースアウトし、再生ウィンドウをすべて閉じてからでないと切り替えられません。

非同期再生: 複数のチャンネルの録画を同時にリプレイする場合、各チャンネルはそれぞれ独立しており、各チャンネルの録画再生の現在時刻は異なることがあります。初期設定は非同期再生で、ボタンの状態は  です。同期状態では、ツールバーの  ボタンをクリックすると、リプレイモードが非同期状態に切り替わります。



## 9.2.2 顔認知スマートプレイ

追加された顔照合 NVR デバイスでは、下図の通り、顔認知スマートプレイを行うことができます。



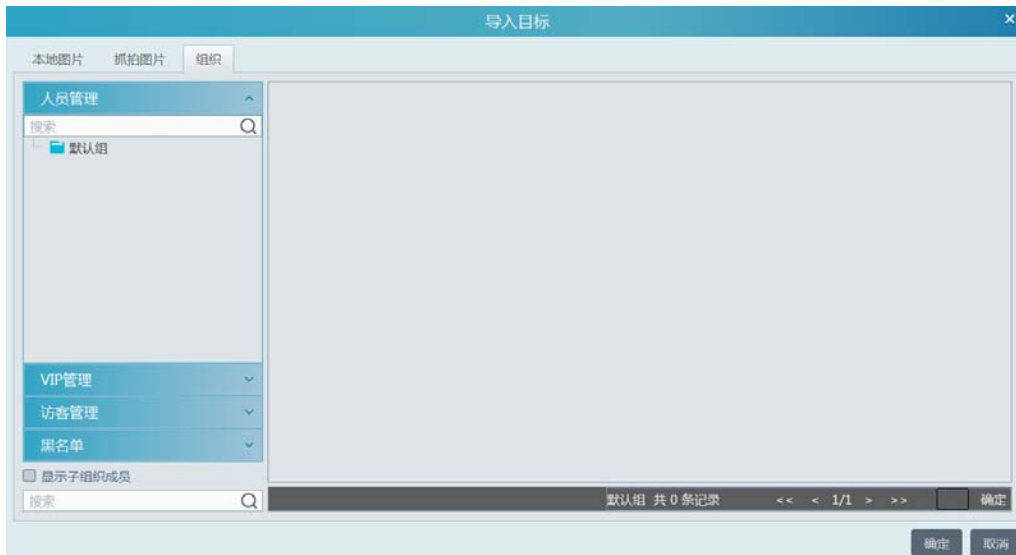
「顔認知スマートプレイ」タブをクリックし、顔比較 NVR にチェックを入れ、+ をクリックして、顔写真を取り込みます。ローカル写真、スナップショット、組織写真などを取り込むことができます。ローカル写真の取り込み：



スナップショットの取り込み：下図の通り

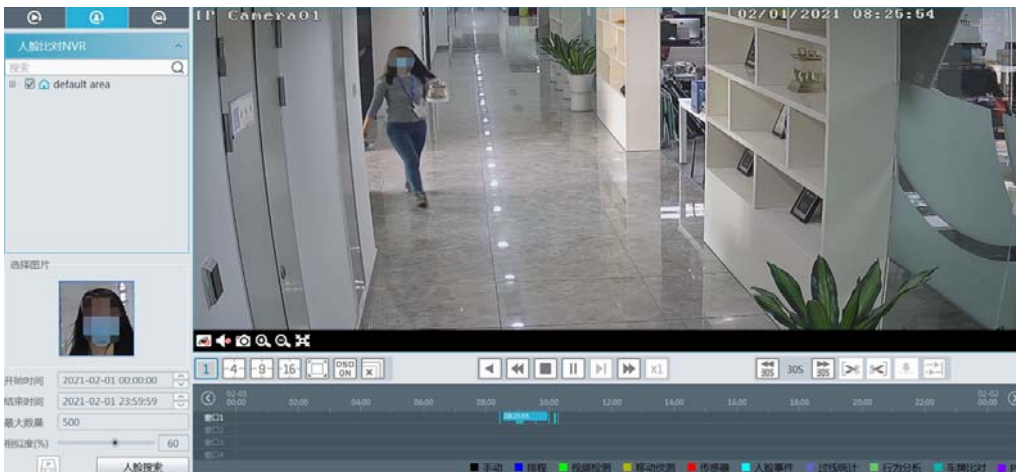


組織写真の取り込み：作成した組織フレームから顔写真を選択することができる



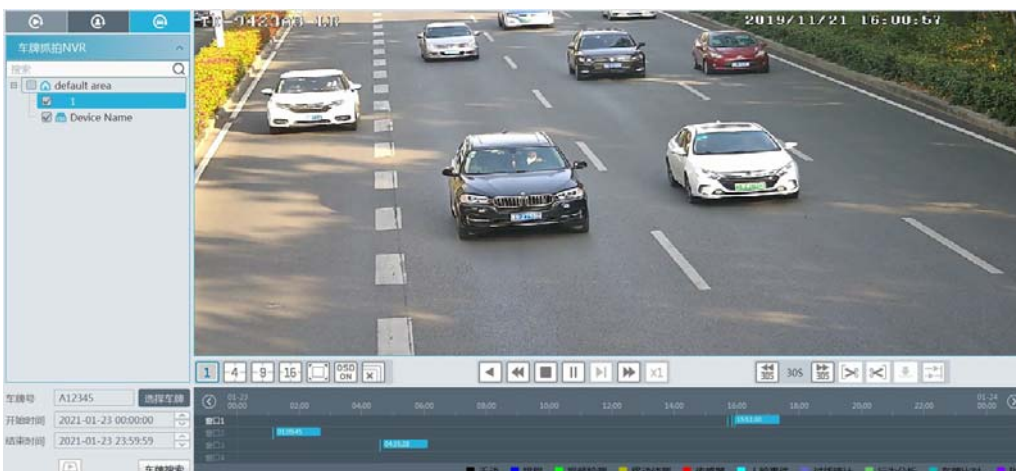
組織内の顔を検索するには、顔写真を組織に取り込む必要があります。具体的な設定方法は、対応する組織の設定の章をご参照ください。写真の取り込み後、開始時刻、終了時刻、最大数、類似度を入力した後、【顔検索】をクリックすると、該当する顔のスマートリプレイが行われます。

**注意:** 録画ソースは、デバイスのハードディスクの録画です。顔画像がNVRデバイスのハードディスク録画にある場合は、当該録画が録画リプレイウィンドウで再生されます。



### 9.2.3 ナンバープレートスマートリプレイ

デバイスとサーバーの車両録画情報をリプレイすることができます。ナンバープレート検出に対応したナンバープレートカメラまたはNVRデバイスを選択し、検索ソース、開始時間、終了時間を選択し、ナンバープレート番号を入力して、【ナンバープレート検索】をクリックして検索します。



デバイスから検索するには、NVR デバイス内のナンバープレート検知録画情報を検索する必要があります。

サーバーから検索するには、ナンバープレート検知機能が有効になっており、録画やスケジューリング機能のアラーム連動設定が有効になっている必要があります。

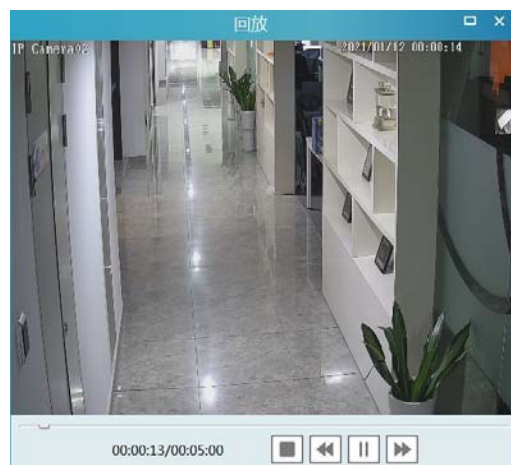



### 9.3 タイムスライス

- ① メインページの録画リプレイ下で「タイムスライス」を選択します。
- ② モニタリングポイントを選択し、開始時刻と終了時刻を設定し、リプレイリソースを選択し、【検索】をクリックし、日付別スライスモードで検索すると、録画サムネイルが表示されます。



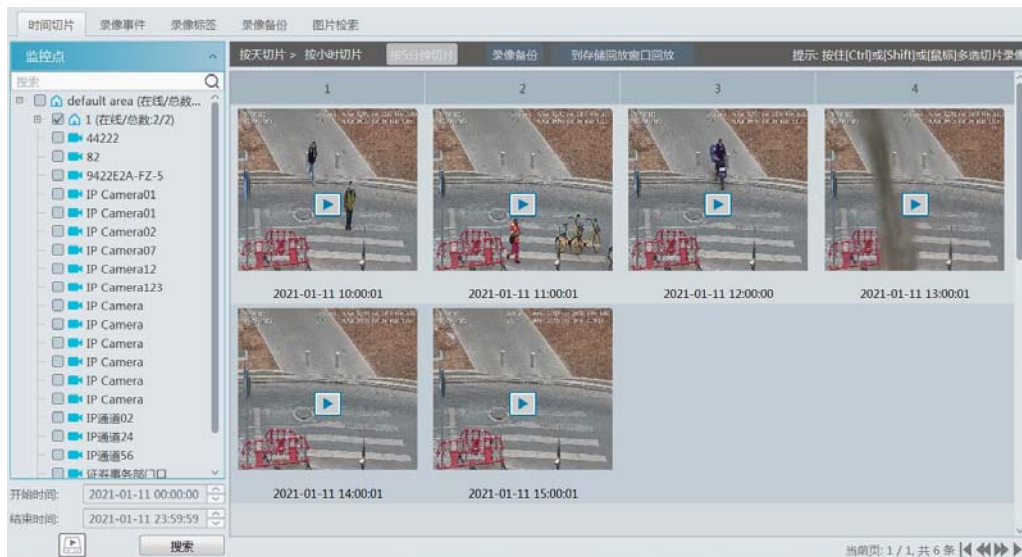
- ③  ボタンをクリックすると、録画した内容がリプレイされます。



右上の  ボタンをクリックするか、画像画面をダブルクリックすると、全画面再生になります。検索した画像をダブルクリックすると、時間別スライスに切り替わります。



時間別スライスインターフェイスで、画像をダブルクリックすると 5 分スライスのインターフェイスに進みます。再度検索するか、「時間別スライス」をクリックすると時間別スライスインターフェイスに戻ります。



録画のバックアップ: タイムスライスインターフェイスで、某タイムスライスを選択し、「録画のバックアップ」タブをクリックすると、当該タイムスライスをすばやくバックアップできます。



リプレイ保存ウィンドウでリプレイ: タイムスライスインターフェイスで某タイムスライスを選択し、「リプレイ保存ウィンドウでリプレイ」をクリックすると、選択した動録画クリップが録画リプレイウィンドウに移動し、録画リプレイを見ることができます。

## 9.4 録画イベント

- ① メインページの録画リプレイしたで「録画イベント」を選択します。
- ② モニタリングポイントを選択し、開始時刻と終了時刻を設定し、リプレイリソースを選択してから、インターフェイス下部にあるイベントタイプをチェックし、【検索】をクリックすると、下図のように検索された録画データがインターフェイスリストに表示されます。







- ③ 【保存ウィンドウでリプレイ】をクリックすると、保存リプレイウィンドウでリプレイできます。リストの  をクリックすると、小ウィンドウで録画データがリプレイされます。 をクリックすると、個々の録画データがバックアップされます。

## 9.5 録画タグ

注意：デバイスから取得した録画データは、録画タグに対応しません。

まずタグの追加をクリックすることで、タグでリプレイすることができます。録画リプレイインターフェイスに進み、チャンネルを選択し、リプレイインターフェイス右中にマウスを移動させると  アイコンが出現するので、当該アイコンをクリックしてマークしたいリプレイ時間にタグを追加します。

タグを追加した後、メインページの録画リプレイ下の「録画タブ」をクリックして、タグ管理のインターフェイスに進みます。開始時刻を選択し、「検索」をクリックして、追加された録画タグを見つけ、「リプレイ」欄の  をクリックすると、録画タグの録画データが小ウィンドウでリプレイされます。録画タブのリプレイは下図の通りです。












【リプレイ保存ウィンドウでリプレイ】をクリックすると、リプレイ保存ウィンドウにジャンプし、この録画タグの録画データのリプレイを開始します。

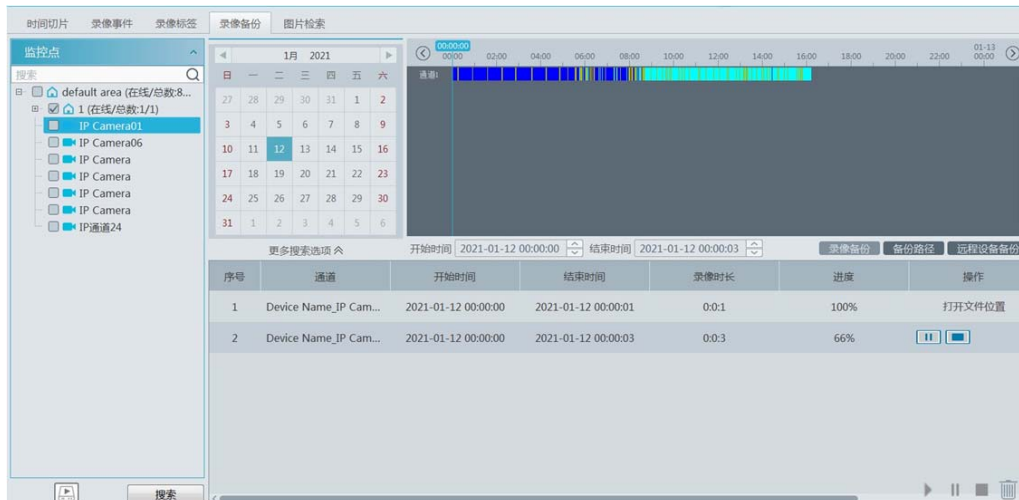
## 9.6 録画バックアップ

メインインターフェイスで「録画バックアップ」をクリックすると、「録画バックアップ」インターフェイスへ進み、デバイスやストレージサーバーに保存されている録画データをバックアップすることができます。設定方法は以下の通りです。

- ① バックアップ録画が必要なモニタリングポイントデバイスを選択します。
- ② 日付を選択し、「その他の検索」をクリックすると、具体的な開始時刻や録画の種類を設定できます。

- ③ /  をクリックして録画ファイルをネットワークデバイスから取得するか、ストレージサーバーから取得するかを選択します。
- ④ 必要に応じてマスターストリームを確認します。録画データのサポートは、ネットワークデバイスからのみ受けられます。
- ⑤ バックアップの開始時刻と終了時刻を設定するか、録画バーエリアでバックアップの時間帯をドラッグして、【録画バックアップ】をクリックしてバックアップします。

バックアップ進捗を確認することができます。バックアッププロセス中、 ボタンをクリックするとバックアップが一時停止となり、 ボタンをクリックするとバックアップが継続され、 ボタンをクリックするとバックアップが停止します。 ボタンをクリックすると、完了したバックアップタスクがクリアされます。 ボタンをクリックすると、すべてのバックアップが開始され、 ボタンをクリックすると、すべてのバックアップが一時停止され、 ボタンをクリックすると、バックアップされているすべてのタスクが停止され、削除されます。

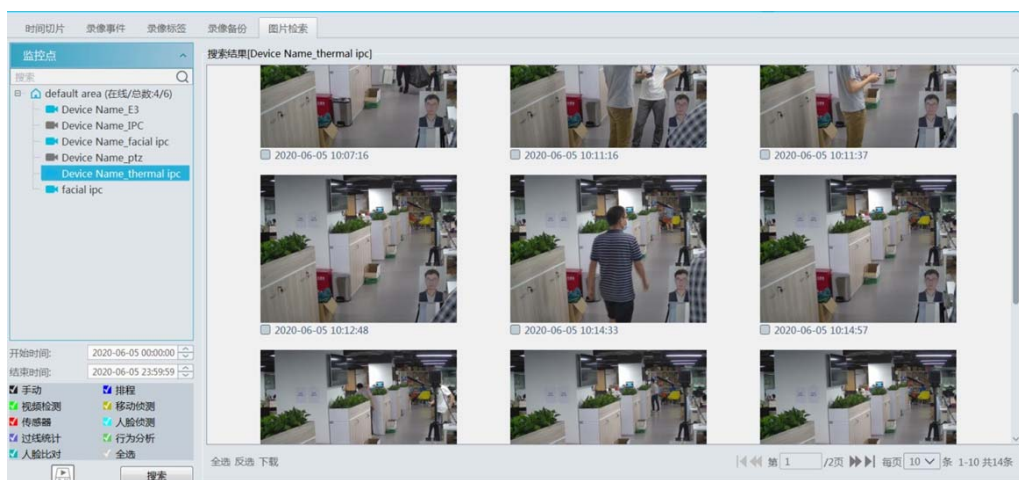


注:「リモートデバイスバックアップ」機能は、NVR デバイス用です。当該機能は「録画バックアップ」と同様に、NVR に USB フラッシュドライブを挿入し、当該ボタンをクリックして USB フラッシュドライブに録画をバックアップします。

## 9.7 画像検索

SD カードのあるデバイスを選択し、ネットワークデバイスから取得を選択して「検索」をクリックします。デバイスの SD カードに取り込んだ画像を取り出すことができます。検索結果は選択してダウンロードすることができます。デバイスの選択後、「検索」をクリックしてストレージサーバーに取り込まれた写真を取得することもできます。

注意: 検索される画像は、アラーム連動キャプチャの画像です。



某画像をクリックすると拡大表示されます。画像を選択して「ダウンロード」をクリックすると画像がバックアップされます。



## 第10章 アラーム管理

### 10.1 アラームサービスの設定

アラームサービスは、アクセスデバイスから報告されたアラーム情報をリアルタイムに受信して記録し、アラームプランに基づいて、対応するクライアントにアラーム情報を適時に配信するアラーム情報処理です。下図の通り、メインページ→デバイス管理→アラームサーバーに進みます。



当該インターフェイスでアラームサーバーのステータスをオンラインで確認できます。をクリックしてサーバーの設定を変更します。

### 10.2 アラーム設定

① 下図の通り、メインページ→デバイス設定に進みます。



アラームを設定する必要のあるモニタリングポイントのチャンネルを選択し、対応するアラーム項目でアラームを有効にし、アラームエリアを設定します(具体的な設定方法はデバイスの手動参照)。

② 下図の通り、メインページ→アラームセンター→アラーム連動設定に進みます。




エリアとアラームタイプを選択すると、対応する連携設定が有効になります。

【すべて有効】を選択すると、エリア内のすべてのデバイス(スケジューリングを除く)に対して、現在のアラームタイプの連携が有効になります。

デバイス名の横にある  ボタンを選択し、有効を選択すると、当該デバイスのすべての連携設定(スケジューリングを除く)が有効になります。

名称	声音	云台控制	录像	报警预览	抓拍	报警输出	语音广播	电视墙	触发邮件	SOP
Device Name_IP Camera02	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭
IP Camera	开启	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭
IP Camera	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭

ヘッダーバーの横にある  ボタンを選択すると、すべてのデバイス連動が有効になります。


名称	声音	云台控制	录像	报警预览	抓拍	报警输出	语音广播	电视墙	触发邮件	SOP	排程
*Device Name_IP Camera01	关闭	关闭	关联自身(开)	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭
*IP Camera	关闭	关闭	关联自身(关)	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭
IP Camera	关闭	关闭	自由选择	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭	关闭

録画、アラームプレビュー、キャプチャは、それぞれのチャンネルを素早く有効にしたり、自由に選択して連動させることができます。

PTZ コントロール、録画、アラームプレビュー、画像キャプチャ、音声放送、アラーム出力、ビデオウォールの連動チャンネル設定、は同じ手順で、以下に連動録画の例を示します。



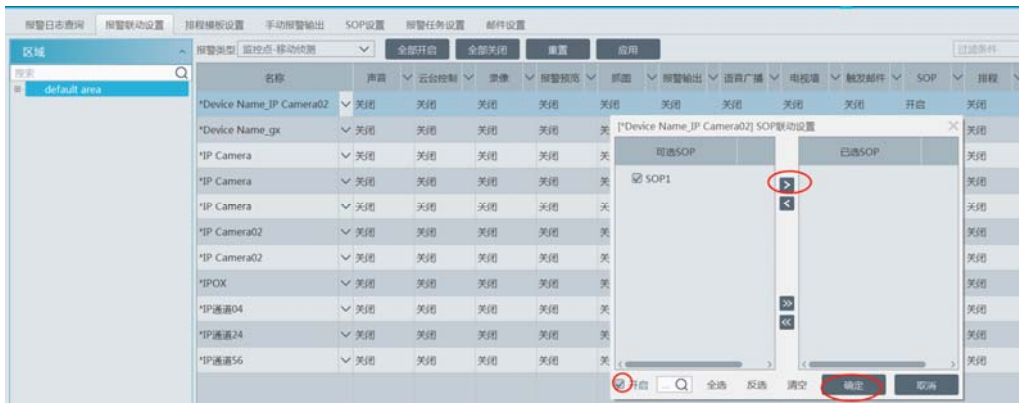
ヒント: 音声放送を有効にする前に、音声ファイルをアップロードしてください(詳細は 17.7 音声放送ファイルのアップロードの章を参照)。トリガメールを選択し、最初に送信する必要のあるメールボックスを設定します(10.5 章のメールの設定の章を参照)。SOP を選択する前に、SOP プロセスを設定します(具体的な設定方法は、下記の 10.3 SOP の設定を参照)。


- ③ アラームのスケジュールを設定するには、対応するデバイスのスケジュールを有効にするか、スケジュールのヘッダーバーの横にある  ボタンをクリックすると、すべてのデバイスに同じスケジュールが設定されます。デフォルトの 7×24 または 5×24 のスケジュールを有効にする、またはカスタムスケジュールを設定することができます。スケジュールテンプレート設定インターフェイスに進み、設定します。設定手順は、録画スケジュールの [スケジュール設定](#) の章をご参照ください。

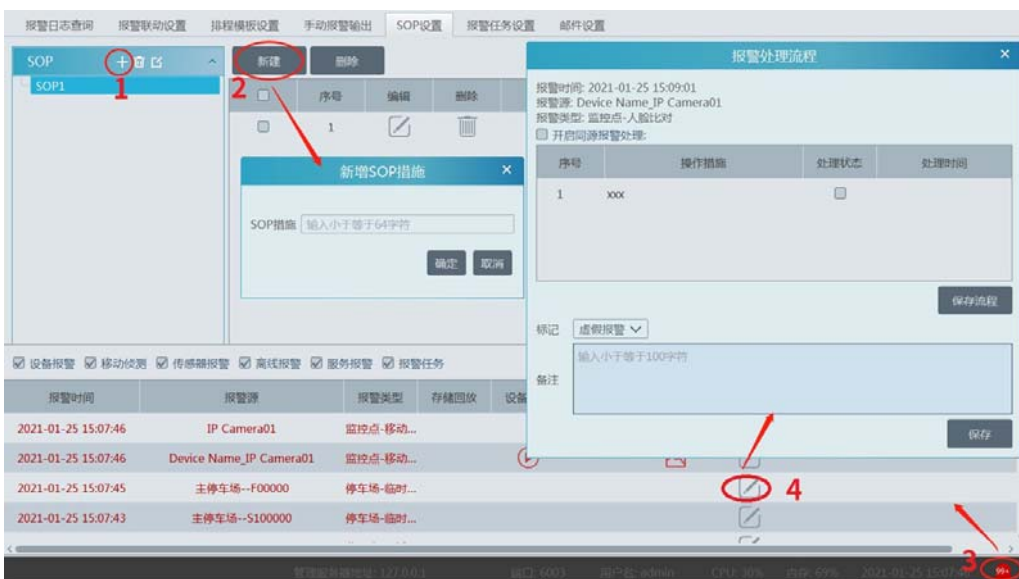
### 10.3 SOP 設定

「SOP 設定」をクリックすると、下図のような SOP 設定ページが表示されます。

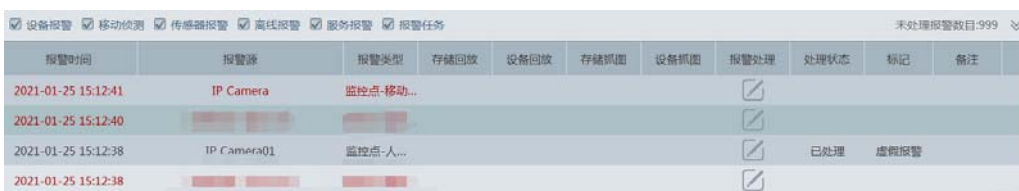
1. SOP 名を追加するには、「+」をクリックします。ユーザーは最大 10 の SOP 名を追加することができます。
2. 【新規】をクリックして、新しい SOP メジャー名を作成します。1 つの SOP につき 5 つの新しい SOP を作成できます。
3. アラーム連動の設定で、SOP を有効にします。



4. アラームリストアイコン  をクリックし、ポップアップのアラームリストボックスで  をクリックして、アラームを処理します。
5. 処理状況をクリック選択し、処理時間を表示した後、「処理の保存」をクリックして、マーク内容を選択します。その後、備考情報を入力し、【保存】をクリックします。マークには、誤報アラーム、リアルアラーム、ユーザーテスト、技術エラー、サービステストなどが含まれます。



処理が完了すると、下図の通りアラームの処理状況とマーカーの内容が表示されます。

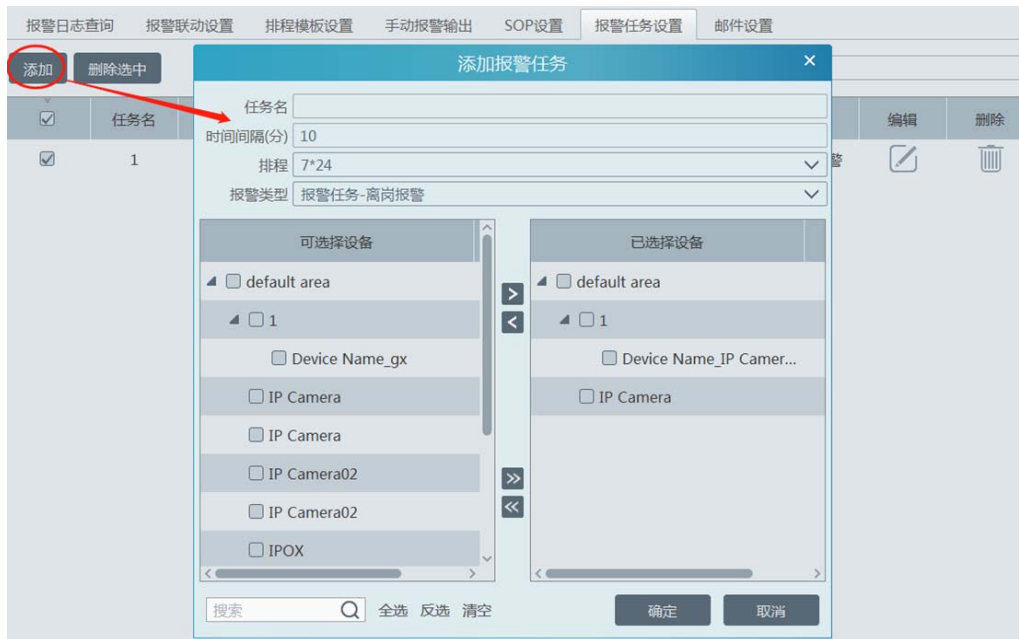


## 10.4 アラームタスク

退出アラームは、エリアへの入退出の時間がアラームに設定された時間間隔に達したときに作動します。

追加: アラームタスクに複数のチャンネルを同時に追加することができます。

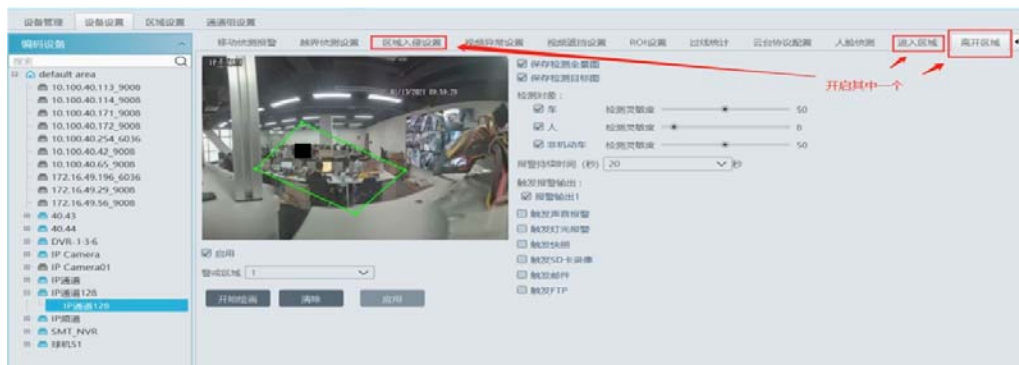
タスク名、時間間隔、スケジュールを入力し、カメラを追加して【確定】をクリックして保存します。



アラーム連動設定でアラームタスクスケジュールを開くと、アラームプレビューが表示され、アラームプレビューがトリガーされたかをより直感的に確認することができます。



さらに、IPC デバイスはエリア侵入、エリア進入、エリア退出などをオンにする必要があります。



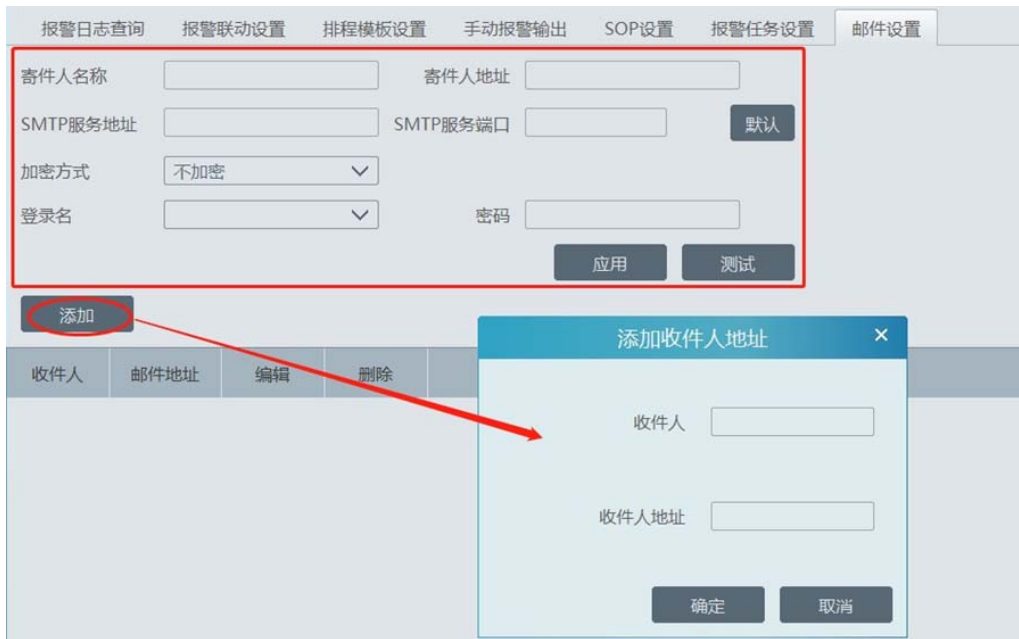
エリアを出入りする時間がアラームタスクの時間間隔に達すると、アラームオフラインが作動します。



## 10.5 メールの設定

連動アラームメール情報のトリガーとなるメール受信者情報を追加することができます。

メインページ→アラームセンター→メールの設定をクリックすると、以下のインターフェイスに進みます。当該インターフェイスで、送信者情報と受信者アドレスを追加できます。



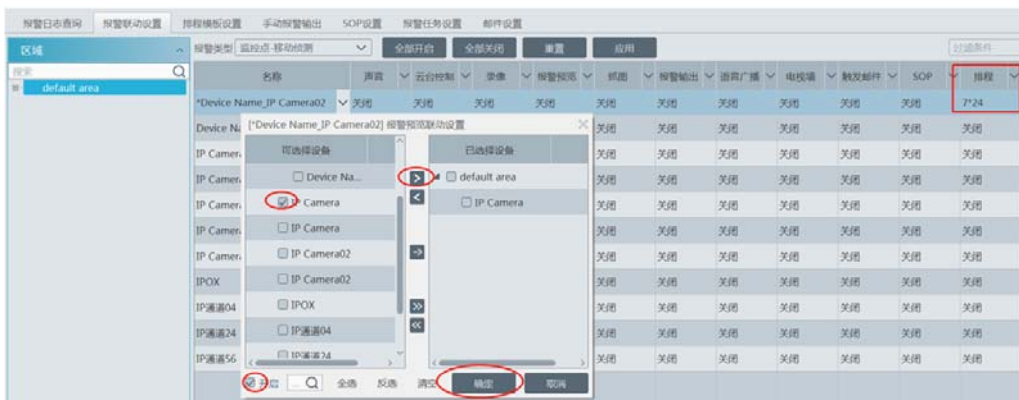
送信者情報欄には、送信者名、アドレス、SMTP サーバーのアドレスとポート、暗号化方式、ログイン名、パスワードを入力します。その後、【適用】をクリックして保存します。【追加】ボタンをクリックして、受信者の名前とメールアドレスを追加し、【確定】をクリックして保存します。

設定後は、アラーム連動の設定時にメールをトリガーすることができます。



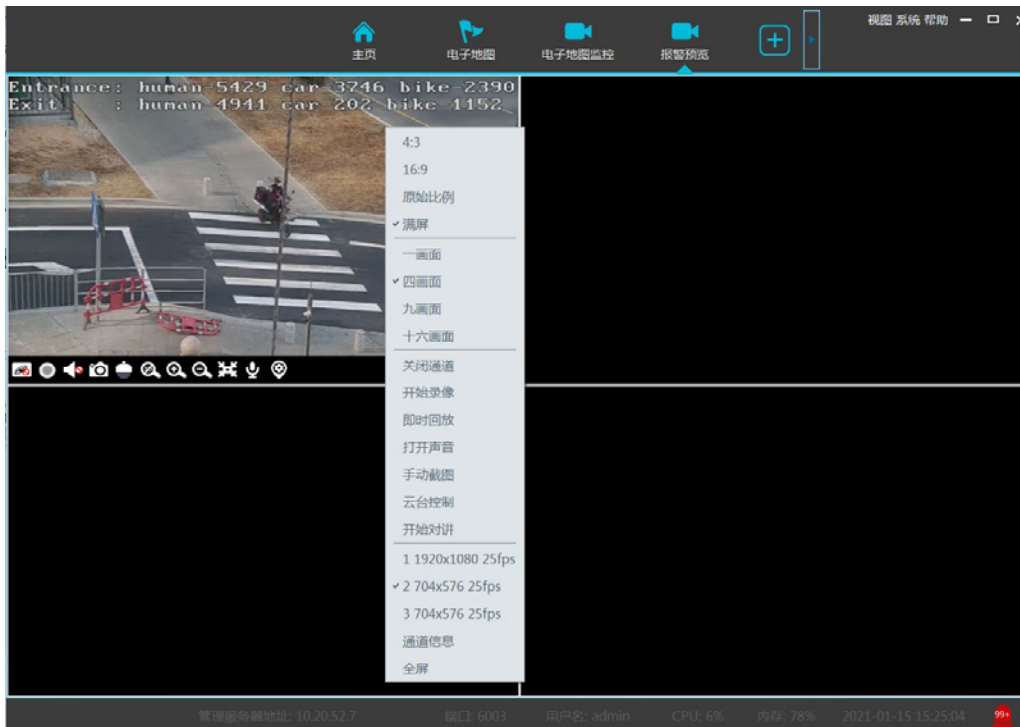
## 10.6 アラームのプレビュー


アラームセンターにおいて、アラームサービスで連動プレビュー、アラームスケジュールを設定すると、アラームのトリガー時、監視クライアントで「アラームプレビュー」ページがポップアップされるか、監視クライアントのインターフェイスで「アラームプレビュー」をクリックします。

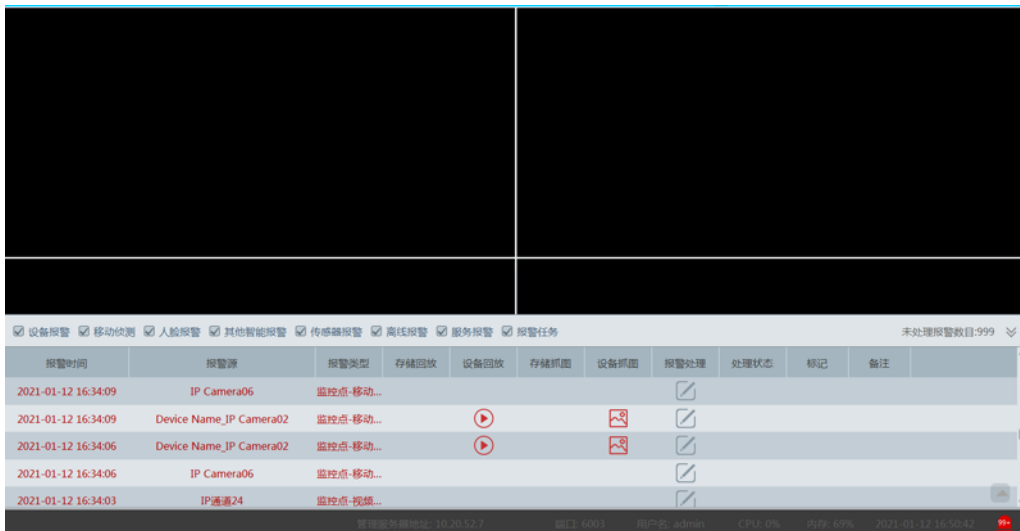



プレビューウィンドウで右クリックすると、下図のようにウィンドウがマルチ分割されます。





右下の **3** ボタンをクリックすると、上図の通りアラームリストボックスが表示されます。アラームリストボックスの上部にマウスを合わせると、マウスが  ボックスの形になりますので、リストをドラッグするとアラームリストボックスが大きくなり、プルダウンするとリストボックスが小さくなります。



録画リプレイボタン  をクリックすると、録画リプレイインターフェイスにジャンプし、当該アラーム情報の録画データをリプレイします。

キャプチャレビューの下にある画像ボタンをクリックすると、アラームキャプチャ検索ウィンドウが開き、当該アラーム情報のキャプチャデータを表示し、画像をダウンロードすることができます。某アラーム項目を右クリックして「アラームプレビュー」を選択すると、アラームのプレビューインターフェイスに直接ジャンプします。



## 10.7 アラームログの検索

メインページ→「アラームセンター→アラームログ検索に進み、各種アラームログを表示します。



左側で検索したいアラームの種類を選択し、開始時刻と終了時刻を設定して【検索】をクリックします。

ログリストの録画リプレイ欄下にある再生ボタンをチェックすると、録画リプレイインターフェイスにジャンプし、当該アラーム情報の録画をリプレイすることができます。

デバイスキャプチャ欄の画像ボタンをクリックすると、アラームキャプチャ検索ウィンドウが表示され、アラーム情報のキャプチャデータが表示され、画像がダウンロードできます。アラーム情報キャプチャの検索画面を下図に示します。



## 10.8 手動アラーム出力

メインページ→アラームセンター→手動アラーム出力に進み、某アラーム出力を選択し、【アラーム出力のトリガー】をクリックすると手動でアラームが出力されます。【アラーム 出力のオフ】をクリックすると、トリガーされたアラーム出力が閉じられます。



## 第11章 電子マップ

電子マップサービスは、システムの電子マップ情報を保存するために使用され、任意の場所に登録されたクライアント間で同じ電子マップを共有することができます。

### 11.1 電子マップの設定

#### 11.1.1 マップの作成

メインページ→電子マップインターフェイスに進み、下図のように「マップの作成」をクリックします。

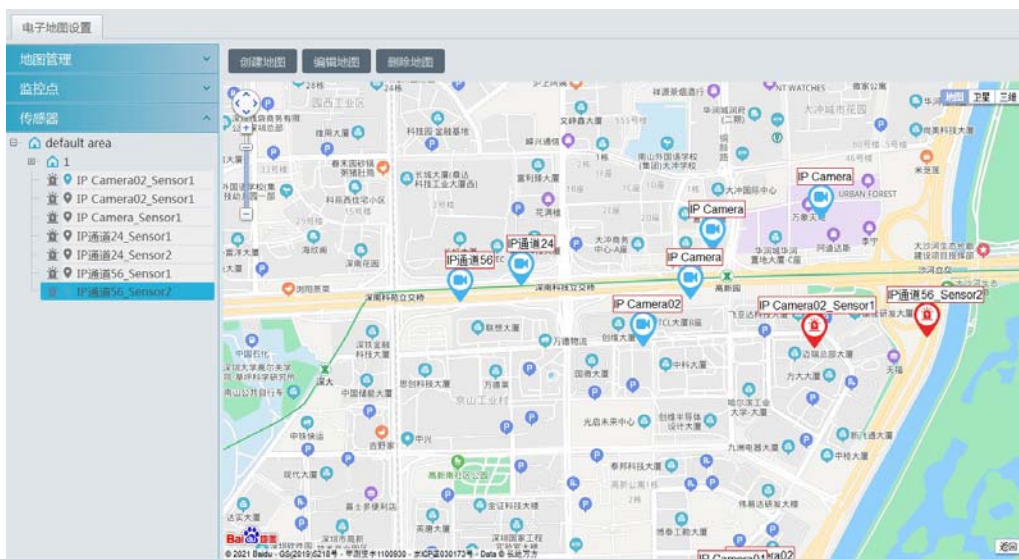


マップ名を入力し、マップタイプを選択し、親マップを選択するか、空を選択します。初めてマップを追加したときは、1 級マップとなり、それ以上のレベルのマップを選択できません。

#### 11.1.2 ホットスポットの追加

ホットスポットには、モニタリングポイント、センサーなどがあります。

アイコンには、ノードライン上のオフラインアイコンと、追加された未追加のアイコンがあり、未追加はグレー、追加はライトブルーになっています。左のメニューバーでモニター／センサーを選択し、下図の通りマップ上の対応する位置にドラッグします。



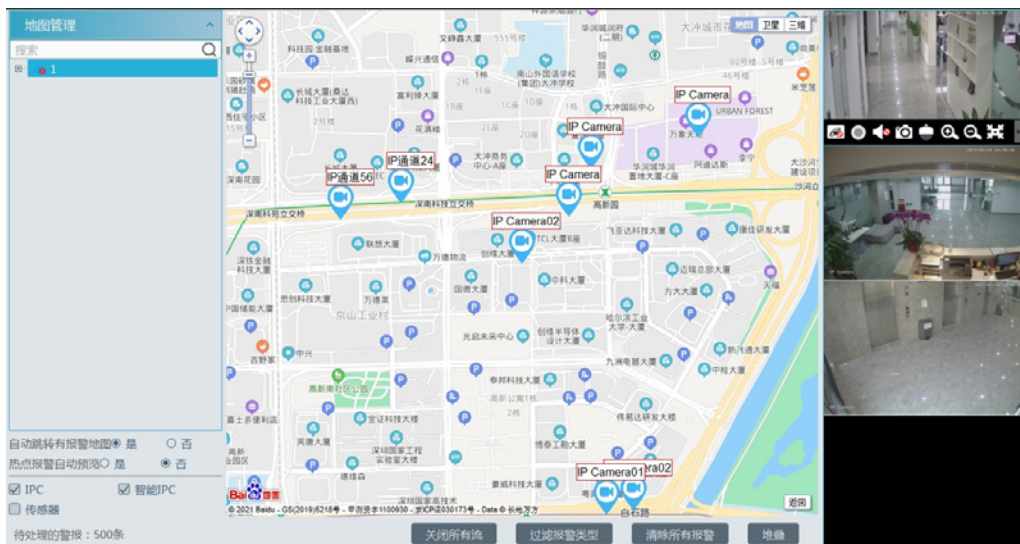
ページ下部の ボタンをクリックしてアラーム項目を選択し、右クリックして「電子マップ」を選択すると、電子マップモニタリングインターフェイスに素早くジャンプします。






## 11.2 電子マップのモニタリング

メインページ→電子マップのモニタリングで、マップのモニタリングポイントをダブルクリックすると、右ウィンドウにモニタリングポイント画面が表示されます。



アラートマップの自動調整:「はい」を選択すると、アラートマップに自動調整されます。ホットスポットアラートの自動プレビュー:「はい」を選択すると、アラート画面が右側に自動的にポップアップされます。センサーはデフォルトではチェックされておらず、チェックされるとマップ上に表示されます。

プレビューウィンドウの上にマウスを置くと、ウィンドウ下部にツールバーが表示されます。 をクリックしてプレビューを閉じます。【すべてのストリームを閉じる】をクリックすると、すべてのプレビューウィンドウの画像が閉じます。【スタック】をクリックすると、電子マップ上の録画ウィンドウがスタックされます。

また、ページ下部のボタンでアラームの種類をフィルタリングすることで、保留中のアラームをすべてクリアすることができます。

右側に表示できないほど多くの画像を表示する必要がある場合は、画像フレームを右にドラッグして別の画像モニターウィンドウを表示し、下図の通り同時に最大 16 枚の分割画面をプレビューすることができます。





## 第12章 ビデオウォール管理

### 12.1 ビデオウォールサーバーの設定

下図の通り、メインページ→デバイス管理→ビデオウォールサーバーに進みます。デフォルトではビデオウォールサーバーは1台ですが、必要に応じて【追加】をクリックして新しいビデオウォールサーバーを追加します。





### 12.2 デコーダーの追加

デコーダーは、転送サーバーからウォールに送られてくる映像信号をデコードする役割を担っており、デコードされた出力は標準映像信号となります。ビデオウォールを実現するには、デコーダーを使用する必要があります。下図の通り、メインページ→デバイス管理→デコードデバイスに進みます。



【更新】ボタンをクリックすると、同じローカルエリアネットワークセグメント内のデコーダーを素早く検索することができます。その後、ユーザー名とパスワードを入力して【確定】をクリックすると、デコーダーが追加されます。また、デコーダー名、IP アドレス、ポート、ユーザー名、パスワードを手動で入力して【確定】をクリックすると、デコーダーを作成することができます。

追加後、をクリックしてデコーダーの設定を変更したり、をクリックしてデコーダーを削除することができます。

### 12.3 デコーダーの作成と接続

デコーダーIDは、プラットフォームに接続されるために、マスターIDとプラットフォームのランタイムモードが必要です。デコーダーのウェブクライアントにログインし、システム構成→基本設定を確認します。マスターモードとプラットフォームモードになっていない場合は、デコーダーのステータスをマスターモードに、ランモードをプラットフォームモードに変更してから、保存して再起動する必要があります。

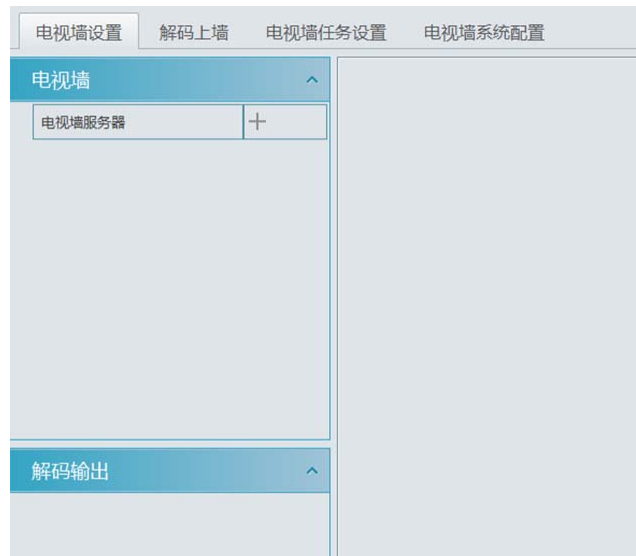
基本配置	
运行模式	平台
身份	Master
设备名称	Decoder 2.0
物理地址	00:18:AE:00:45:E0
软件版本	2.0.1
版本日期	20180721
内核版本	I4I7-H7V5-H7V5
应用	

メインページ→リソース管理→デコーダー管理でメインページのデコーダーのオンライン状態を確認すると、デコーダーがオフラインと表示されています。



## 12.4 ビデオウォール管理

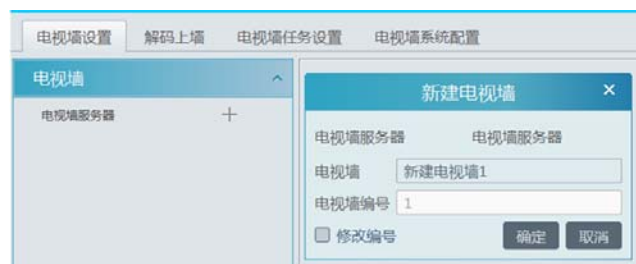
下図の通り、メインページ→ビデオウォール管理→ビデオウォール設定インターフェイスに進みます。



### 12.4.1 ビデオウォールの設定

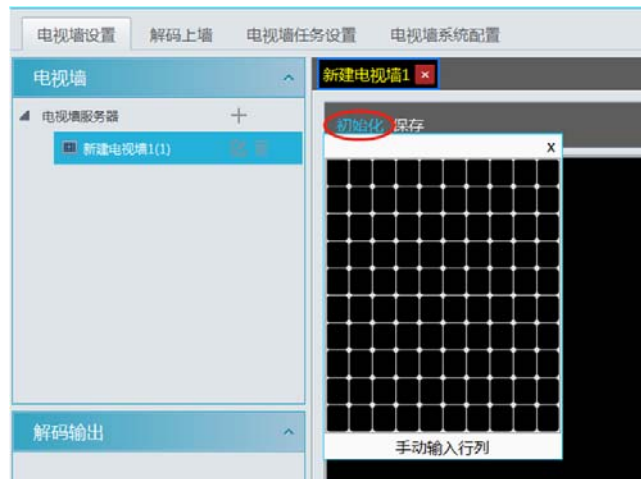
#### ◆ ビデオウォールの作成

メインページ→ビデオウォール管理→ビデオウォールの設定に進みます。デフォルトではビデオウォールが作成されていませんが、ビデオウォールサーバー後の + をクリックして手動でビデオウォールを作成します。



#### ◆ 初期化

新しく作成したビデオウォールをダブルクリックすると、当該ビデオウォールが表示されます。ビデオウォールを初期化してレイアウトを作成し、保存ボタンをクリックして結果を保存します。

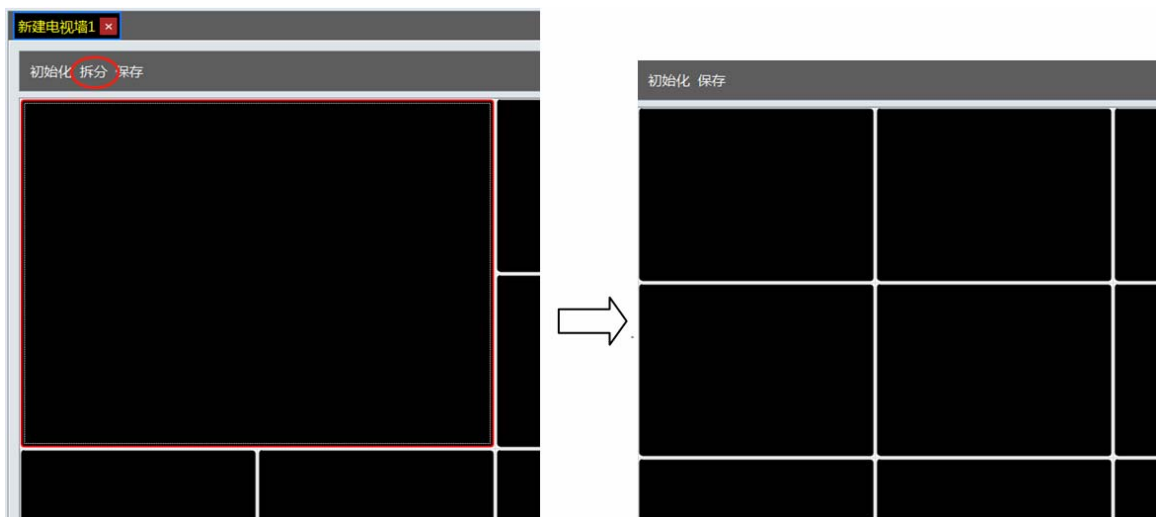


◆ 合併・分割

合併表示をしたい場合は、複数のウィンドウを選択すると「合併」ボタンが表示されるので、「合併」をクリックして結果を保存します。



また、復元するために分割操作を行うことができます。下図の通り、保存ボタンをクリックし結果を保存します。



◆ デコーダーのバインディング

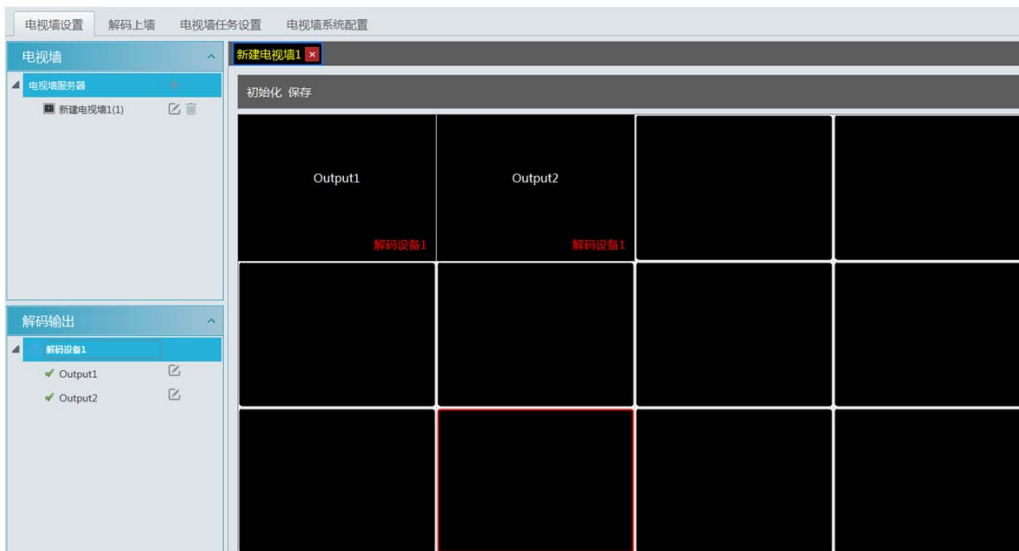
ビデオウォールシステム構成→デコーダーのバインド設定:デコーダーとビデオウォールのバインド、修正、削除に対応します。



✎ をクリックするとビデオウォールの修正ボックスがポップアップされ、所属するビデオウォールを選択して確定をクリックすると、デコーダーがオンラインになります。



レイアウトが作成され、デコーダーがオンラインになった時、デコーダー出力リストに表示されるオンラインデコーダーが当該ビデオウォールにバインドされるデコーダーです。デコーダーの出力を右のウィンドウにドラッグ&ドロップして保存すると、出力のバインドが完了します。



## 12.4.2 ビデオウォール

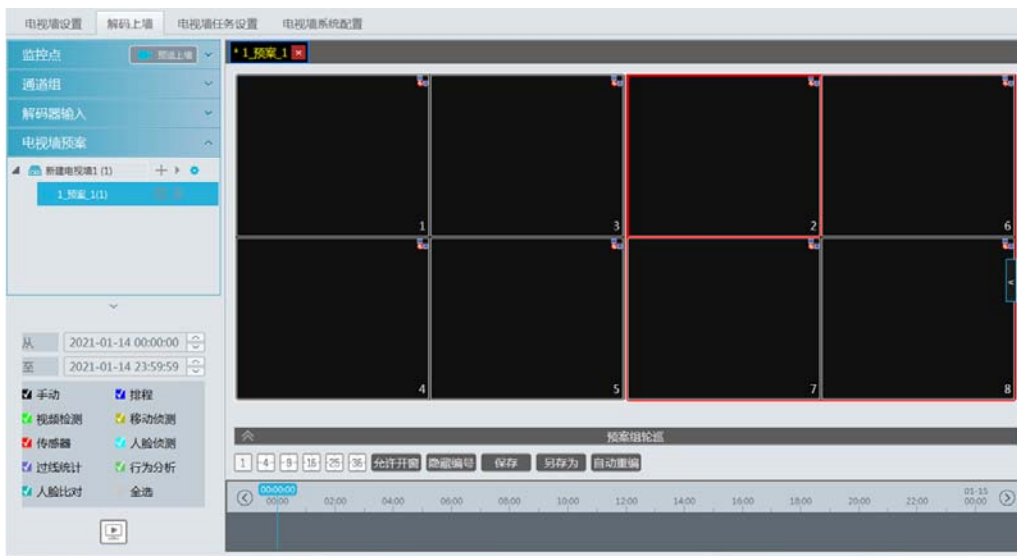
### ◆ プログラムの作成

メインページ→ビデオウォール管理→ウォールのデコード→ビデオウォールのプログラムに進みます。デフォルトのビデオウォールの下にはプログラムがありません。手動 **+** でプログラムを作成する必要があります。

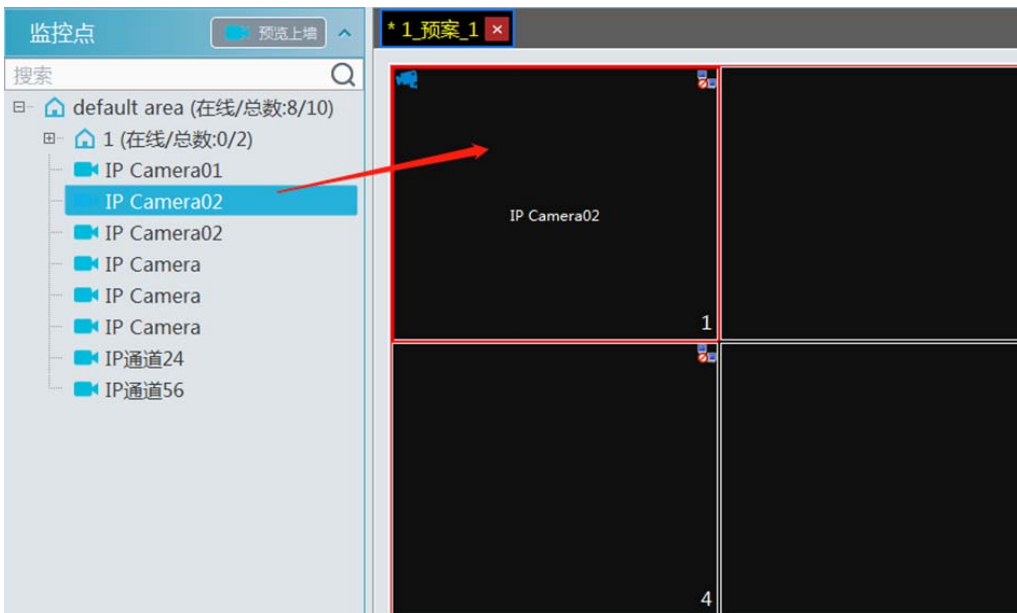


◆ デコードの設定

新たに作成したプロジェクトをダブルクリックすると、下図の通り右側に当該プロジェクトのレイアウトが表示されます。



モニタリングポイントをプロジェクトウィンドウにドラッグして、デコーダーの出力をデコードします。



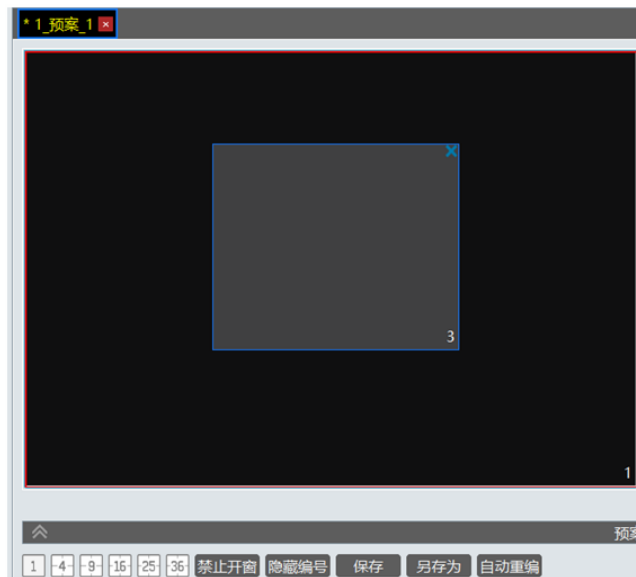
◆ ツールバーアイコン



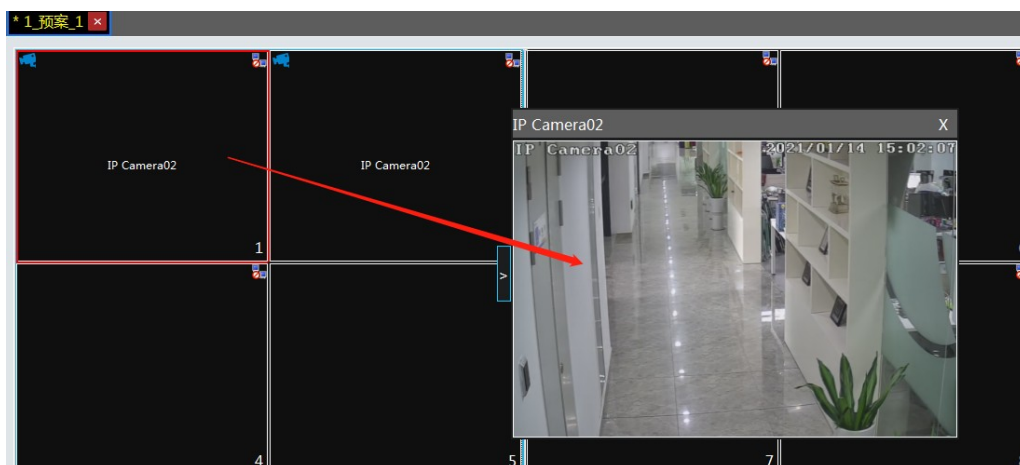
1. パーティションコントロール: デコードウィンドウで 1/4/9/16/25/36 のパーティション設定可



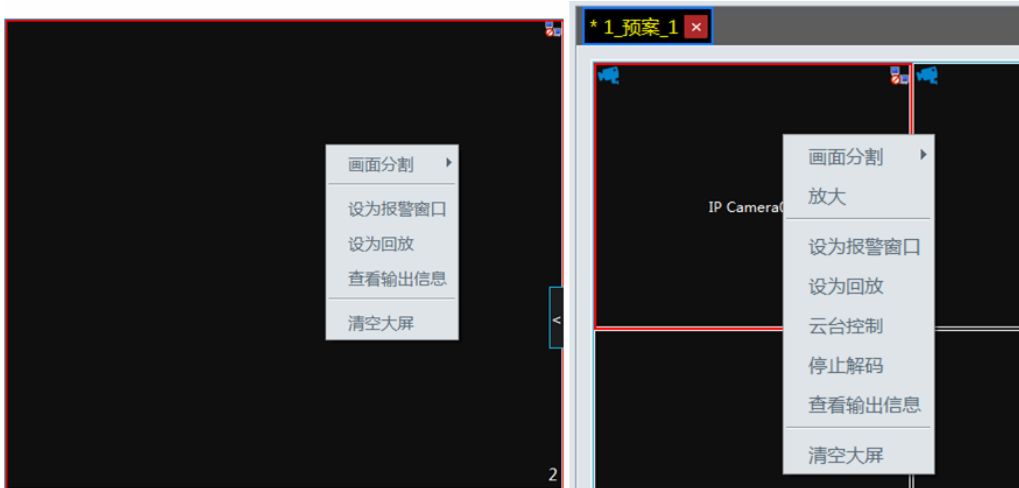
2. ウィンドウを開く、ローミング: ウィンドウを開くを許可をクリックし(この時、ボタンが「ウィンドウを開くを禁止」に変わる)、出力ウィンドウ上でマウスでウィンドウ領域をドラッグアウトします。再度クリックすると、ウィンドウを開くことができなくなり、ウィンドウを開く操作が完了します。当該ウィンドウは、マウス操作によるローミング機能に対応しています。



3. 番号の表示/非表示: デフォルトでは、各ウィンドウの番号が表示され、押すと番号が非表示になり、その後すべてのウィンドウの番号が非表示になります。
4. 保存: 保存を押すと、現在のプログラムが保存されます。
5. 名前を付けて保存: 名前を付けて保存を押すと、プログラムが別のファイルとして保存されます。
6. 自動番号付け: 自動番号付けをクリックすると、左から右、上から下の順にプランの分割番号が付けられます。
7. 右クリックでコピー先: デコードウィンドウの上にマウスを置くと、右下にプロンプトで「マウスの右ボタンを押し、デコードウィンドウをドラッグして、このウィンドウのチャンネルを他のウィンドウにコピーしてデコード」プロンプトが表示され、表示情報に基づいて操作すると、某チャンネルを別のウィンドウにコピーしてデコードする機能を実現できます。(デコードプレビューウィンドウではこの機能は使用不可) デコードチャンネルの右側をダブルクリックすると、当該チャンネルの画像が表示されます。

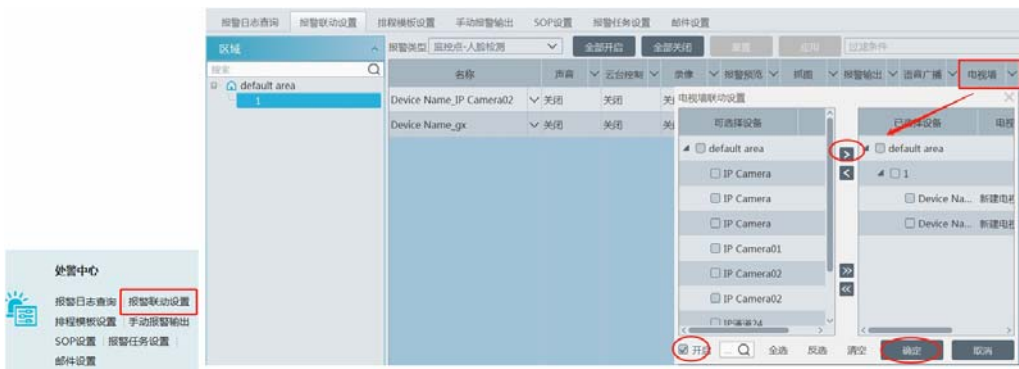


◆ プレビューウィンドウの右クリックメニュー



マルチ分割時のプレビューウィンドウで、ズームメニュー内にあり

1. 画面分割: デコードウィンドウを 1/4/9/16/25/36 分割して実行可能。
2. ズームイン/復元: 現在のディスプレイがマルチ分割されている場合、「ズームイン」を押すと当該分割ウィンドウの画像が拡大され、復元を押すと元の状態に戻ります。
3. アラームウィンドウとして設定: クリックすると、現在のウィンドウがアラームウィンドウとして設定され、アラーム連動の画面がこのウィンドウに表示されます。アラームセンター→アラーム連動設定で、連動ビデオウォールを選択し当該設定を有効にして、アラーム連動ビデオウォールの設定を完了するスケジュールを設定します。



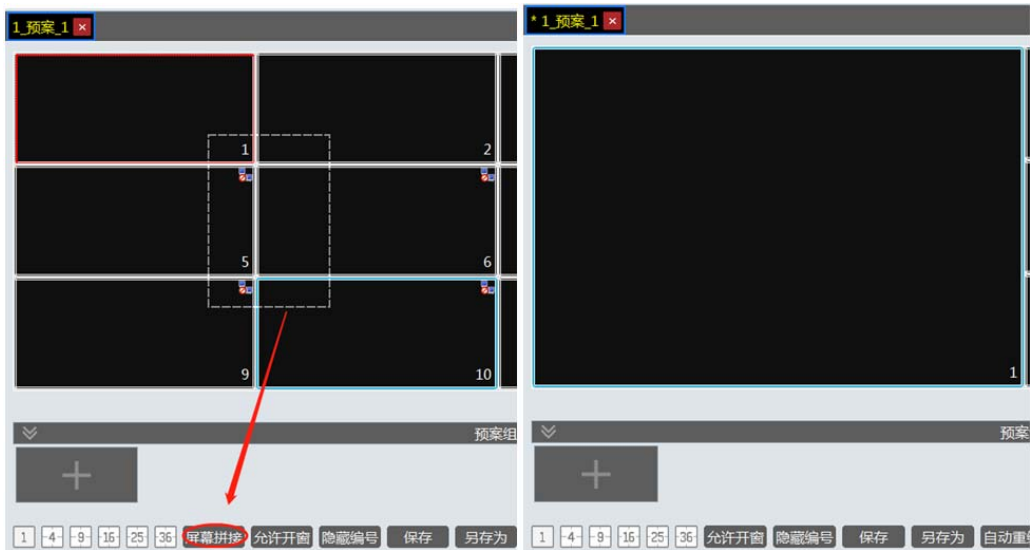
4. リプレイとして設定: 画像をデコード中にこのボタンを押すと、現在のチャンネルの録画をリプレイします。録画のリソースは現在選択されているリソースになります。
5. PTZ コントロール: このボタンを押すと、現在のデコーダーウィンドウの PTZ コントロールインターフェイスが表示され、8 方向コントロール、ズーム、フォーカス、アイリス、PTZ スピードコントロール、プリセットポイントの調整、クルーズラインの調整などの PTZ コントロールを行うことができます。
6. デコードの停止: クリックすると、現在の画像のデコードを停止します。
7. 出力情報の確認: クリックすると、デコーダーの出力情報を見ることができます。



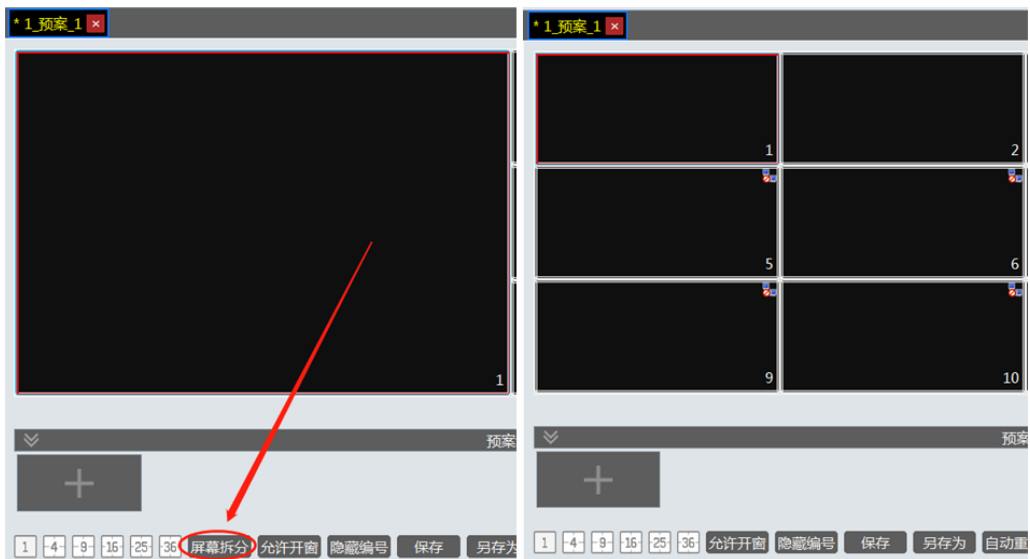
8. 大画面のクリア: クリックすると、現在の出力デコード設定がクリアされます。

◆ 画面の合併/分割(ウィンドウオープン設定時は動作しません)

マルチセレクト出カウィンドウは長方形で、その下のツールバーには画面合併の操作が表示されます。




また、この合併大画面を再度選択して、画面の分割・復元を行うこともできます。



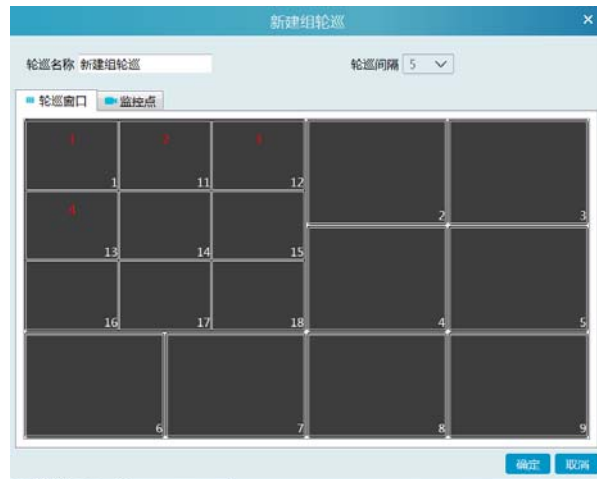
◆ プログラムグループのローテーション

1. グループローテーションの作成

下のプログラムグループのローテーションをクリックすると、グループローテーション設定インターフェイスが展開され、 アイコンをクリックしてグループローテーションを作成することができます。



ローテーションビューウィンドウタブをクリックして、チャンネル表示のウィンドウグループを選択します。



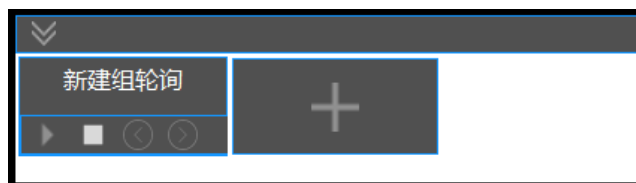
モニタリングポイントタグで、ローテーションさせるチャンネルグループを選択します。



その後、ローテーション間隔時間とグループローテーション名を設定して完了です。



## 2. グループローテーションの実行:



再生ボタンを押すと、当該グループローテーションが実行され、指定したチャンネルリストの映像が指定したウィンドウリストに順番に表示されます。停止ボタンを押すと、再生中のグループローテーションが停止します。

### 3. グループローテーションの修正(グループローテーション中は操作できません)

右クリックメニューでグループローテーションプランの修正・削除を行います。

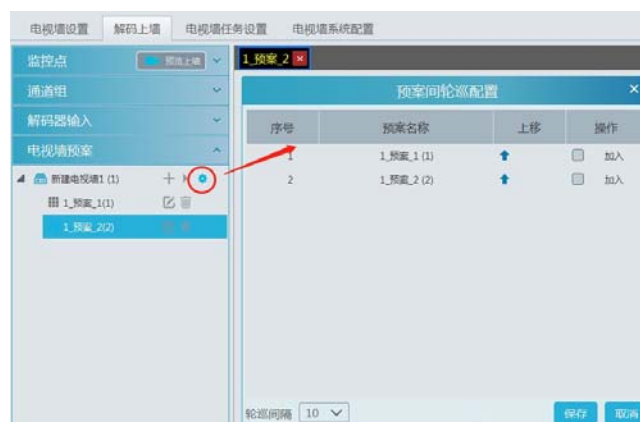


注意: 同一プログラムでグループローテーションのウィンドウが重複している場合、複数のグループローテーションを同時に実行することはできません。

## ◆ プログラムのローテーション

### 1. プログラムローテーションの作成

プログラムの右側にある設定ボタンを押して、プログラムローテーションの設定インターフェイスを表示し、追加を押してプログラムをプログラムローテーションに追加します。その後、回転間隔を設定して設定完了です。



### 2. ローテーションの開始/停止



ビデオウォールの右側にある再生ボタンを押すと、プログラムローテーションが始まります。停止ボタンを押すと、現在のローテーションが停止します。

### 3. プログラムローテーションの修正

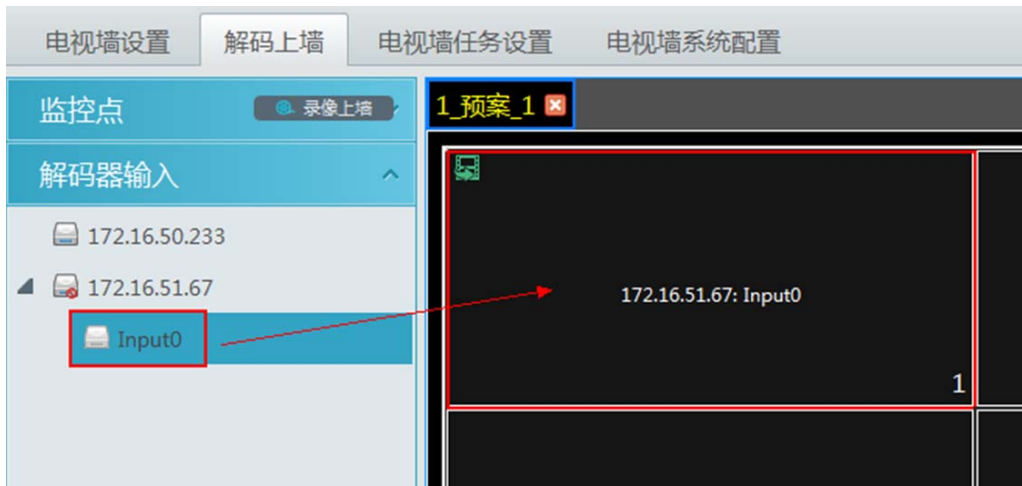
もう一度設定ボタンをクリックして、プログラムローテーションを修正します。

注意: 現在のプログラムローテーションを変更するには、まず現在のローテーションを停止する必要があります。

## 12.4.3 デコーダー入力のデコード

メインページ→ビデオウォール管理→ウォールのデコード→デコーダー入力に進み、ウィンドウにドラッグしてデコードを実行することができます。

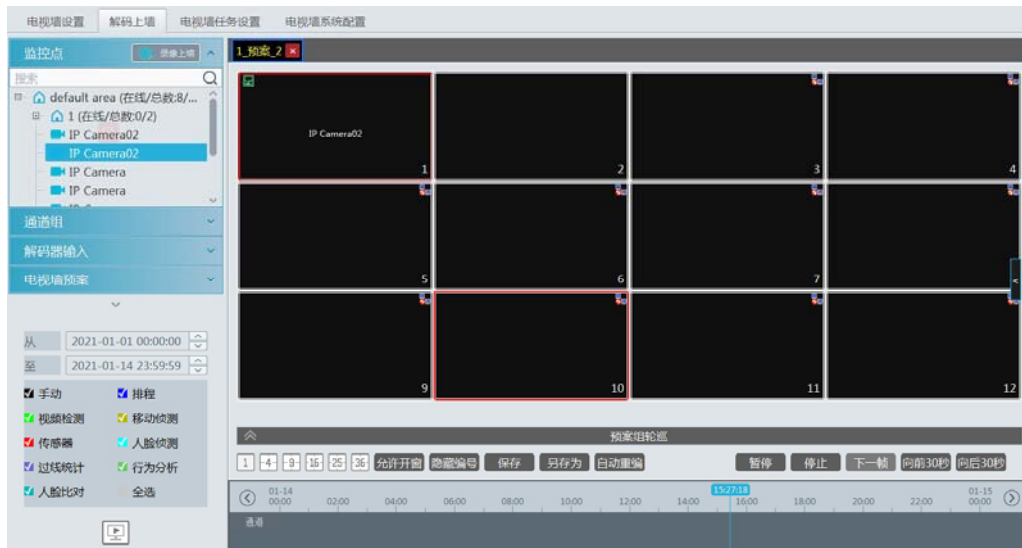




### 12.4.4 デコードのリプレイ

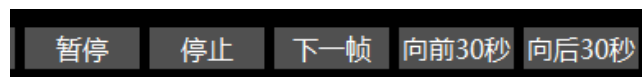
#### ◆ ウォールのリプレイ

クリックしてモードを録画ウォールに切り替え、録画リソース(ストレージサーバー取得/ネットワークデバイス取得から)を選択して録画の検索をクリックするか、チャンネルを右のウィンドウにドラッグしてチャンネルの録画を検索してリプレイします。



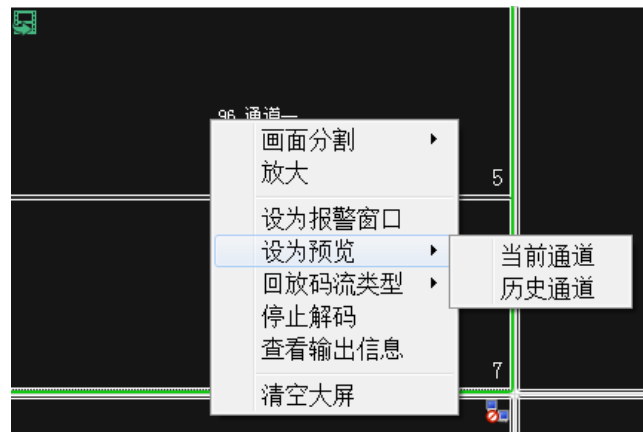
また、各種録画をフィルタリングして選択し、リプレイすることもできます。

#### ◆ リプレイのコントロール



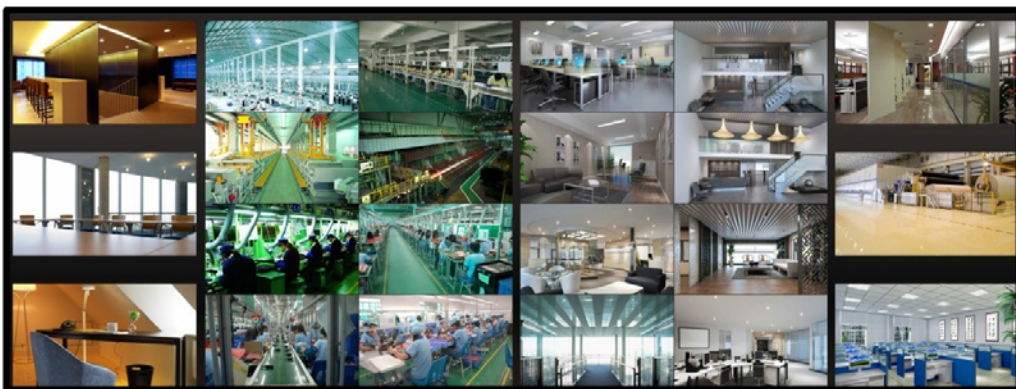
リプレイ時には、一時停止、停止、次のフレーム(一時停止時に操作可能)、30 秒の早送り/巻き戻しの操作が可能です。

#### ◆ 右クリックメニュー



1. 画面分割: デコードウィンドウは、1/4/9/16/25/36 分割設定が可能です。
2. ズームイン／復元: 現在の表示がマルチ分割されている場合、ズームインをクリックすると、当該分割ウィンドウの画像が拡大され、復元をクリックすると元に戻ります。
3. アラームウィンドウとして設定: クリックすると、現在のウィンドウがアラームウィンドウとして設定され、アラーム連動の画面がこのウィンドウに表示されます。アラームセンター→アラーム連動設定で、連動ビデオウォールを選択し当該設定を有効にして、アラーム連動ビデオウォールの設定を完了するスケジュールを設定します。
4. プレビューとして設定: デコードされた映像を現在のチャンネルとして表示するか、最後にデコードされたチャンネルである履歴チャンネルとして表示するかを切り替えることができます。
5. リプレイストリームタイプ: リプレイマスター/サブストリームの画像を切り替え可能。
6. デコードの停止: クリックすると、現在の画像のデコードを停止します。
7. 出力情報の確認: クリックすると、デコーダーの出力情報を見ることができます。
8. 大画面のクリア: クリックすると、現在の出力デコード設定がクリアされます。

下図は、ビデオデコードがビデオウォールに与える影響を示しています。



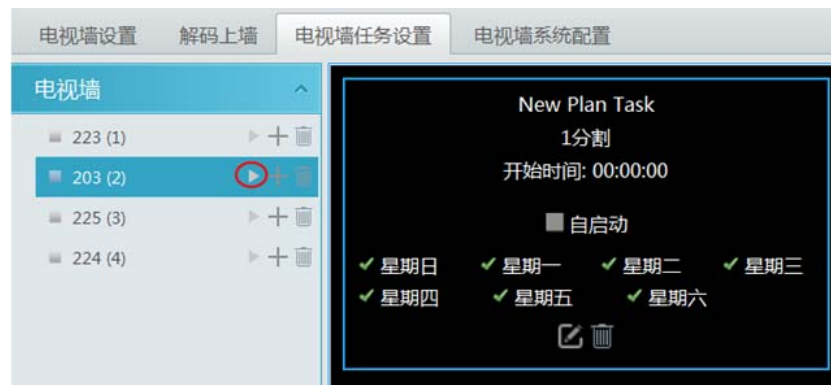
注意: ビデオウォールが正しく表示されるためには、管理や転送などのサービスがオンになっており、正しく設定されている必要があります。

#### 12.4.5 ビデオウォールタスク設定

ビデオウォール管理→ビデオウォールタスク設定に進み、ビデオウォールの右側の $\oplus$ をクリックしてタスク設定作成インターフェイスをポップアップさせます。指定した日時に、指定したスケジュールを実行するようにプリセットできます。

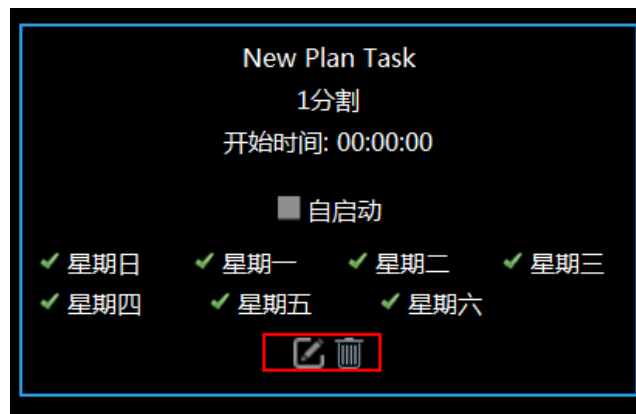


再生ボタンを押すとこのタスクが開始され、停止ボタンを押すとこのタスクが停止されます。



タスクの修正・削除

下図の通り、シングルタスクの修正と削除を行います。



下図の通り、テレビウォールの下にあるすべてのタスクを削除します。



#### 12.4.6 ビデオウォールシステムの設定

下図の通り、メインページ→ビデオウォール管理→ビデオウォールシステム構成に進みます。

### ➤ チャンネル番号の設定:

対応するチャンネル番号をネットワークキーボードで使えるように設定したり、チャンネル番号をエクスポートすることができません。

序号	名称	通道编号
1	group-->1	1
2	group-->1-1	2
3	default area-->IP Camera02	1
4	default area-->IP通道24	9
5	default area-->IP Camera	17
6	default area-->IP Camera	32
7	default area-->IP Camera	19
8	default area-->IP通道56	2
9	default area-->IP通道04	27
10	1-->Device Name_gx	3
11	1-->Device Name_IP Camera02	4
12	default area-->IP Camera02	5

### ➤ ビデオウォールのバックアップ

システム設定ファイルをインポートし、ビデオウォール設定はインポートされません。オリジナルのビデオウォール設定を新しいソフトウェアバージョンにインポートする場合は、古いソフトウェアバージョンで【ビデオウォールのバックアップ】をクリックして、ビデオウォール設定をバックアップします。新しいバージョンのソフトウェアでは、【ビデオウォールの復元】をクリックして、バックアップされたビデオウォール設定ファイルを選択して、ビデオウォールの設定をインポートします。

备份电视墙    还原电视墙

注意事项：还原系统配置过程大约需要几分钟，还原完成后管理服务器会自动重启，还原过程中请不要关闭管理服务器。

## 第13章 ターゲット統計

### 13.1 タスク管理

1. カメラのターゲット統計カウント機能をオンにします。

注意：ターゲット統計モジュールを正常に使用するためには、ターゲット統計に対応しているカメラの機器設定でターゲット統計機能をオンにする必要があります。ターゲット統計に対応していないカメラでは、組織管理でカメラのIPC キャプチャスケジュールをオンにして、【進入・退出】を設定する必要があります。

ターゲット統計機能を持つカメラのターゲット統計機能を有効にする：リソース管理→デバイス設定インターフェイスに進み、ターゲット統計カメラを選択し、ターゲット「ターゲット統計タブ」をクリックし、有効にするためのチェックボックスをチェックします。



非ターゲットカメラでターゲット統計機能を有効にする：組織管理→「タスク管理」に進み、非ターゲットカメラを選択し、フェイスキャプチャのスケジュールリングを有効にし、出入口を設定します。



注意：非ターゲットカメラは、顔検出に対応している必要があります。

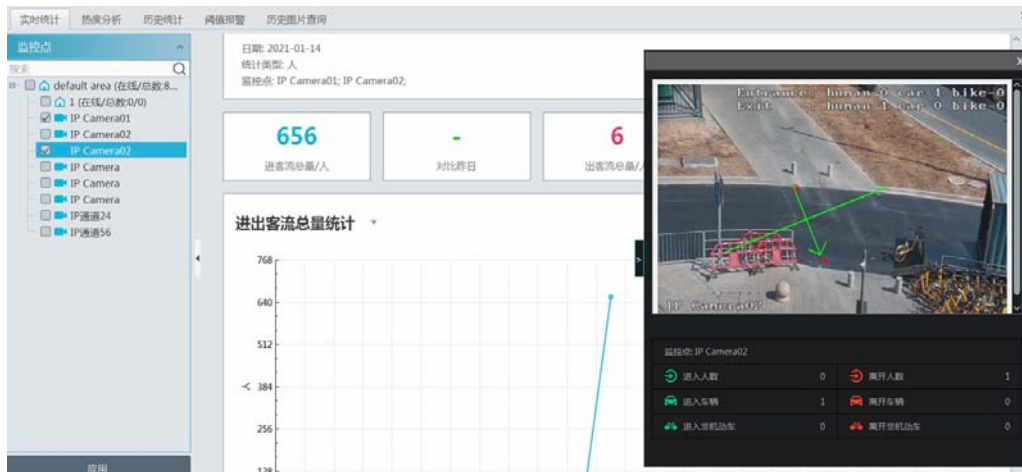
2. メインページ→ターゲット統計→タスク管理に進み、チャンネルのターゲット統計ステータスをオンにします。そして、ストレージ設定【適用】をクリックします。






## 13.2 リアルタイム統計

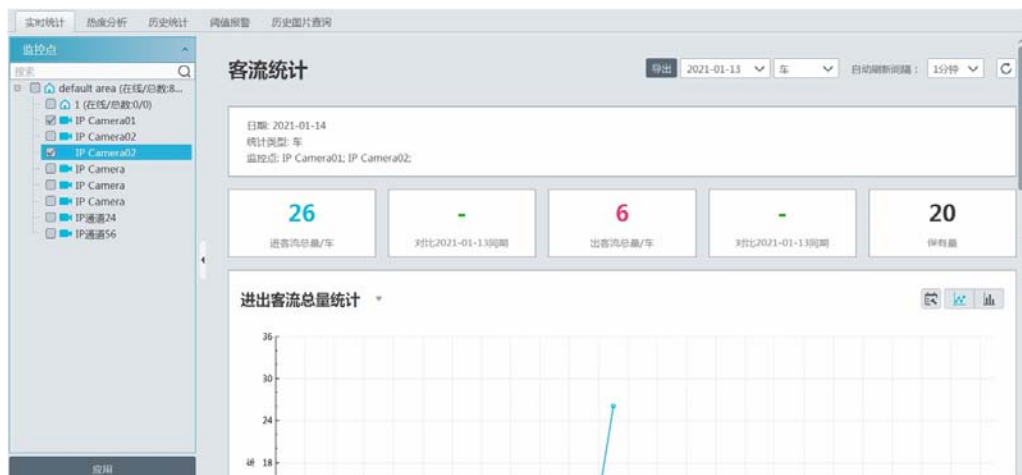
メインページ→ターゲット統計→リアルタイム統計に進み、テストするスマートカメラチャンネルをダブルクリックすると、自動的にチャンネル画像がプレビューされ、人/車両/非車両の数、出発数をカウントし、統計グラフと表をリアルタイム表示します。



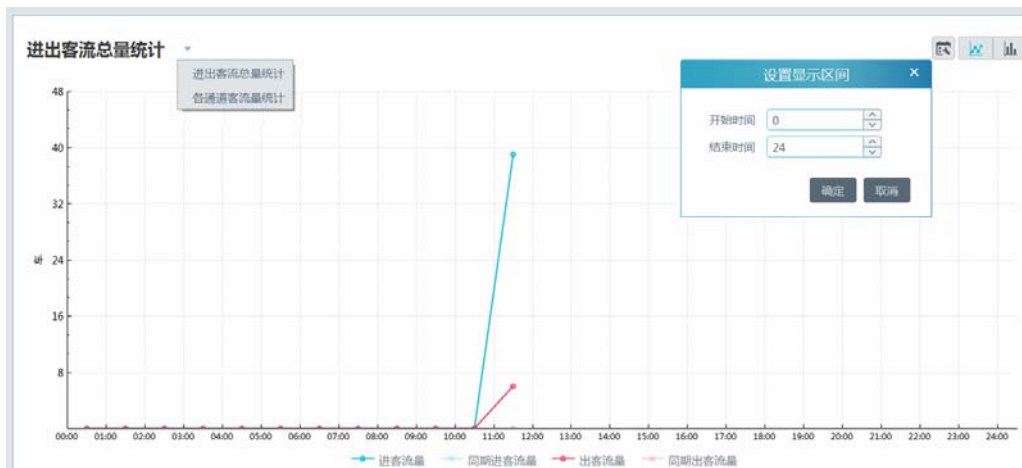
リアルタイム統計情報の表示:

統計を確認するカメラにチェックを入れ、統計情報を確認する日付、統計情報を確認する対象(人/車両/非車両)を選択し、【適用】または  ボタンをクリックすると、リアルタイムで統計情報を確認することができます。

自動更新の間隔を設定すると、設定した間隔の時間に応じて自動的に統計情報が更新されます。



上述のインターフェイスでは、下図の通り、入退場のトラフィック統計と、各チャンネルのトラフィック統計を確認することができます。右側のアイコンをクリックすると、表示エリア、棒グラフ、曲線グラフの設定ができます。



ページを下にスクロールすると、各チャンネルに出入りするゲストの流れを円グラフで見ることができます。



ページをスクロールすると、各チャンネルの各タイプの人・車両カウントと交通量カウントの表が表示されます。【エクスポート】をクリックすると、対応する Excel の表がエクスポートされます。

各通道不同类型人数统计表(人) 导出

位置名称	类型	08:00-09:00	09:00-10:00	10:00-11:00	11:00-12:00	12:00-13:00	13:00-14:00	14:00-15:00	15:00	小计	平均
IP Camera01	进	0	0	0	10	10				20	0
	出	0	0	0	8	4				12	0
IP Camera02	进	0	0	0	50	14				64	2
	出	0	0	0	40	15				55	2
合计	进	0	0	0	60	24				84	3
	出	0	0	0	48	19				67	2
平均合计	进	0	0	0	30	12				42	-
	出	0	0	0	24	9				33	-

人流统计占比表格(人) 导出

统计名称	进入客流	进入客流占比	离开客流	离开客流占比
IP Camera01	20	23.81%	12	17.91%
IP Camera02	64	76.19%	55	82.09%
合计	84	100.00%	67	100.00%

### 13.3 熱分析

侵入する人・車が多いほど、色が濃く表示されます。

メインページ→ターゲット統計→熱分析に進みます。事前に電子マップを設定し、スマートカメラのホットスポットをマップエリアにドラッグする必要があります。具体的な設定方法は、電子マップの設定をご参照ください。



メインページ→ターゲット統計→熱分析インターフェイスで、各チャンネルの人/車両/非車両の統計結果を確認することができます。



### 13.4 履歴統計

メインページ→ターゲット統計→履歴統計で、テストするスマートカメラチャンネルの一定期間の統計を検索し、日報、週報、月報、年報など各チャンネルの履歴情報の統計結果を確認することができます。

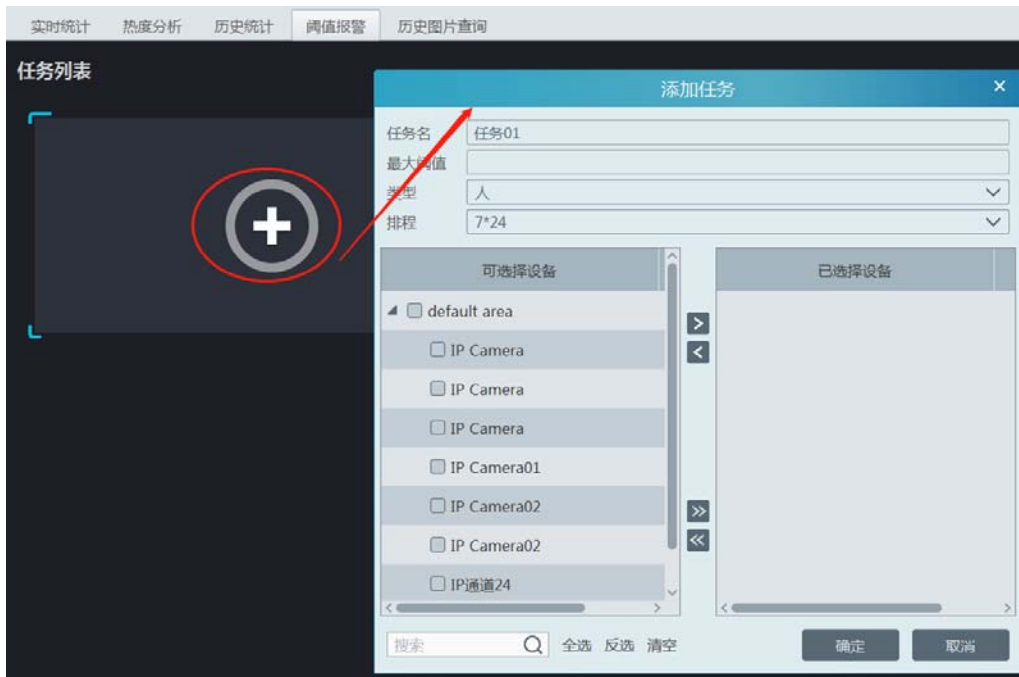


### 13.5 人員/車両の制御

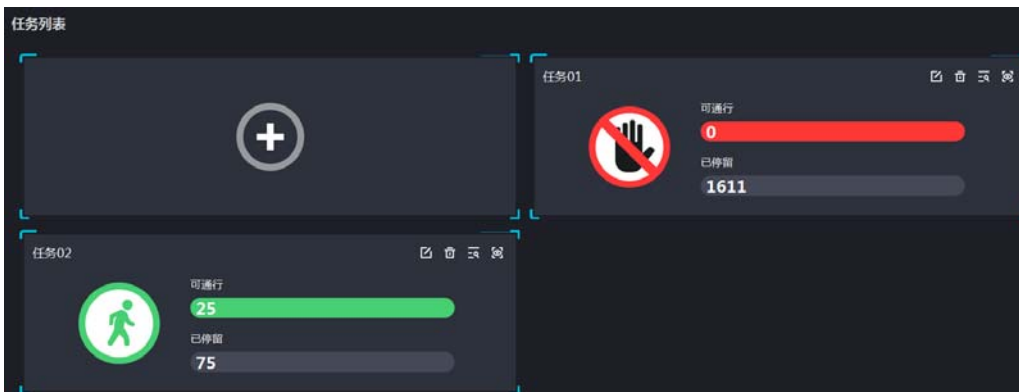
人員/車両制御: 監視エリア内の人員/車両を制御して、人員/車両が過度に集まるのを防ぐことができます。監視エリア内に停留する人や車両の数が閾値を超えると、ページアラームが作動し、立入禁止アイコンが表示されます。

メインページ→ターゲット分析→閾値アラームに進み、各チャンネルの閾値アラームタスクとプレビューを設定し、以下のようにプリセットアラームタスクを作成し、タスク名、最大閾値、アラームタイプ、スケジュールを設定し、対応するチャンネルを選択したデバイスの右側に移動させることができます。

以下は、人員制御の例です。



設定後、下図の通り、通過できる人数と滞在人数を確認することができます。

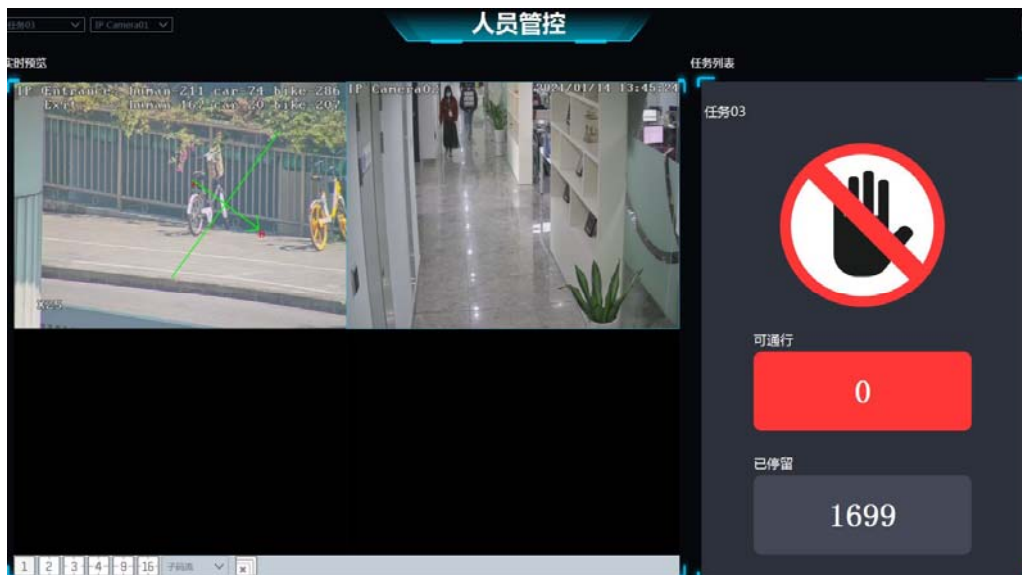



 をクリックすると入退場人数の詳細が表示されます。 をクリックすると人員管理インターフェイスに進みます。



タスクを追加する際に、複数のチャンネルを同時にチェックすると、複数のチャンネルの画像を見ることができます。通行人数が閾値を超えると、立入禁止サインが表示されます。





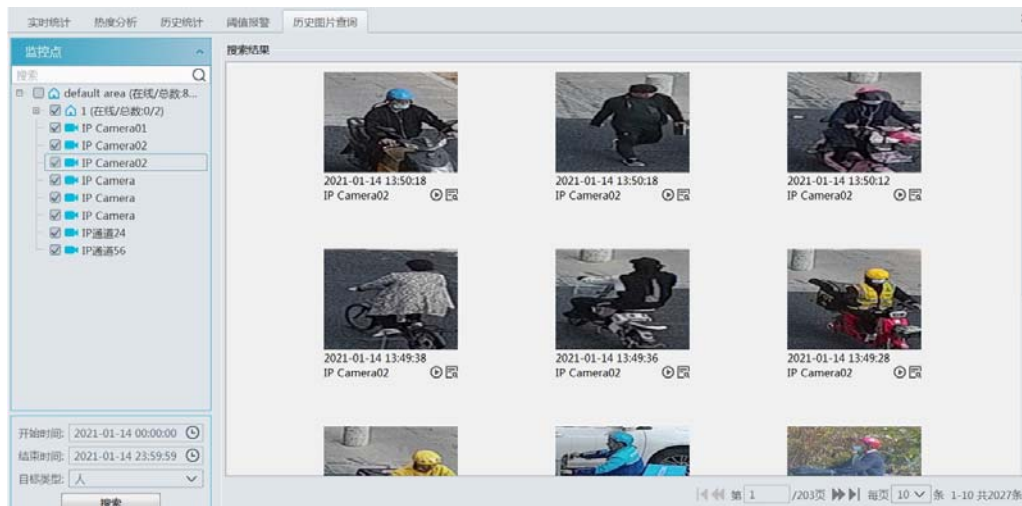
インターフェイスの左上では、必要に応じてタスクやチャンネルを切り替えることができます。 をクリックして、閾値アラームインターフェイスに戻ります。

### 13.6 履歴画像の検索

メインページ→ターゲット統計→履歴画像検索では、各チャンネルの人/車両/非車両の履歴スナップショットを検索することができます。

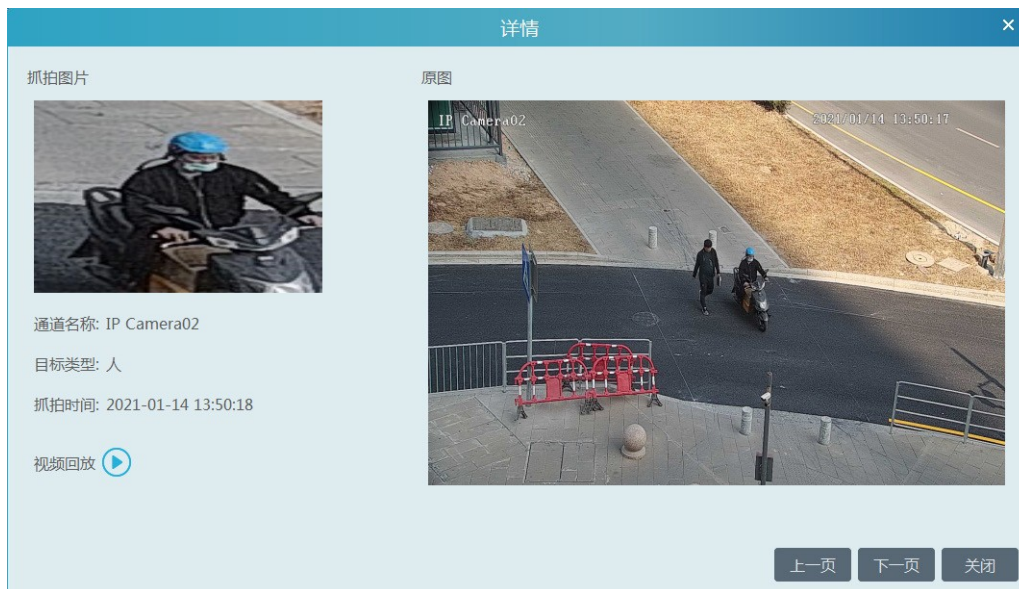
注意：ターゲット統計機能対応カメラのみスナップショットを検索することができます。ターゲット統計機能に対応していないカメラでは、「メインページ→フェイス管理→クエリ検索」でスナップショットを確認することができます。



下図の通り、ターゲット統計カメラにチェックを入れ、検索時間とターゲットを設定し、【検索】をクリックして検索を行います。



下図の通り、 をクリックすると画像の詳細が表示されます。





詳細ページで  ボタンまたは検索結果ページで  ボタンをクリックすると、ターゲット統計キャプチャがリプレイされます。

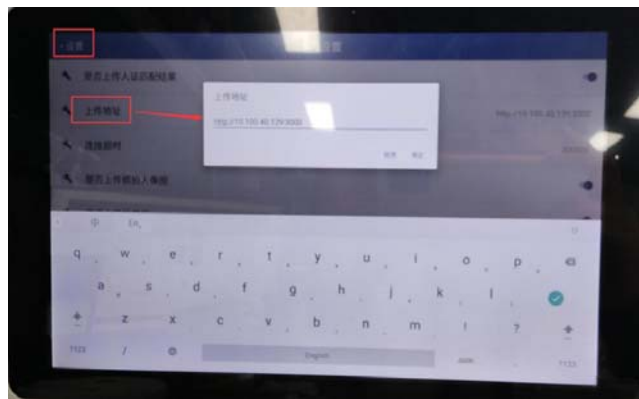
## 第14章 訪問者管理

ユーザーは、訪問者、入退室管理デバイス、本システムを利用することで、訪問者の管理を一元化することができます。

### 14.1 訪問者管理デバイスの追加

ユーザーは、フェイスアクセスデバイスやゲストデバイスを追加して訪問者を管理することができます。

- 1) リソース管理→デバイス管理→コーディングデバイスにフェイスアクセスデバイスを追加します。  
説明：入退室管理の権限デバイスは、フェイスボックス、フェイスアクセスパネル、フェイス IPC、フェイス NVR に対応していますが、フェイスボックス、フェイス IPC、NVR は訪問者の軌跡を記録するだけです。
- 2) ゲストマシンでアップロードアドレスを設定するには、ゲストマシン→設定→アップロードアドレスで >http://IP:3000 入力で、IP はクライアントが設置されているデバイスの IP アドレスを示します。(訪問者がいない場合は、本ステップをスキップすることができます。)

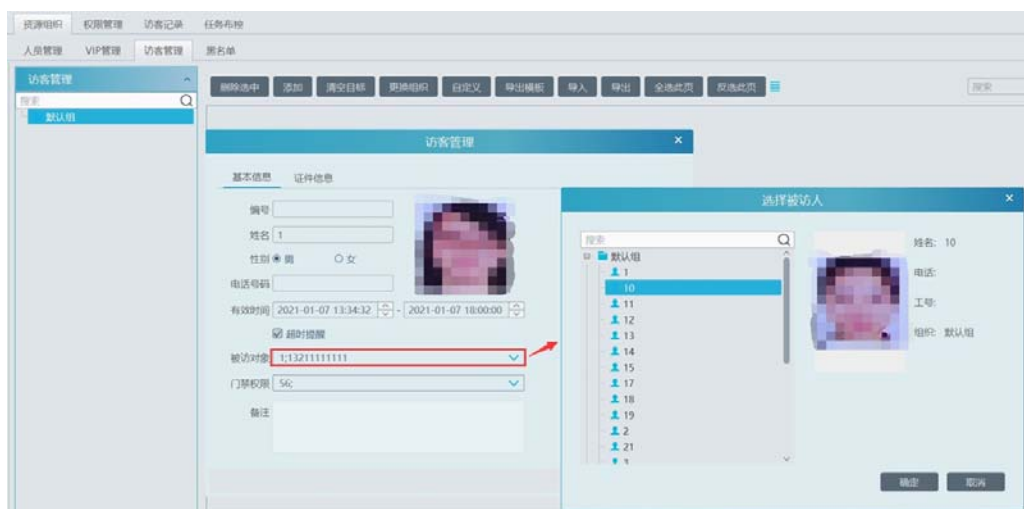


### 14.2 訪問者の予約プロセス開始

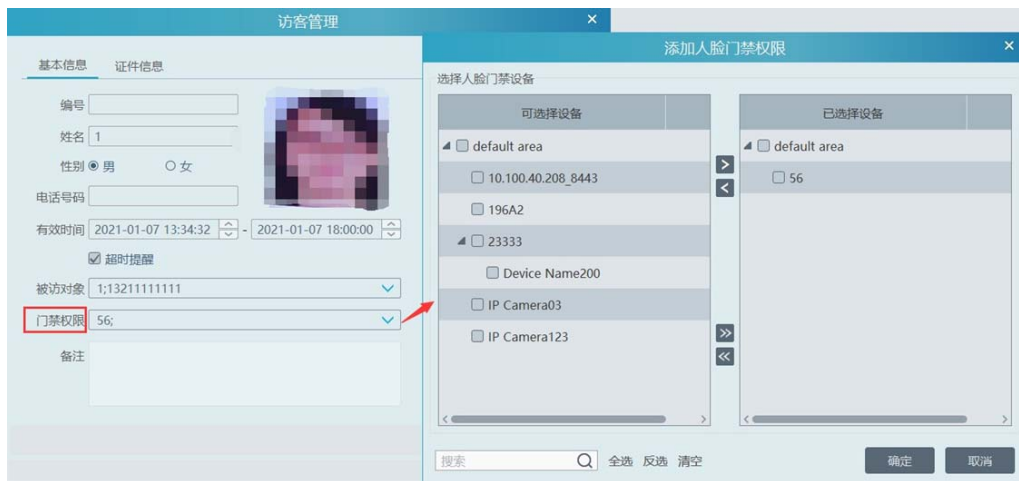
ユーザーは、以下の 3 つの方法でゲストの予約を開始することができます。

1. 組織管理→人員組織→訪問者管理(組織管理)インターフェイスで、訪問者ターゲットを追加し、訪問者ターゲットの情報を入力します。

訪問先の選択



フェイスアクセスデバイスの選択



2. ビジターマシンが認証情報を読み取る認証情報をゲストマシンで検出すると、クライアントに審査合格インターフェイスがポップアップされ、アクセス拒否やアクセス許可の操作を行うことができます。

(ユーザーがゲストマシンへのアクセス権を持っていない場合、以下のセットアップ手順を無視することができます。)

(1) 第 1 回訪問

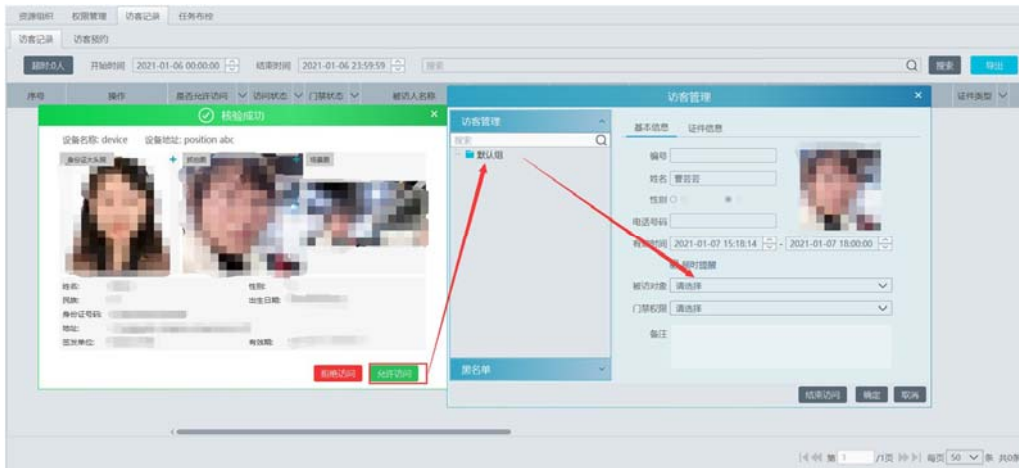
ID カードをゲストマシンに置くと、プラットフォームシステムが対応する情報ボックスをポップアップし、ID 写真をゲスト管理に追加して訪問者フローを生成します。



訪問者管理にスナップショットを追加し、訪問者フローを生成します。



アクセス許可をクリックすると、訪問者管理ポップアップの訪問者ライブラリにスナップショットが追加され、訪問者フローを生成します。



- (2) 再訪問→ID カード認証機で ID カードをスワイプしてアクセスが許可されると、再訪問のポップアップウィンドウが表示されます。

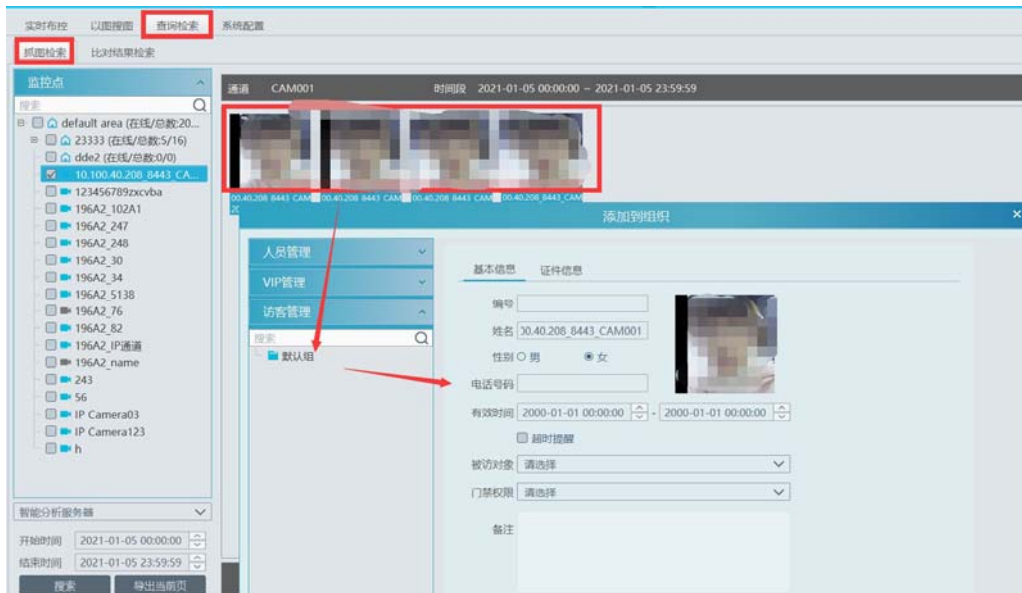


3. ショートカットによる訪問者情報の追加(ターゲットアラートのポップアップボックスへの追加、フェイス管理→クエリ検索→スナップショット検索、フェイス管理→リアルタイム管理→フェイススナップショット)。

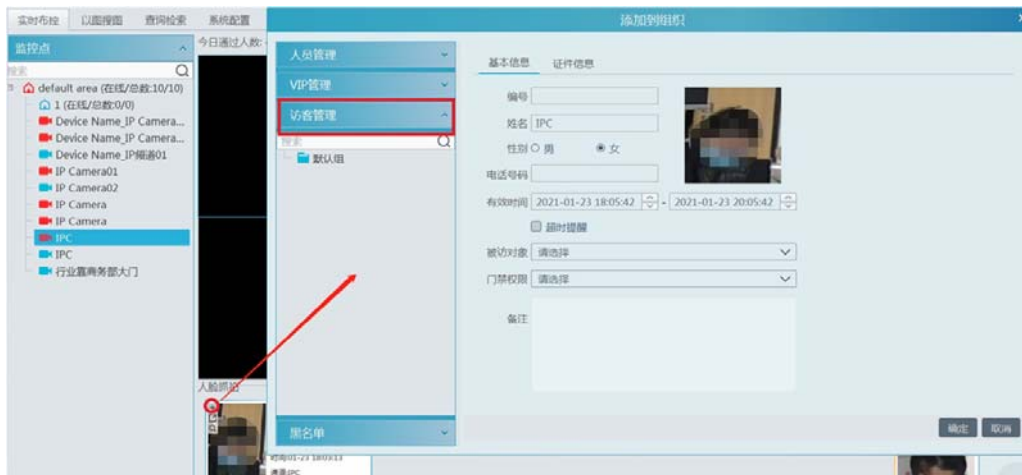
- (1) ターゲットアラートのポップアップボックスに追加



- (2) フェイス管理→クエリ検索→スナップショット検索




(3) フェイス管理→リアルタイム管理→フェイスキャプチャ



注意:オペレーターがビジターデータベースにターゲットを追加する権限を持っていない場合、訪問者フローを追加することはできません。

### 14.3 訪問者記録の検索とエクスポート

訪問者の記録、開始時刻と終了時刻を設定し、検索をクリックすると、その時間範囲内の訪問者の記録が検索されます。

検索編集ボックスにキーワードを入力し、 ボタンをクリックすると、現在のフィルター条件に基づいてファジー検索が行われます。

右上の「エクスポート」ボタンをクリックすると、現在の訪問履歴が画像を含めて EXCEL シートとしてエクスポートされます。管理者以外のユーザーが訪問者のログをエクスポートすることはできません。

序号	操作	是否允许访问	访问状态	门禁状态	被访人名称	证件类型	人脸抓拍	设备名称	姓名	性别	民族	出生日期	证件类型
1	结束访问	允许访问	未访问	没有设置	QQ截图20210105153450				9	男		2021年01月07日	未知

訪問者がすでに入退室管理デバイスにバインドされており、訪問者が入退室管理デバイスでの照合に成功すると、入退室管理デバイスは照合情報をプラットフォームに報告し、訪問者の通過軌跡を記録します。

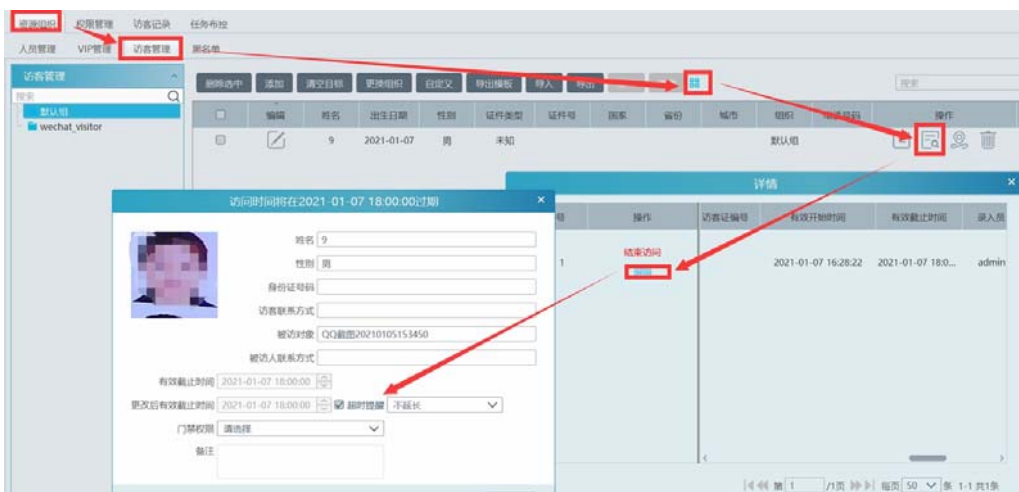
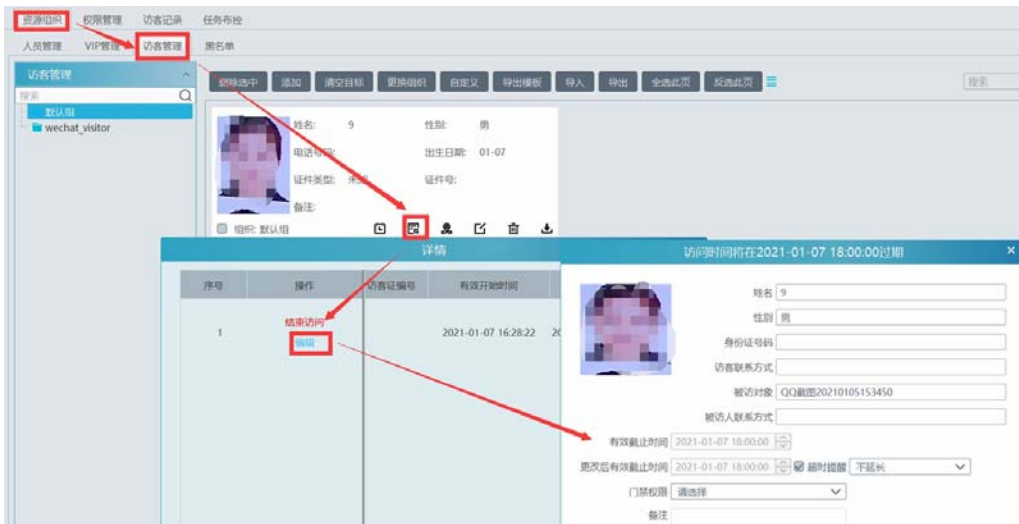




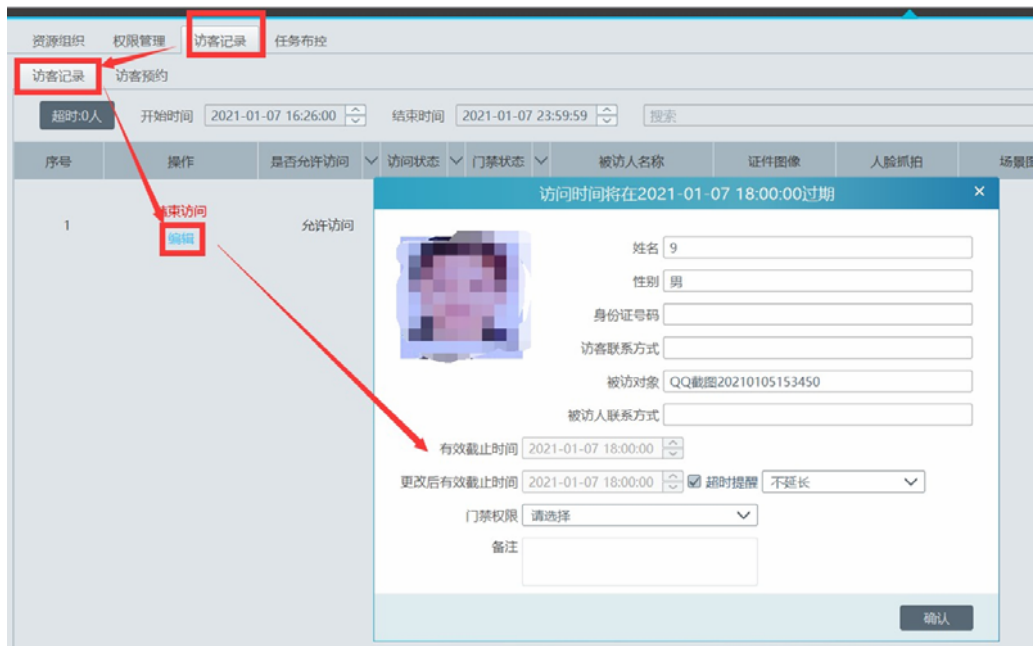
## 14.4 アクセスエラー処理

### 14.4.1 アクセス禁止の延長・変更

入口 1：組織管理→リソース組織→訪問者管理→ターゲット情報の詳細



入口 2：組織管理→訪問者記録



有効な記録については、アクセスの長さや入退室管理デバイスを編集することができます。

訪問期間の編集: 訪問フローの締切を素早く延長したり、修正時間をカスタマイズして早めに締切ることができます。

入退室管理デバイスの編集: 選択した入退室管理デバイスを手動でアンバンドルまたはオープンにしたり、削除したり、新しい入退室管理デバイスを追加することができます。入退室管理デバイスの手動アンバンドルおよび削除が成功すると、当該入退室管理デバイスに対する訪問者のアクセス許可が無効になります。

#### 14.4.2 訪問者のタイムアウト管理

タイムアウト記録については、クライアントにポップアップが表示され、アクセス時間の延長や処理を行わないことを知らせます。処理を行わない場合、必要なアクセス時間に達すると、当該人員はタイムアウト人員とみなされ、左上の「タイムアウト: 0 人」メニューに当該人員の記録が+1の統計値とともに生成されます。

「タイムアウト」ボタンをクリックすると、時間外に来た訪問者と、時間外訪問とタイムアウトしても残っている訪問者が検索されます。訪問者がすでに制限時間を超えている場合は、入退室管理権限が自動的に無効になります。



序号	操作	是否允许访问	访问状态	门禁状态	被访人名称	证件图像	人脸抓拍	场景图	姓名	性别	民族	出生日期	证件类型
1	结束访问(已超时) 编辑	允许访问	超时未离开	已失效	indoor_004								
2	结束访问(超时未来访) 编辑	允许访问	超时未来访	没有设备	indoor_004								
3	结束访问(超时未来访) 编辑	允许访问	超时未来访	鉴权有失败	indoor_004								
4	结束访问(超时未来访) 编辑	允许访问	超时未来访	已失效	indoor_004								
5	结束访问(超时未来访) 编辑	允许访问	超时未来访	没有设备	indoor_003								

タイムアウト記録については、入退室管理許可、および対応する入退室管理デバイスの手動操作のための一時的な開放許可を編集することができます。

訪問期間を編集して有効期限を延長すると、システムは自動的に選択された入退室管理デバイスの許可を開き、その後、訪問者によってバインドされた入退室管理デバイスが再び有効になります。「訪問の終了」をクリックすると、すぐに録画処理が終了します。

## 第15章 ユーザーおよび権限

### 15.1 ユーザーの作成

下図の通り、メインページ→ユーザー権限に進みます。



システムにはデフォルトでスーパー管理者ユーザーが存在し、ユーザー名は admin、パスワードは 123456 です。

初めてログインした後、ここでスーパー管理者ユーザーのパスワードを変更し、今後のためにパスワードを設定することができます。




admin スーパー管理者ユーザーにチェックを入れ、【パスワードの変更】をクリックし、デフォルトのパスワード 123456 を入力します。



質問を選択し、対応する答えを設定し、【確定】をクリックして保存します。

【追加】ボタンをクリックすると、以下のポップアップウィンドウが表示されます。

ユーザー名、パスワードの入力、権限グループの選択（権限グループは事前に設定、権限管理を参照）などを行い、【確定】をクリックするとユーザーの追加が完了します。通常のユーザーがパスワードを忘れてしまった場合は、スーパー管理者ユーザーからログインし、をクリックしてパスワードを変更することができます。

## 15.2 権限の設定

下図の通り、権限設定インターフェイスで、【追加】ボタンをクリックします。

- ① オペレーターなど、権限グループ名を入力します。
- ② システム権限、操作権限、エリア権限、ビデオウォール権限をクリック選択します。

システム権限には、リソース管理、サーバー管理、録画管理、ユーザーと権限、電子マップ、ビデオウォール管理などがあります。操作権限は、データベースのバックアップと復元、ログの検索とエクスポート、電子マップ操作、ビデオウォール操作などがあります。

エリア権限: エリアを選択すると、その権限グループに所属するユーザーは、当該エリア下にあるデバイスの権限のみを管理または操作することができます。ビデオウォール権限: ビデオウォール権限を有効にします。

ターゲット権限: ターゲットの表示、追加、削除、修正の権限を有効にすることができます。



## 第16章 運用・保守管理

### 16.1 ログの検索とエクスポート

運用・保守管理インターフェイスでは、ログの検索やエクスポートが可能です。下図のように、メインページ→運用・保守管理インターフェイスに進むと、各種ログを検索し、アラームログ、操作ログ、設定ログ、エラーログ情報をエクスポートすることができます。

序号	主类型	记录时间	节点名称	子类型	用户名	用户地址	详细信息
1	报警日志	2021-01-14 16:01:02	IP通道24	监控点-人脸比对	无	无	
2	报警日志	2021-01-14 16:01:01	IP Camera02	监控点-移动检测	无	无	
3	报警日志	2021-01-14 16:00:59	IP Camera	监控点-移动检测	无	无	
4	报警日志	2021-01-14 16:00:58	IP通道24	监控点-人脸检测	无	无	
5	报警日志	2021-01-14 16:00:57	IP通道24	监控点-人脸比对	无	无	
6	报警日志	2021-01-14 16:00:50	IP Camera02	监控点-移动检测	无	无	
7	报警日志	2021-01-14 16:00:49	IP Camera	监控点-移动检测	无	无	
8	报警日志	2021-01-14 16:00:47	IP通道24	监控点-人脸比对	无	无	
9	报警日志	2021-01-14 16:00:43	IP Camera02	监控点-移动检测	无	无	
10	报警日志	2021-01-14 16:00:43	IP通道24	监控点-人脸比对	无	无	
11	报警日志	2021-01-14 16:00:43	IP通道56	监控点-人脸比对	无	无	

ログの種類を選択し、開始時刻と終了時刻を設定して、【検索】ボタンをクリックすると、ログの状態を確認することができます。

ログをエクスポートする場合、ログを検索した後に【エクスポート】ボタンをクリックし、エクスポートパスを選択します。【保存】ボタンをクリックすると、指定したパスにログがエクスポートされます。

### 16.2 設定のバックアップと復元

運用・保守管理インターフェイスで、「設定のバックアップと復元」タブを選択し、以下のインターフェイスに進みます。



オリジナルのシステム設定ファイルを新しいアップグレードソフトウェアバージョンにインポートする場合は、古いソフトウェアバージョンの【システム構成のバックアップ】をクリックして、システム設定ファイルをバックアップすることができます。新しいソフトウェアバージョンで【システム構成の復元】をクリックしてバックアップしたシステム構成を選択すると、システム設定がインポートされます。

### 16.3 リアルタイムステータスの検索

運用・保守管理インターフェイスで「リアルタイムステータス」タブを選択し、以下のインターフェイスに進みます。

当該インターフェイスでは、エンコードデバイスのオンライン率、デコードデバイスのオンライン率、サーバーのオンライン率、センターストレージの録画状況、デバイスの録画状況を検索することができます。



## 16.4 ステータスログの検索

運用・保守管理インターフェイスで「ステータスログタブ」を選択し、以下のインターフェイスに進みます。



当該インターフェイスでは、デバイスの録画状況、オンラインおよびオフラインのステータスログ、サーバーのオンラインおよびオフラインのステータスログを検索したり、ステータスログをエクスポートすることができます。

## 第17章 ローカル設定

### 17.1 録画・画像キャプチャの設定

下図の通り、メインページの→ローカル設定→録画とスナップショットの設定に進みます。

当該インターフェイスでは、手動録画と録画バックアップの再生リソース、録画パス、バックアップパス、バックアップファイルタイプ、キャプチャパス、キャプチャ回数、最大ファイルサイズを設定することができます。

バックアップファイルの種類: AVI、DAT、MP4 のファイル形式が選択できますが、DAT は当社のプライベートフォーマットです。

### 17.2 ローカル設定

下図の通り、メインページ→ローカル設定→ローカル設定に進みます。

「自動的にソフトウェアを起動」にチェックを入れることで、デバイスの電源を入れたときに自動的にソフトウェアを起動することができます。

「次回以降自動ログイン」にチェックを入れると、次回以降の起動時に自動的にログインします。

「ノードがオフライン時にポップアッププロンプト」にチェックを入れると、ノードがオフラインになった時にアラートがポップアップされます。

「ノードがオフライン時にアラーム音」にチェックを入れると、ノードがオフラインになった時にアラーム音が鳴るようになります（あらかじめ音声出力ハードウェアを接続しておいてください）。

「リソースチャンネルにフルネームを表示」にチェックを入れると、リソースチャンネルにデバイス名とチャンネル名が表示されます。チェックを外すと、チャンネル名のみが表示され、デバイス名は表示されません。

「リソース数の自動展開」にチェックを入れると、リソースチャンネルは自動的に展開されます。

「新規リアルタイムプレビューのデフォルトサブストリームの作成」にチェックを入れると、新規リアルタイムプレビューのデフォルトサブストリーム表示が作成されます。

下図の通り、「モニタリングポイントにアラーム状態を表示」にチェックを入れると、モニタリングポイントでアラームが発生すると、モニタリングポイント一覧欄のアイコンが赤く表示されます。



「プログラム終了前にパスワードを確認」にチェックを入れると、プログラムを終了するためには、ログイン時に使用したユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

また、リソース番号のソートルールや画像設定ルールもここで選択できます。また、時刻表示形式の設定、プラットフォームの表示言語の選択、アラーム音のアップロードなども設定可能です。

### 17.3 オーバーロードの設定

本システムは CPU やメモリの過負荷保護機能をサポートしており、システムがオーバーロード状態になると、監視クライアントは新しいプレビューやリプライの開始を制限すると同時に、システムがオーバーロード状態であることをユーザーに通知します。

下図の通り、メインページ→ローカル設定→オーバーロード設定に進み、リソース上限のオーバーロードを選択して【適用】ボタンをクリックして保存します。各リソースに用意されているオプションは以下の通りです。

CPU: 85%、90%、95%

メモリ: 80%、85%、90%



### 17.4 アラームプレビュー設定

下図の通り、メインページ→ローカル設定→アラームプレビュー設定に進みます。



「自動的にアラームページがポップアップ」にチェックを入れると、アラーム発生後、自動的にアラームプレビュー画面がポップアップされます。

「ポップアップ時に全画面表示」にチェックを入れると、アラーム発生後、全画面のアラームプレビュー画像がポップアップされます。

アラームページを閉じる: 手動で閉じるか、自動で閉じるかを選択できます。自動終了を選択して自動終了時間を設定すると、指定した時間内にアラームプレビューページが自動的に終了します。

画面数: アラームプレビュー画面の分割モード(1/4/9)の数を設定します。

## 17.5 OSD 位置の設定

下図の通り、メインページ→ローカル設定→OSD 位置設定に進みます。



白いスライダをドラッグして、OSD 表示位置を設定します。その後、【適用】をクリックして設定を保存します。

## 17.6 システム構成

下図の通り、メインページ→ローカル設定→システム構成に進みます。



当該インターフェイスでは、「アラームプレビューはサードコードストリームを使用」、「スケジュール外のアラームを非表示」をチェック選択することができます。



同一アラームが報告される時間間隔をクリック選択し、設定します。【関連アラームタイプを選択】をクリックして、対応するアラームタイプを選択し【確定】をクリックします。設定後、選択されたアラームタイプは、設定された報告間隔に従って報告されます。

同期プラットフォーム時間で、「デバイスの時間」とプラットフォームの時間を同期させる場合は、「同期時間帯オプション」をチェック選択肢、デバイスの時間帯を同期します。さらに、サーバーの障害をオフラインで判断する時間や、ログの保存時間も設定できます。

設定後、【適用】をクリックして保存します。

## 17.7 音声放送ファイルのアップロード


追加をクリックすると、以下のウィンドウがポップアップされます。



「ブラウザ」をクリックして、アップロードしたい音声ファイルを選択します。音声オーディション機能に対応しており、追加した音声の名前を設定する必要があります。

## 第18章 よくあるご質問

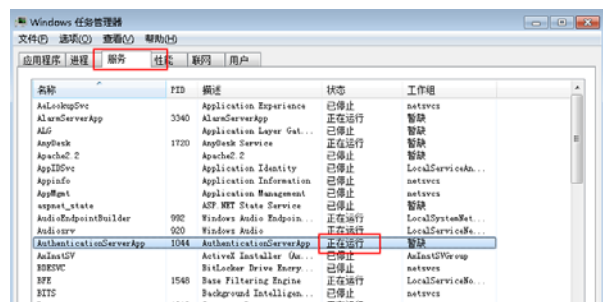
### 1. ユーザーがパスワードを変更する方法は？

監視クライアントにログインし、ユーザー管理インターフェイスに進み、パスワードを変更するユーザーを選択し、をクリックしてポップアップダイアログボックスでパスワードを変更します。



### 2. サーバー起動後に一部のサービスが異常に動作します。

ポートが占有されているかどうかを確認し、図のように、タスクマネージャー→サービスタブでサービスが実行されているかどうかを確認します。



### 3. ユーザーが監視クライアントにログインした後、デバイス情報が表示されません、またはデバイスがオンラインになりません。

- 1) 当該ユーザーアカウントに、該当するデバイスの閲覧権限があるかを確認してください。
- 2) デバイスが属する転送サーバーがオンラインになっているか確認してください。

### 4. 監視クライアントにログインしても、ユーザーはアラーム情報を受け取りません。

- 1) NVMS 2.0 システムのアラームサーバーがオンラインになっているか確認してください。
- 2) 監視クライアントリモートログインデバイスで、デバイスのセンサーアラーム、動き検知アラーム機能などがオンになっているか、また対応するアラームスケジュールが設定されているかを確認してください。

### 5. 監視クライアントにログインした後、監視クライアントやデコーダーがストレージサーバーの録画をリプレイできません。

- 1) デバイスが属するストレージサーバーがオンラインになっているかを確認し、オンラインになっている場合は、ユーザーにリプレイ権限があるかを確認してください。
- 2) 選択した録画リソースが正しいかどうか、選択した録画リソースが録画されているかを確認してください。録画リソースがストレージサーバーの場合は、ストレージサーバーの録画スケジュールが正しく設定されているかを確認してください。
- 3) 同様に、デコーダーのリプレイチャンネルが録画されているかどうか、録画リソースやリプレイの開始・終了時刻が正しいかどうかを確認してください。

### 6. 監視クライアントにログイン後、リモートでデバイスの設定を変更できません。監視クライアントがデバイスの設定を要求した

とき、「設定中です。後ほどもう一度お試しください！」と表示されます。

- 1) インターネットエクスプローラを開いてリモートでデバイスにログインし、「情報の検索」の「オンラインユーザー」をクリックして、他のユーザーがログインしているかを確認します。
- 2) デバイスのサイトに直接アクセスして、ソフトウェアが設定インターフェイスにあるかを確認してください。
- 3) それでも問題が解決しない場合は、デバイスメーカーにお問い合わせください。

7. クライアントのリアルタイムプレビュー画面がスムーズに表示されません。

- 1) クライアントプラットフォームの CPU 使用率が 100%になっていないか、メモリに余裕があるかを確認してください。CPU の使用率が 75%以下で、メモリに余裕がある場合は、この現象は起こりません。
- 2) デバイスのアップリンク帯域とストリームが一致しているか、転送サーバーのダウンリンク帯域が視聴デバイスチャンネルのトータルストリームと一致しているか、クライアントのダウンリンク帯域が視聴デバイスチャンネルのトータルストリームと一致しているかなど、ネットワーク環境がサポートされているかをご確認ください。
- 3) 転送サーバーがオーバーロード状態になっていないか確認してください。

8. 管理・転送サーバーの電源を入れても、ストレージサーバーが正しく保存されません。

ストレージサーバーにデバイスチャンネルが追加されているか確認してください。

注意：

1. OS へのログイン、サーバーおよびクライアントソフトウェアのインストールおよび使用には、スーパー管理者または標準ユーザー(権限制御は「非通知」)を使用してください。
2. 監視クライアントが動作する PC の画面解像度は 1280×960 以上が推奨されます。
3. サービスディレクトリのファイルを削除する場合は、必ずサービスを停止してから行ってください。